F890A TRUCK SCALE 運用編

取扱説明書

18OCT2012REV.9.12

UNIPULSE

はじめに

このたびは、F890Aトラックスケールコントローラをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
本取扱説明書はF890Aの運用方法について記述したものです。
F890Aの優れた性能を充分に発揮させ、正しく安全に使用していただくため、ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みください。内容を正しくご理解いただいた上で、お使いくださいますようお願いいたします。
本取扱説明書はいつでもご利用いただけるように大切に保管してください。
また、「F890A取扱説明書 設置・較正編」、「F890A取扱説明書 周辺機器」についても合わせてお読みください。

安全上のご注意

安全のために、必ずお読みください。

F890Aの設置、保守、点検を行なう場合は、必ず電気の技術知識を持つ人が行なってください。
本取扱説明書では、F890Aを安全に使用していただくために守っていただきたい注意事項が、以下の文書で⚠警 告と⚠注 意に分けて記載されています。ここに記載されている注意事項は、安全に関する重大な内容です。内容を正しくご理解いただいた上で、使用してくださいますようお願いいたします。

⚠ 警 告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

⚠ 注 意

誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容

⚠ 警 告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容

設計上の警告

- F890Aの故障および誤動作時、システム全体が安全に働くようにF890Aの外部で安全回路を設けてください。
- F890Aを次のように使用する場合は、必ず使用する前に弊社営業担当までご相談ください。
  - 取扱説明書に記載のない環境で使用する場合
  - 医療機器、輸送機器、娯楽機器、安全装置などの人命や財産に大きな影響を及ぼす用途で使用する場合

取付上の警告

- F890Aを分解、修理、改造しないでください。火災、感電の恐れがあります。
- 次のような環境には設置しないでください。
  - 腐食性ガス、可燃性ガスがある場所
  - 水、油、薬品の飛沫がかかる場所

配線上の警告

- 商用電源を、信号入出力端子に直接接続しないでください。
- 本体据え付け工事の際必ずD種接地をしてください。
- 付属のACケーブルは、日本国内向けで、定格はAC125V、7Aです。別途ご用意いただく場合には、付属ACケーブル以上の定格のものを接続してください。
- 次のことを行なう場合、通電されていないことを確認の上、行なってください。
  - オプション等のコネクタの脱着
  - 電源入力端子へのケーブルの配線、接続
  - 信号入出力端子へのケーブルの配線、接続
  - 保護接地端子への接続
- 信号入出力端子への接続は、信号名及びピンアサイン番号をご確認の上、正しく配線してください。
- 通電する際、配線等を十分確認の上行なってください。

立ち上げ・保守時の警告

- 電源電圧および負荷は、仕様および定格の範囲内で使用してください。
- 電源コードを傷つけないでください。火災、感電の恐れがあります。
- 通電中に信号入出力端子に触れないでください。感電の恐れや誤動作の原因になります。
- 本体カバーを開けますと、内部で感電の恐れがあります。電源が切れていても内部コンデンサーが充電されています。内部の点検・修理は弊社までご依頼ください。
- 煙、異臭又は異音がした場合は、直ちに電源を切り、電源ケーブルを抜いてください。

⚠ 注 意

誤った取り扱いをすると､人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容

取付上の注意

- 次のような環境には設置しないでください。
  - 温度・湿度が仕様の範囲を超える場所
  - 屋外、高度2000mを超える場所
  - 直射日光が当たる場所
  - ほこりが多い場所
  - 風通しが悪い場所
  - 塩分、鉄粉が多い場所
  - 本体に直接振動や衝撃が伝わる場所
- 次のような場所で使用される場合、遮蔽対策を十分に行なってください。
  - 電源線の近く
  - 強い電界及び磁界が生じる場所
  - 静電気やリレー等のノイズが発生する場所
- 高周波、高電圧、大電流、サージなどを発生する機器からできるだけ離して設置してください。また、これらの動力線と分離して配線するようにしてください。並行配線や同一配線を行なわないでください。
- 故障したまま使用しないでください。

配線上の注意

- ケーブル（センサ、外部入出力、オプション）は、シールドケーブルを使用してください。

立ち上げ･保守時の注意

- 電源のON/OFFは、必ず5秒以上の間隔を保ってください。
- 電源起動後、必ず30分以上のウォームアップを行なった上で使用してください。
- 指定した方法で使用されない場合は、F890Aの保護性能が損なわれる場合があります。
- お手入れ
  - お手入れのときは電源を外してください。
  - 濡れた雑巾、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。F890Aの変色や、変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。

輸送時の注意

- F890Aは、出荷時に十分衝撃を吸収できるよう考慮されていますが、一度使用した梱包材をそのまま輸送用にお使いになられると衝撃が加わった際に破損する場合があります。修理などで本製品を弊社にご送付いただく場合は、十分な衝撃対策を施してから送付してください。

廃棄時の注意

- 製品を廃棄する場合は産業廃棄物として扱ってください。

目次

1 概要 1

1-1. 梱包内容 1
1-2. 特長 2
1-3. システム構成と接続可能機器 3

2 接続 4

2-1. SI/F 端子台への接続 4
2-2. プリンタコネクタへの接続 5
2-3. PS/2 コネクタへの接続 5
2-4. RS-232C コネクタへの接続 5
2-5. RS-485 への接続 6
2-6. カレントループへの接続 6

3 画面 7

3-1. 計量画面 7
■計量法対応設定 OFF 時におけるメイン画面の表示 7
■補正値表示画面 10
■滞留車表示画面 11
3-2. メニュー画面 12
■編集メニュー画面 12
■設定メニュー画面 12
3-3. 文字・数値入力画面 12
■文字入力画面 12
■数値入力画面 13
■文字入力画面遷移 13
■漢字変換 14
■単漢字変換 15

4 較正 16

4-1. 較正画面遷移（計量法対応設定 OFF 時） 16
4-2. 較正前の準備（計量法対応設定 OFF 時） 17
■最小目盛 17
■1/4 目盛 17
■重力加速度補正 17
4-3. 等価入力較正（二次較正）の手順 18

4-4. 等価入力較正（二次較正）. 18
4-5. デュアルレンジ 19

5 設定 20

5-1. 計量設定 20
■モーションディテクト（MD） 20
■ゼロトラッキング（ZT） 20
■デジタルゼロ（D/Z） 20
■DZ 規制値 20
5-2. 項目設定 21
■名称変更 21
■項目使用条件 22
5-3. 補正値設定 23
■水分引き 24
■体積表示 24
■重量引き 25
■風袋引き 25
■単価 25
■消費税 25
5-4. 印字設定 26
■ M891、M893 プリンタ 26
■用紙排出方向 26
■文字サイズ 27
■伝票余白 27
■印字位置 27
■先印字 / 後印字 32
■基本フォーマット読み出し 32
■印字位置登録 35
■テスト印字 35
■ M892 プリンタ 36
■用紙の長さ 36
■文字サイズ 37
■伝票余白 37
■印字位置 37
■基本フォーマット読み出し 39
■印字位置登録 42
■テスト印字 42

6 オプション 43

6-1. オプション 43
6-2. 組込型 / 据置型バーコードリーダ 44
6-3. PC 接続 44
6-4. ハンディスキャナ 44
6-5. カレントループ 44

7 システム 2 45

7-1. システム 2 45
7-2. 設定値一覧印字 45
7-3. CF 設定値読出し 46
7-4. CF 設定値書込み 46
7-5. sv_data.csv 47
7-6. パスワード登録 51
7-7. 編集印刷選択 51
7-8. SI/F データ選択 51
7-9. 集計 51

8 編集 52

8-1. 車番編集 52
■登録 / 編集 53
■削除 56
■印刷 57
8-2. 項目編集 57
■登録 / 編集 58
■削除 61
■印刷 62
8-3. 補正値編集 62
■登録 / 編集 63
■削除 65
■印刷 66
8-4. 滞留車編集 66
■編集 67
■削除 68
■発行 69
8-5. 伝票編集 70
■登録 / 編集 70
■削除 72
■再印刷 73

9 集計メモリーカードシステム 74

9-1. 集計 74
■計量記録 74
■日報集計 76
■月報集計 77
9-2. メモリーカード 79
■計量記録 80
9-3. w_data**.csv 82

■登録データ 82
9-4. ca_data.csv 84
9-5. システム 86
■コントラスト 86
■バックライト ON 86
■バックライト点灯時間 86
■計量開始ブザー（秒） 87
■計量記録自動保存（時間） 87
■計量記録自動保存（方式） 87
■日付設定 87
■時刻設定 87
■メモリー使用量 87
■年号選択 87
■年号登録 87
■換算 87

10 計量方法 88
10-1. 登録車の 1 回計量 88
10-2. 登録車の 2 回計量 91
10-3. 未登録車の 1 回計量 98
10-4. 未登録車の 2 回計量 105

11 風袋引き / 補正値入力 / 伝票番号の変更 / 滞留車編集 /
計量記録の自動消去 / ｺﾝﾄﾛｰﾙ信号 / ｵｰﾊﾞｰｽｹｰﾙ・ｴﾗｰ表示 / ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ . . . 116
11-1. 風袋引き 116
11-2. 補正値入力 117
11-3. 伝票番号の変更 118
11-4. メイン画面からの滞留車編集 119
11-5. 計量記録の自動消去 121
11-6. コントロール信号 122
■外部入力信号 122
■外部出力信号 122
11-7. セルフチェック 123
11-8. タッチパネル 123
11-9. メモリーチェック / 較正ポイント確認 124
■メモリーチェック 124
■較正ポイント確認 124
11-10. 入出力チェック / 印字テスト / メモリーカードチェック 124
■印字テスト 125
■メモリーカードチェック 125
11-11. ディスプレイチェック 125

11-12.オプションチェック 126
11-13.オーバースケール・エラー表示 127
■較正エラー表示 127
■オーバースケール表示 128
■エラー表示の優先順位 129
■シーケンスエラー表示 129
11-14.PASSWORD 130
■デジタルゼロクリア 130
■イニシャライズ 130

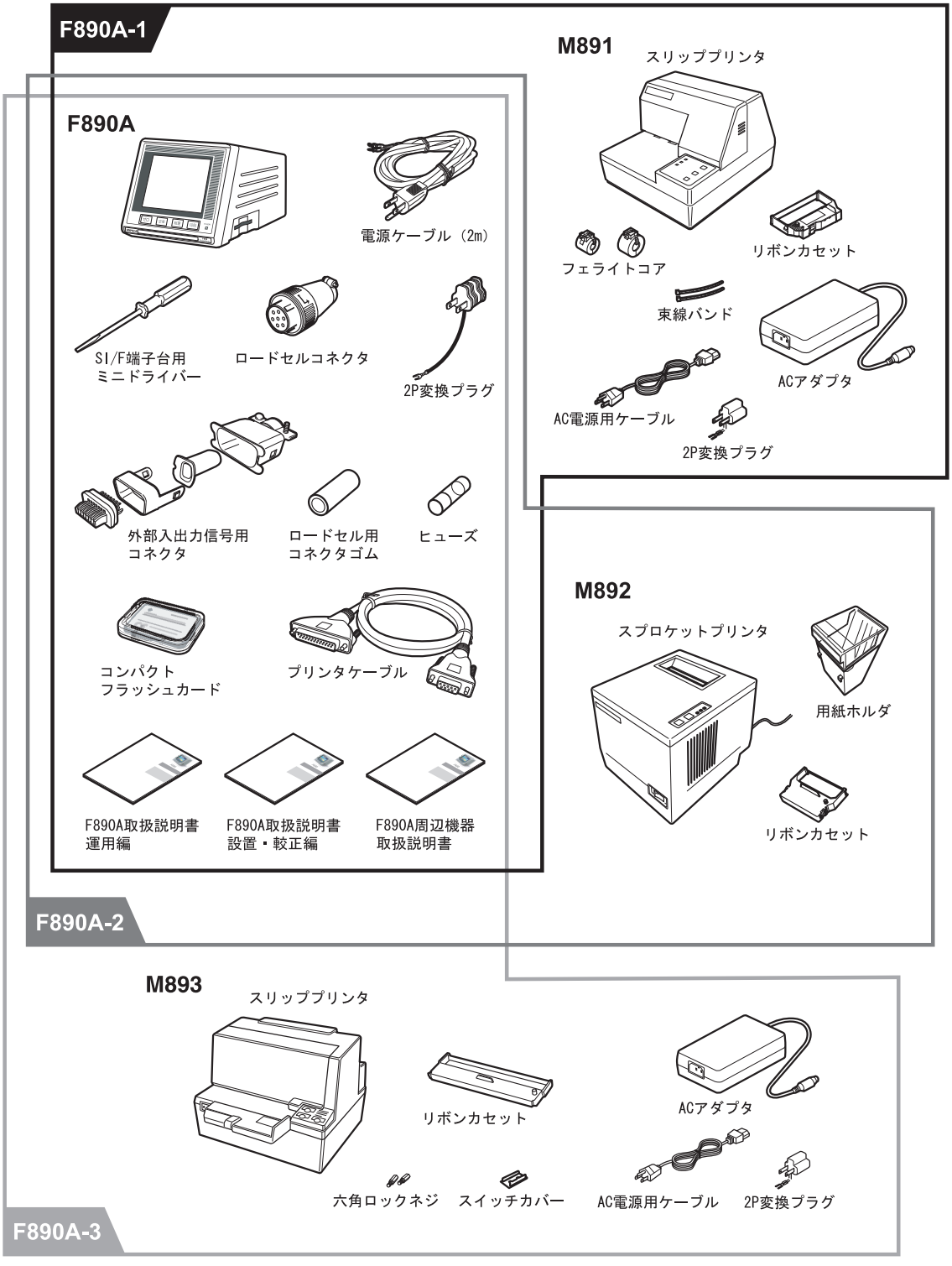
12 付録 131

12-1.設定値一覧表 131
■計量法対応 131
■項目設定 131
■補正値設定 132
■印字設定（M891, M893） 133
■印字設定（M892） 135
■オプション 136
■計量設定 137
■較正 138
■システム 139
■システム 2 139
■計量法対応 139
12-2.保証とアフターサービス 140

1　概要

1-1. 梱包内容

梱包箱には以下のものが入っています。
ご使用の前に必ず確認してください。



1-2. 特長

● 5.7インチ　カラー液晶タッチパネル

画面にふれるだけで簡単に設定できるタッチパネル入力。カラー液晶の表現力により各ボタンの判別もしやすく、ミスの無い操作が実現できます。

● 大容量記憶メモリ

車番登録4,000件、項目登録3,996件（業者・品種・地区・名前、各999）、補正値テーブル登録300件（水分率・比重・単価、各100件）滞留車情報100件、計量記録10,000件リチウム電池により7年以上保存可能です。

● F890AのデータをCFカードへ保存

計量記録、登録値（車番・項目・補正値）、設定値などのデータをCFカードにCSV形式で記録できます。また、これらのデータを用いてF890A本体の更新を行なうことが可能です。

● 英文・数字・カナ・漢字入力が可能

漢字入力は単文節変換で固有地名、固有人名などの簡易辞書機能を搭載しています。

● 演算・集計機能

重量引き、水分率、比重、価格などを演算、表示します。日報、月報集計機能も搭載しています。

● 印字フォーマット変更機能

印字位置、余白、文字サイズなど用途に合わせてフォーマットを変更し、ユーザーフォーマットとして登録できます。

● タッチパネルによる計量作業

液晶タッチパネルに表示される内容にしたがって、画面にふれて設定するだけで操作ができます。

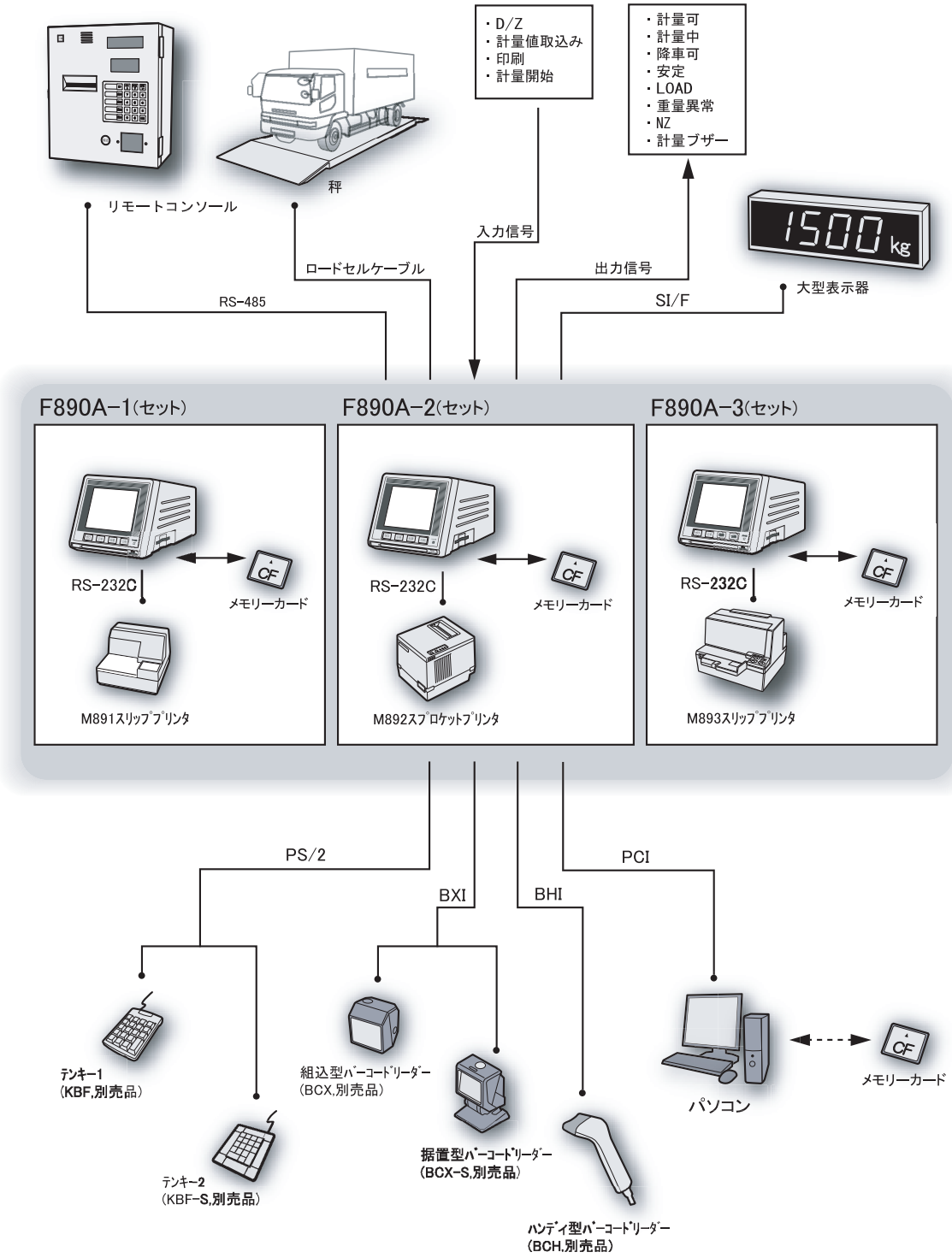
● 正確・迅速な計量

最小指示分解能　1/10,000（有効分解能1/320,000以上）
A/D 変換速度　25回/秒

● リニアライズ較正とスパン微調整

ゼロ、スパン以外の中間の3点の較正を行なうことによって、直線性を改善。リニアライズ較正後にスパンの微調整を行なうことが可能です。

1-3. システム構成と接続可能機器

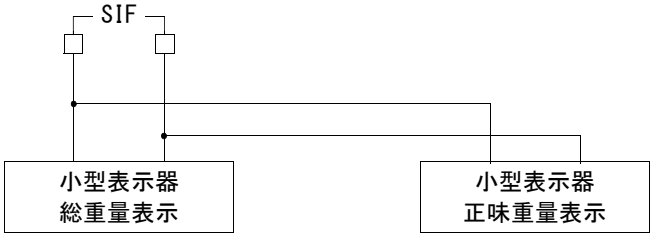


2 接続

2-1. SI/F端子台への接続

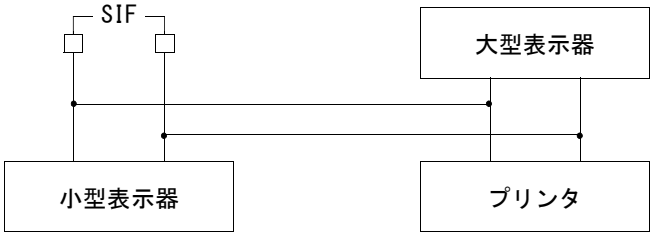
弊社製の外部機器と接続するための専用シリアルインターフェイスです。この方式は2線式ですので、非常に簡単に安価な工事で済みます。また、伝送距離は300m程度です。
接続する場合は、無極性であり3台まで並列接続することができます。使用する線材は、平行2芯ケーブル、キャプタイヤケーブルなどで十分です。
ただしACライン、高圧ラインとは平行させないでください。

例 1:



小型表示器を 3 台まで接続できます。また表示させる内容はそれぞれ独立して選択可能です。

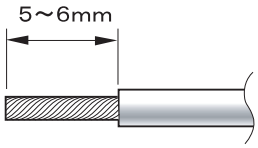
例 2:



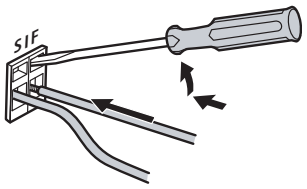
大型表示器、小型表示器、プリンタを接続した例です。
それぞれ独立してデータを選択できます。

付属のミニドライバを使って接続します。

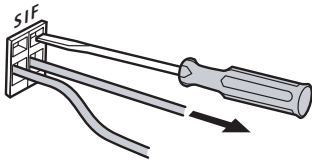
1. 接続する電線の被覆を5～6㎜むき、先端をばらさない程度に撚ります。



2. ミニドライバを上の穴に押し上げ気味にしながら強く差し込みます。
3. 先端をばらさないように、下の穴に電線を差し込みます。



4. ミニドライバを引き抜きます。
5. 軽く電線を引いて、確実にクランプされていることを確認します。



2-2. プリンタコネクタへの接続

M891、M892、M893のいずれかを接続します。
付属のプリンタケーブルを接続してください。
用紙は付属しておりませんので、お客様でご用意ください。

プリンタコネクタピンアサイン

Pin.No	入出力	信号名
1		
2	入	RXD
3	出	TXD
4	出	DTR
5		GND
6	入	DSR
7	出	RTS
8	入	CTS
9		

2-3. PS/2コネクタへの接続

テンキー（別売品）を接続します。

2-4. RS-232Cコネクタへの接続

RS-232Cコネクタには、バーコードリーダ、ハンディスキャナ、パソコンを接続することができます。
バーコードリーダは別売品です。付属のケーブルで接続してください。

バーコードリーダ、ハンディスキャナの接続

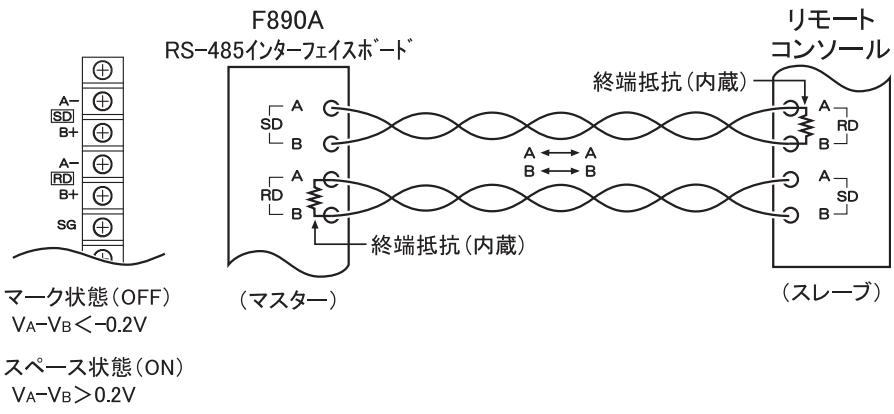
バーコードリーダ（別売品）、ハンディスキャナ（別売品）を接続します。
バーコードリーダ、ハンディスキャナに付属のケーブルを接続してください。

パソコンの接続

PCを接続します。
RS-232Cケーブルは付属しておりませんので、お客様でご用意ください。

2-5. RS-485への接続

RS-485には、リモートコンソールを接続することができます。



ポイント

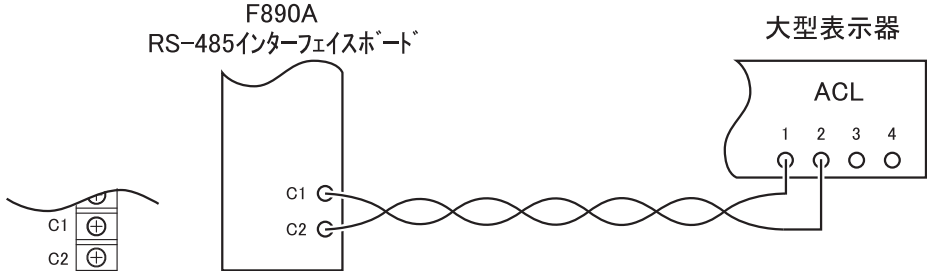
・接続ケーブルはツイストペア線を使用してください。(ノイズマージンが上がります。)
ただし、短距離での接続の場合は平行2芯ケーブルで十分です。

・F890A　RS-485インターフェイスおよびリモートコンソールには終端抵抗が付いていますので、外付けする必要はありません。

・SG端子は、回路上で使われる（回路を保護する）グランド端子です。F890A本体および接続相手機器（リモートコンソール）がD種接地されている場合、通常SG端子を使用する必要はありません。
ただし、現場の状況に応じて接続する必要がある場合は、相手機器の仕様をご確認のうえ接続してください。

2-6. カレントループへの接続

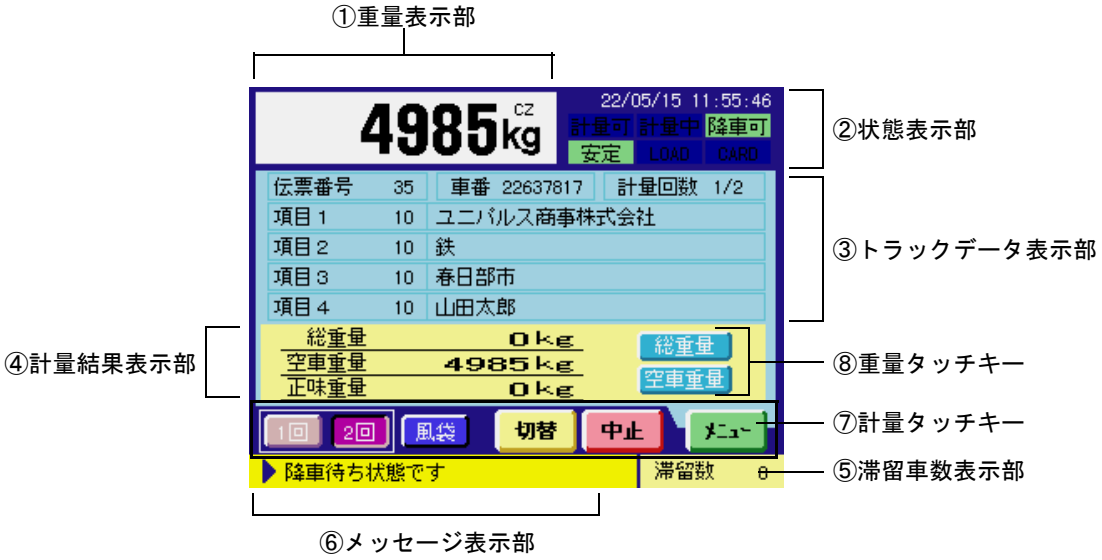
大型表示器を接続します。大型表示器に接続する場合は無極性です。



3　画面

3-1. 計量画面

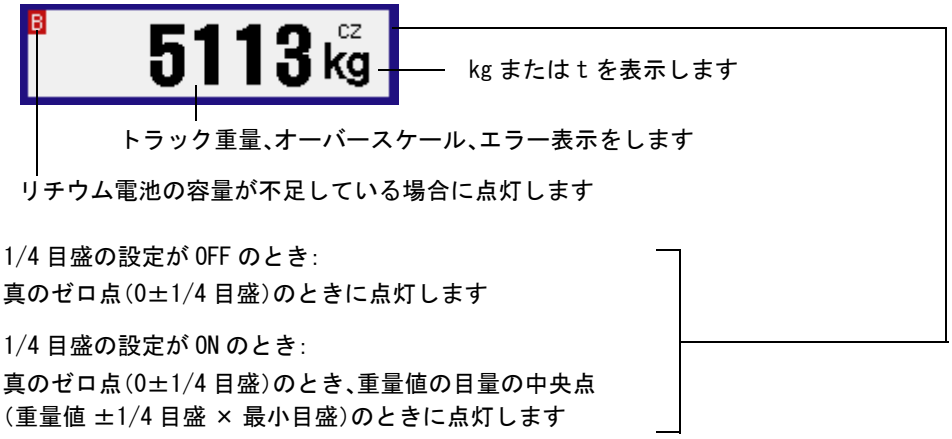
■計量法対応設定OFF時におけるメイン画面の表示



ポイント

風袋引きの設定が未使用に設定されているときは、風袋 を表示しません。
風袋引きの使用/未使用はP25「風袋引き」で行ないます。

①重量表示部



⚠注意

- B が点灯している場合は、バックアップ用リチウム電池の電圧が低下している可能性があります。
- SRAMに記憶された設定値（P131「設定値一覧表」）と計量記録、登録データ（車番、項目、補正値）はリチウム電池によりバックアップされています。リチウム電池の電圧が低下した状態でF890Aの電源をOFFにすると、設定値とデータが失われます。
- B が点灯した場合は、リチウム電池の交換作業を早めに行なってください。
- リチウム電池の交換方法は、「F890A取扱説明書　設置・較正編　7-3.バックアップ電池交換」をご参照ください。なお、リチウム電池の寿命は約7年です。

②状態表示部

現在の日時を表示します

計量可　計量可能なときに点灯します。

計量中　計量中のときに点灯します。

降車可　計量が終了し、トラックが降車可能なときに点灯します。

安定　重量値が安定しているときに点灯します。

LOAD　A/D変換入力オーバーのときに点灯します。

風袋引　風袋引が行なわれているときに点灯します。

LOCKスイッチがONのときに点灯します。

また LOAD は、以下の状態表示にも変わります。

CALZ　ゼロ較正中に点滅します。

CALS　スパン較正、リニアライズ較正、スパン補正中に点滅します。

NOV　Nov.RAM（不揮発性RAM）に設定値書き込み中のときに点灯します。

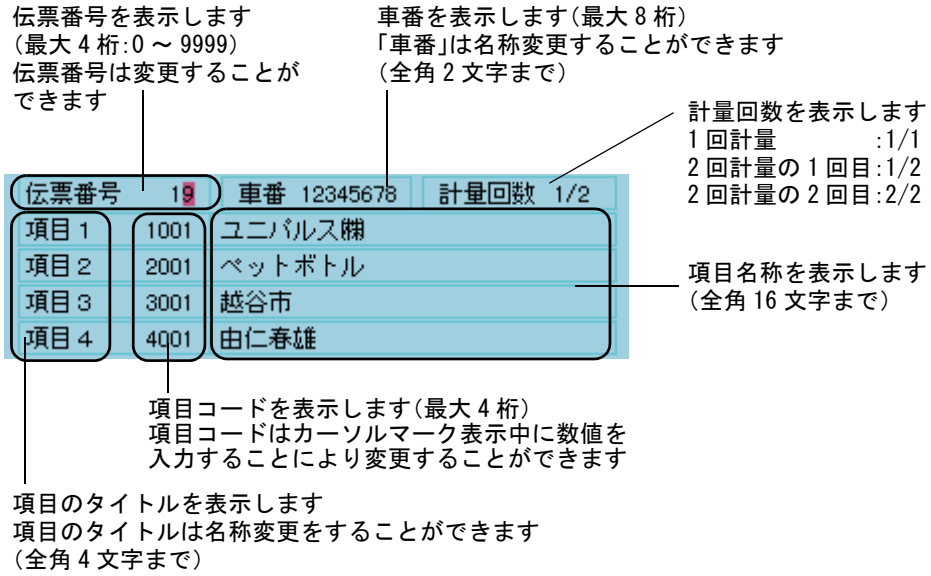
ZALM　ゼロアラーム中に点灯します。

CARD　計量結果をメモリーカードに自動バックアップしているときに点滅します。
点滅中はメモリーカードを抜かないでください。

⚠注意

- NOV 点灯中はF890Aの電源を切らないでください。正常な書き込みができません。

③トラックデータ表示部



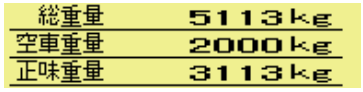
ポイント

名称変更は、P21「名称変更」を参照してください。

伝票番号の変更は、P118「伝票番号の変更」を参照してください。

④計量結果表示部

総重量（0～99999）、空車重量（0～99999）、正味重量（0～99999）を表示します。
正味重量は補正する前の重量です。



⑤滞留車数表示部

滞留車数（0～100）を表示します。

⑥メッセージ表示部

メッセージーを表示します。

⑦計量タッチキー

1回	1回計量を行ないます。（計量中、降車待ち状態では使用できません）
2回	2回計量を行ないます。（計量中、降車待ち状態では使用できません）
風袋	風袋引を行ないます。（計量結果表示中に限って使用可能です）
切替	「補正値表示画面」に移ります。
中止	計量を中止します。
ﾒﾆｭｰ	「編集メニュー画面」に移ります。 但し、計量中は使用することができません。

⑧重量タッチキー

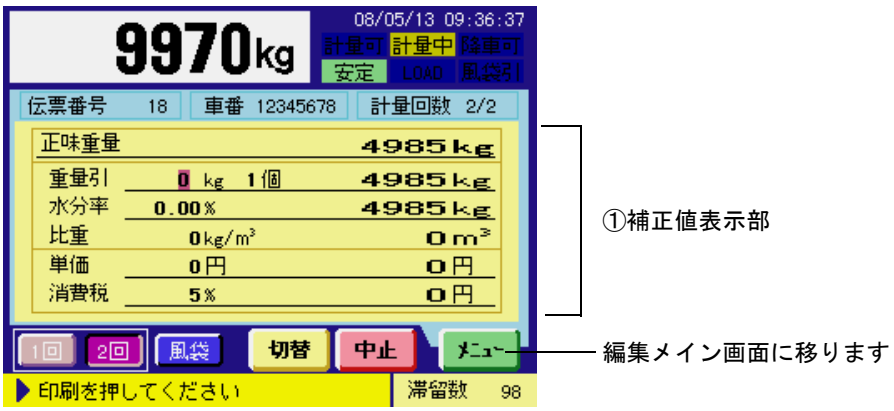
総重量　計測した重量値を総重量とし、総重量時刻、総重量、先印字に設定した項目を印字します。(2回計量1回目の計量中に限って使用可能です。)

空車重量　計測した重量値を空車重量とし、空車重量時刻、空車重量、先印字に設定した項目を印字します。(2回計量1回目の計量中に限って使用可能です。)

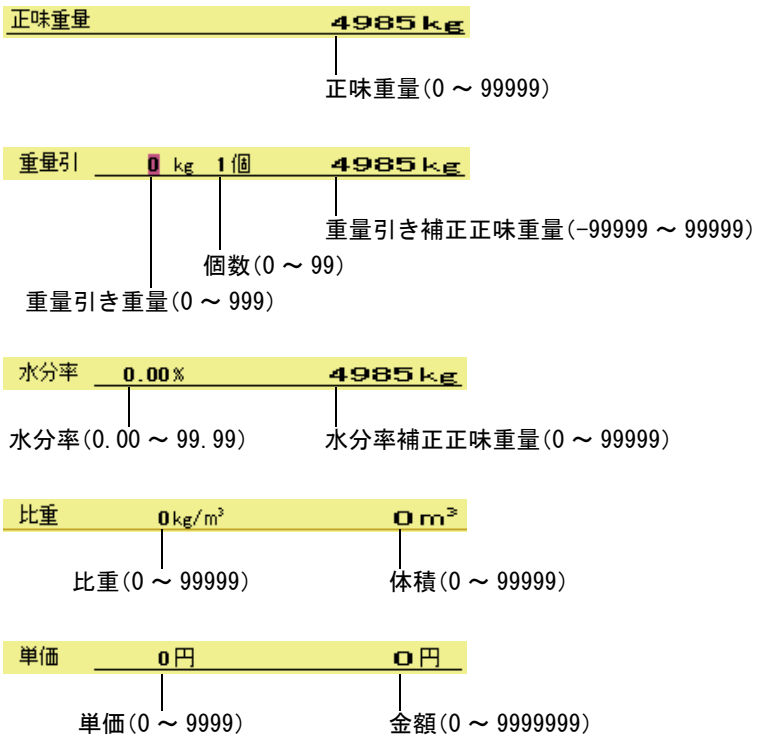
ポイント

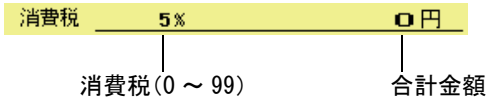
重量タッチキーはM891またはM893選択時の2回計量1回目のみ表示します。

■補正値表示画面



①補正値表示部

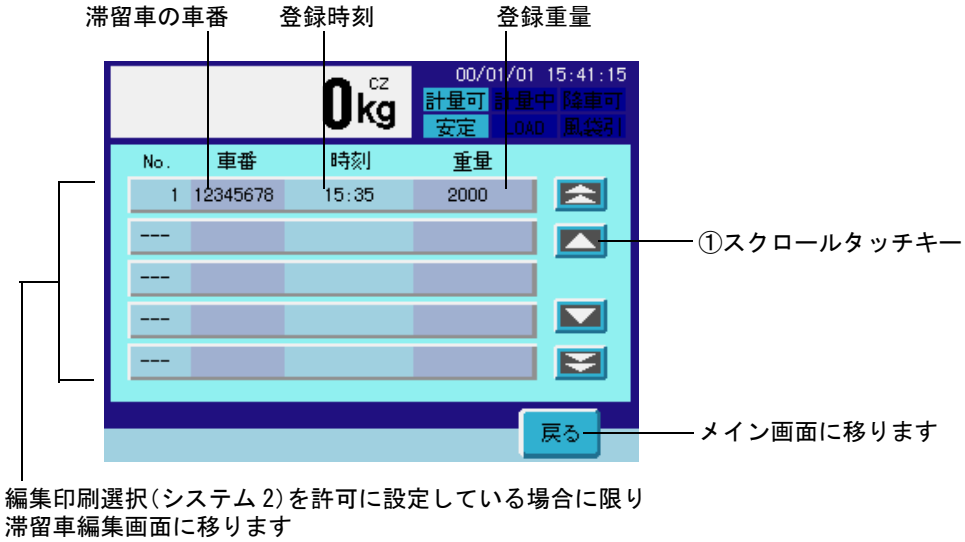




ポイント

未使用に設定されている補正値は表示しません。
計量法対応設定ON時は、風袋引機能は使用できません。
各補正値の使用/未使用は、P23「補正値設定」で行ないます。
補正値の入力方法は、P117「補正値入力」を参照してください。

■滞留車表示画面



①スクロールタッチキー

1画面（滞留車5台分)、上にスクロールします。
長押しで高速スクロールします。

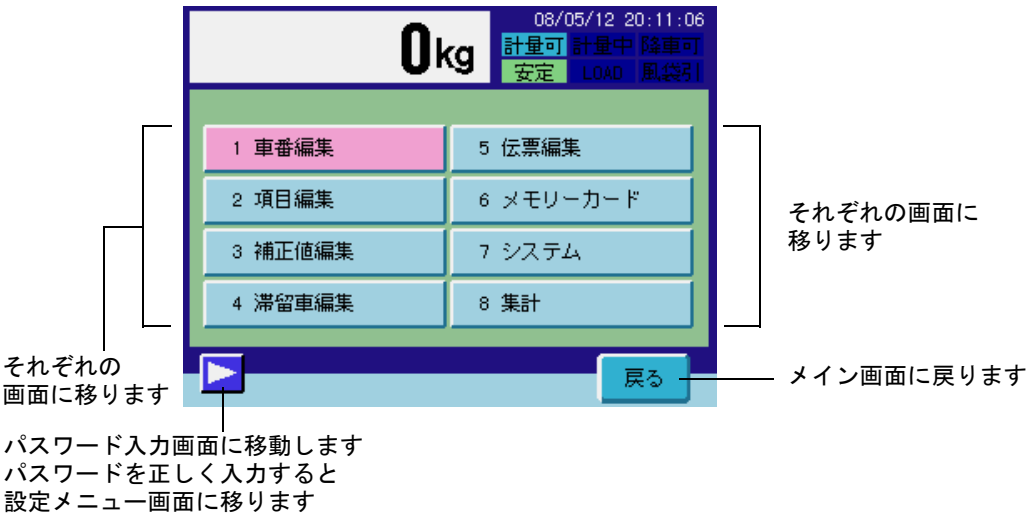
滞留車1台分、上にスクロールします。
長押しで高速スクロールします。

滞留車1台分、下にスクロールします。
長押しで高速スクロールします。

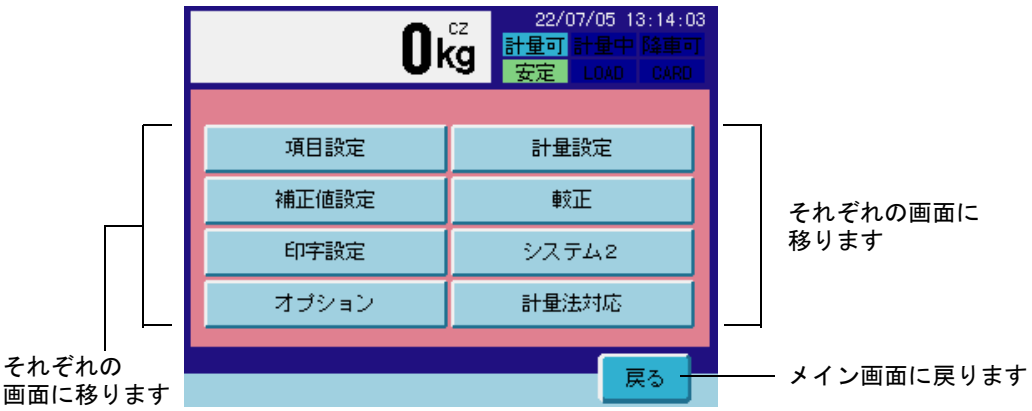
1画面（滞留車5台分）下にスクロールします。
長押しで高速スクロールします。

3-2. メニュー画面

■編集メニュー画面

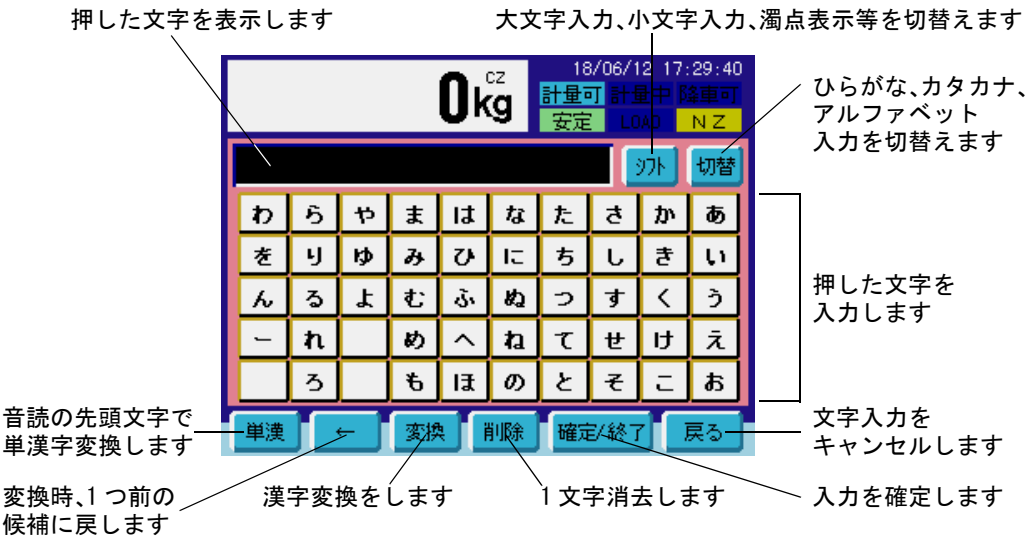


■設定メニュー画面

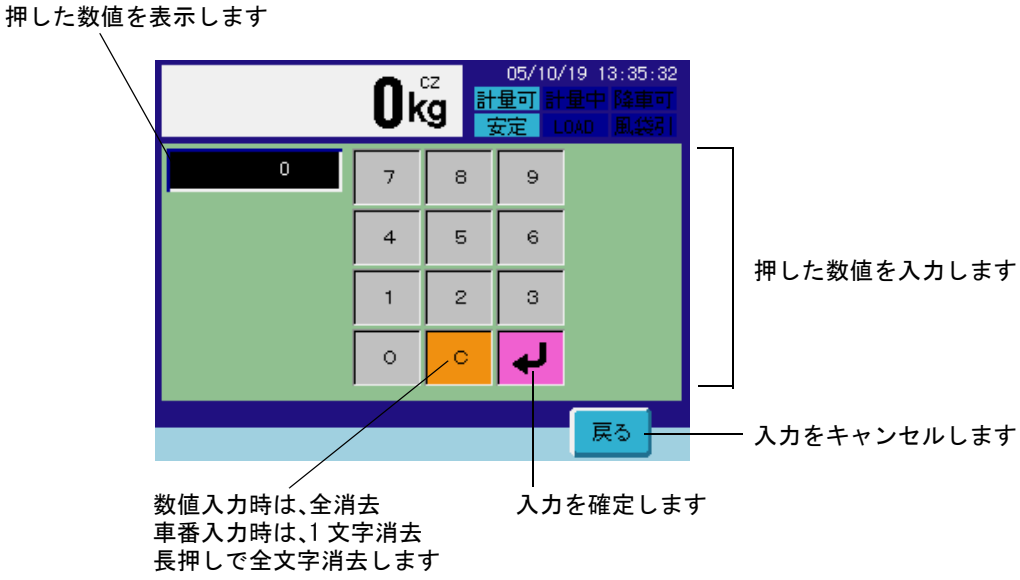


3-3. 文字・数値入力画面

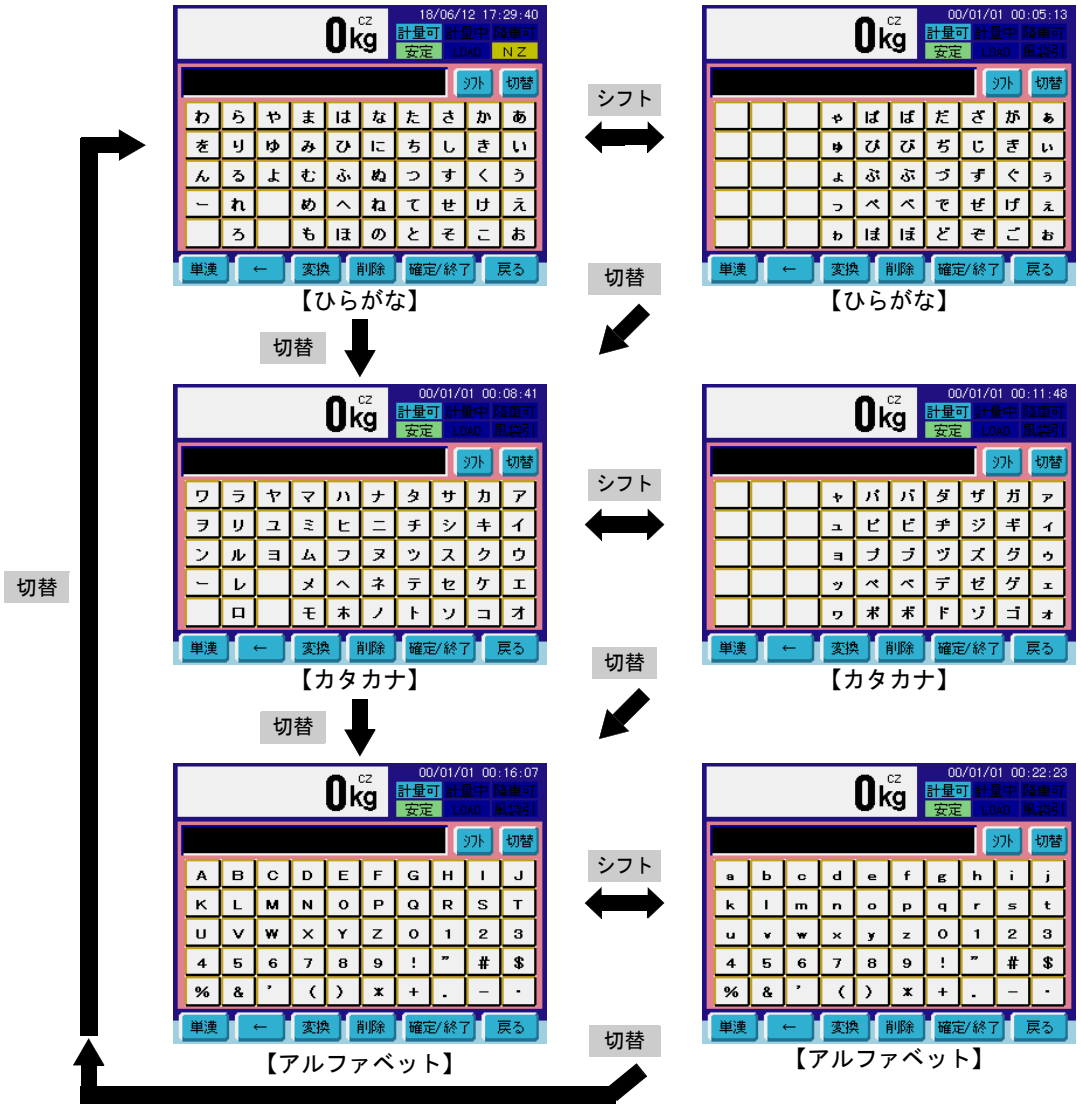
■文字入力画面



■数値入力画面



■文字入力画面遷移



■漢字変換

「例：“焼却炉”を入力する場合」

1. ひらがなで「しょうきゃくろ」を入力します。

2. 変換 を押して、漢字に変換します。

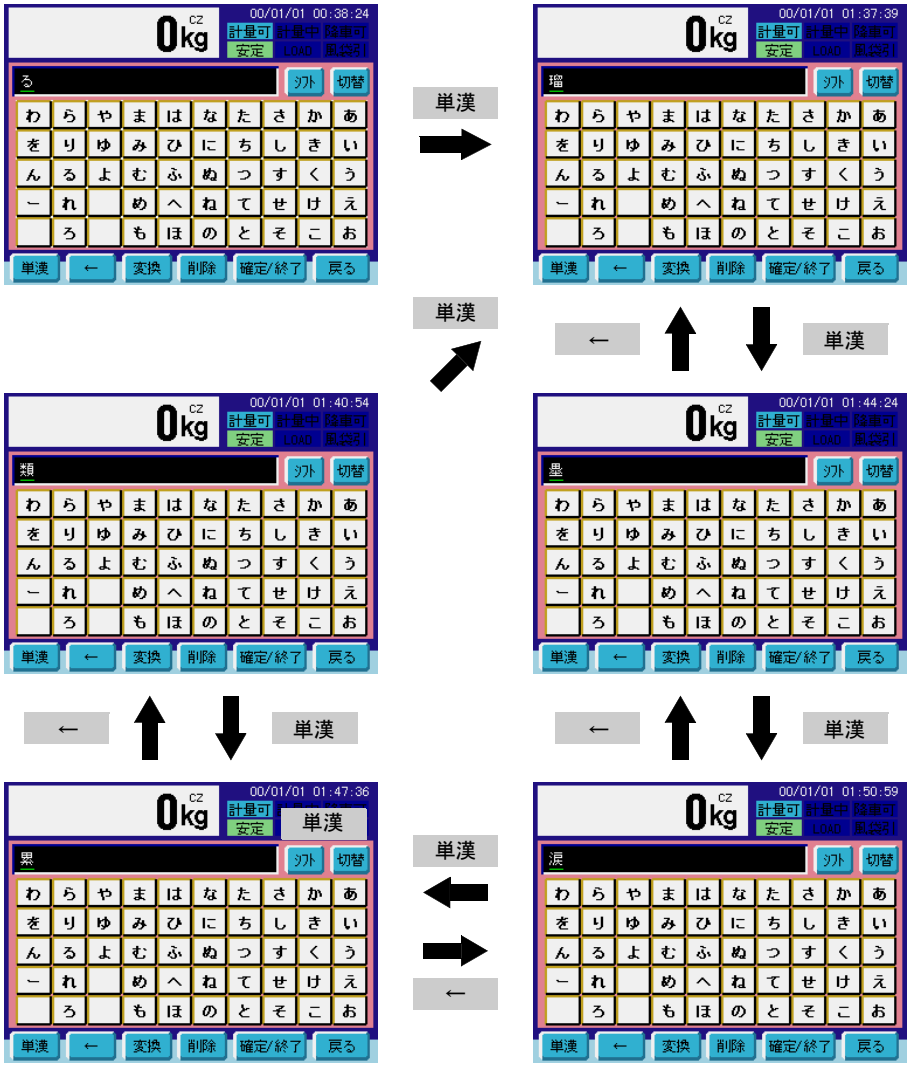
3. 確定／終了 を押して、変換を確定します。

■単漢字変換

ひらがなを一文字入力し、漢字に変換します。
変換できる漢字は、JIS第一水準文字です。

「例：“る”を入力して単漢字変換をする場合」

「る」のJIS第一水準漢字は、「瑠塁涙累類」の5種類です。コード順に変換します。



確定 / 終了 を押して変換を確定します。

ポイント
周辺機器取扱説明書「単漢字変換一覧」を参照してください。

4　較正

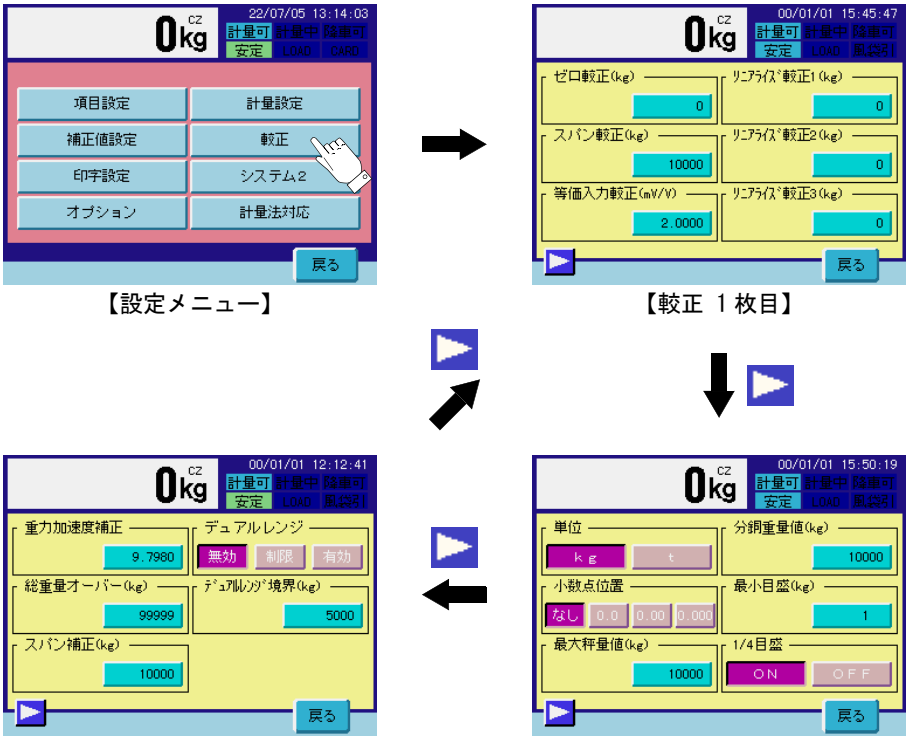
4-1. 較正画面遷移（計量法対応設定OFF時）

操作

メニュー　→　▶　→　パスワード入力　→　↵　→　較正

※パスワードは、任意で設定できます。P51「パスワード登録」を参照してください。
初期値は“0000”です。

画面遷移



ポイント

画面遷移は、計量法対応設定OFF時の場合です。
計量法対応設定ON時は、別紙「F890A取扱説明書 設置・較正編」をご参照ください。

4-2. 較正前の準備（計量法対応設定OFF時）

■最小目盛

計量の最小の単位（目盛）を設定します。（入力範囲／1～100）

ポイント

計量法対応設定ON時は、特定値のみ入力可能です。
詳しくは、「F890A取扱説明書 設置・較正編」をご参照ください。

■1/4目盛

重量値の目量の中央点を検出する機能です。最小目盛をさらに4分割し、重量値がその中央点にあれば“CZ”が表示されます。1/4目盛はON/OFFを選択します。1/4目盛がOFFの場合、“CZ”は真のゼロ点（表示がゼロ±1/4目盛）においてのみ点灯します。

ポイント

計量法対応設定ON時は、1/4目盛は設定できません。直前状態が“ON”でも“OFF”動作となります。

■重力加速度補正

はかりの較正場所と設置場所が異なる場合、地域ごとの重力加速度の違いによる重量誤差を補正する機能です。較正場所と設置場所が同じ地区の場合は、設定の必要はありません。（入力範囲／9.7000～9.9999）

重量加速度補正表

加速度（G）	該　当　地　区
9.806	釧路市，北見市，網走市，留萌市，稚内市，紋別市，根室市，宗谷支庁管内，留萌支庁管内，網走支庁管内，根室支庁管内，釧路支庁管内
9.805	札幌市，小樽市，旭川市，夕張市，岩見沢市，美唄市，芦別市，江別市，赤平市，士別市，富良野市，名寄市，三笠市，千歳市，滝川市，砂川市，歌志内市，深川市，恵庭市，石狩支庁管内，後志支庁管内，上川支庁管内，空知支庁管内
9.804	函館市，室蘭市，帯広市，苫小牧市，登別市，伊達市，度島支庁管内，檜山支庁管内，胆振支庁管内，日高支庁管内，十勝支庁管内
9.803	青森県
9.802	岩手県，秋田県
9.801	宮城県，山形県
9.800	福島県，茨城県，新潟県
9.799	栃木県，富山県，石川県
9.798	群馬県，埼玉県，千葉県，東京都（八丈支庁管内，小笠原支庁管内を除く），福井県，京都府，鳥取県，島根県
9.797	神奈川県，山梨県，長野県，岐阜県，静岡県，愛知県，三重県，和歌山県，滋賀県，大阪府，兵庫県，奈良県，岡山県，広島県，山口県，徳島県，香川県
9.796	東京都，（八丈支庁管内に限る），愛媛県，高知県，福岡県，佐賀県，長崎県，大分県
9.795	熊本県，宮崎県
9.794	鹿児島県（名瀬市，大島郡を除く）
9.793	東京都（小笠原支庁管内に限る）
9.792	鹿児島県（名瀬市，大島郡に限る）
9.791	沖縄県

ポイント

計量法対応設定ON時は、重力加速度補正は設定できません。直前の重力加速度が固定値となります。

4-3. 等価入力較正（二次較正）の手順

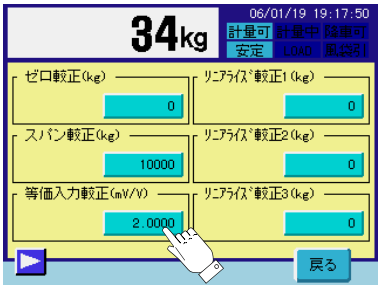
ロードセルの出力値（mV/V）と対応する重量値（表示させたい値）をキー入力するだけの実負荷によらない較正方法です。
F890Aの故障交換時や誤ってスパン較正操作をしてしまった場合など、分銅なしで概略のスパン較正ができます。
ただし、計量法対応設定ON時は、等価入力較正による較正はできません。
等価入力較正はあくまでも臨時的なものなので、早い時期に正規の実負荷較正を行なってください。等価入力較正は次の手順で行ないます。

較正前の準備　※ 各設定値の登録
↓
等価入力較正　※ ロードセル出力値(mV/V)の登録
↓
ゼロ較正
↓
LOCK スイッチ ON

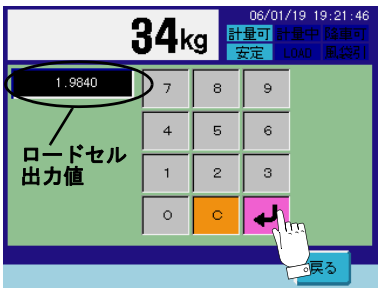
4-4. 等価入力較正（二次較正）

ロードセルの出力値（mV/V）と対応する重量値をキー入力すると、登録した出力値の入力で登録した重量表示値になるように較正します。

1. 等価入力較正の 2.0000 を押します。



2. 分銅重量値に対応したロードセルの出力値を入力して ↵ を押します。



※較正エラーメッセージが表示された場合は、P128「較正エラー表示」をご参照ください。

4-5. デュアルレンジ

計量法対応設定OFF時には、無効/有効/制限から選択可能です。
計量法対応設定ON時は、有効を選択することができません。
詳細は「F890A取扱説明書 設置・較正編」をご参照ください。

（例）

デュアルレンジ境界	5000kg
最小目盛	1目盛
総重量（計量結果）	9561kg
空車重量（計量結果）	8003kg

無効の場合

総重量	9561kg
空車重量	8003kg
正味重量	1558kg

有効の場合

総重量	9562kg
空車重量	8004kg
正味重量	1558kg

制限の場合

総重量	9562kg
空車重量	5000kg
正味重量	4562kg

5 設定

5-1. 計量設定

計量法対応設定OFF時、下記の設定項目が異なります。
詳細は、「F890A取扱説明書 設置・較正編」をご参照ください。

■モーションディテクト(MD)

MD時間、MD幅の設定範囲が異なります。

MD時間：0.0～9.9秒　　MD幅：00～99

■ゼロトラッキング（ZT）

ゼロトラッキング時間、ゼロトラッキング幅の設定範囲が異なります。

ゼロトラッキング時間：0.0～9.9秒　　ゼロトラッキング幅：0～9999

■デジタルゼロ（D/Z）

重量値の表示をただちにゼロにします。ただし、重量値が安定していない場合は、ゼロになりません。
また、印字や登録処理中、異常メッセージ表示中などは無効です。重量値がDZ規制値を超えている状態でこの操作を行なった場合は、DZ異常時の方式の設定に応じて処理を行ないます。

ゼロ を押すか、テンキーの“ゼロ”キーや外部入力信号のONエッジで動作を行ないます。

ポイント

デジタルゼロの解除方法は、P130「PASSWORD」をご参照ください。

■DZ規制値

デジタルゼロやゼロトラッキングなどによるゼロ点補正（パワーオンゼロ操作後のゼロ点からのズレ）の範囲を設定します。DZ規制値を超えたところでデジタルゼロの操作を行なったり、ゼロトラッキングが動作したりした場合は、DZ異常時の方式の設定に応じて処理を行ないます。（入力範囲/0～9999）

（パワーオンゼロ操作後のゼロ点－DZ規制値）≦ゼロ点補正範囲
≦（パワーオンゼロ操作後のゼロ点＋DZ規制値）

・DZ異常時の方式＝”強制処理”の場合
　DZ規制値分だけ重量値を減少させ、ZALM（ゼロアラーム）を点灯させます。

・DZ異常時の方式＝”未処理”の場合
　処理を行ないません。

ポイント

・DZ規制値は、ゼロ付近よりも小さい値を設定してください。

・計量法対応設定ON時、DZ異常時の方式を選択することはできません。
この場合、未処理の対応になります。

5-2. 項目設定

操作

メニュー → ▶ → パスワード入力 → ↵ → 項目設定

画面遷移

【設定メニュー】

【項目設定】

■名称変更

車番，項目1，項目2，項目3，項目4の名称を変更します。車番の変更文字数は全角2文字で、各項目の変更文字数は全角4文字です。なお、全角1文字は2バイト、半角1文字は1バイトです。

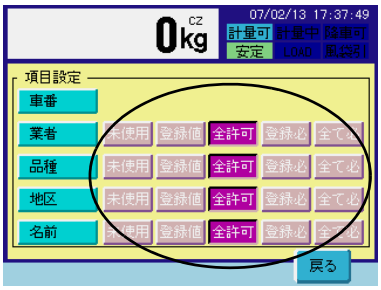
1. 名称変更する車番または項目を押します。

2. 文字入力画面が表示されますので、名称を変更　します。文字の入力方法は、P12「文字・数値入力画面」を参照してください。

「項目 1」を「業者」
「項目 2」を「品種」
「項目 3」を「地区」
「項目 4」を「名前」
に名称変更

■項目使用条件

項目の使用条件を選択します。



項目未使用：　画面に項目が表示されません。

登録値のみ：　計量時、登録されている項目のみ使用することができます。項目入力画面でコードを入力した場合、登録されていないコードを入力するとエラー音が鳴ります。

全て許可：　計量時、登録されていない項目も使用することができます。項目入力画面でコードを入力した場合、登録されていないコードを入力するとコードのみの表示となります。

登録必須：　計量時、登録されている項目のみ使用することができ、項目の入力が必須となります。項目入力画面でコードを入力した場合、登録されていないコードを入力するとエラー音が鳴ります。

全て必須：　計量時、登録されていない項目も使用することができ、項目の入力が必須となります。項目入力画面でコードを入力した場合、登録されていないコードを入力するとコードのみの表示となります。

※項目設定を「登録必須」または「全て必須」に指定し、登録車の計量を行なった場合、車番の指定後、順次未入力の項目選択画面へ遷移します。

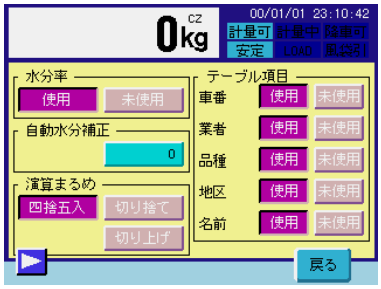
5-3. 補正値設定

操作

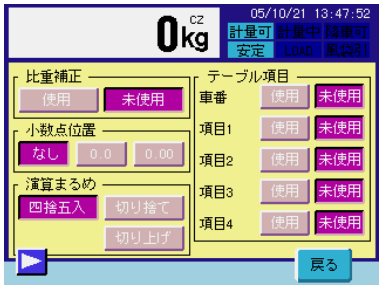
メニュー → ▶ → パスワード入力 → ↵ → 補正値設定

画面遷移

【設定メニュー】



【補正値設定　1 枚目】



【補正値設定　2 枚目】

【補正値設定　4 枚目】

【補正値設定　3 枚目】

■水分引き

● **水分率**

水分引きによる重量補正を行なうかを設定します。
使用／未使用から選択します。
水分率補正を使用すると、水分引き補正正味重量が算出されます。計算式は以下のとおりです。

〈計算式〉　水分引き補正正味重量[kg]＝正味重量[kg]－(正味重量[kg]×水分率[%])

● **自動水分補正（kg）**

水分率の自動検出値を設定します。
水分率が設定値以上の場合、自動で検出します。
設定値が“0”の時は、自動水分補正の機能を無効とするため、検出重量制限がなくなります。
水分率を未使用に設定している場合、自動水分補正値を設定しても、水分率は検出されません。

● **演算まるめ**

演算のまるめ方を四捨五入／切り上げ／切り捨てから選択します。

● **テーブル項目**

あらかじめ登録していたトラック情報と計量中のトラック情報が同じ場合、あらかじめ登録しておいた水分率を自動で表示することができます。
テーブルには、車番，項目1，項目2，項目3，項目4を登録することができ、登録する項目（車番，項目1，項目2，項目3，項目4）を使用／未使用から選択します。

■体積表示

● **比重**

比重を使用するかを設定します。使用／未使用から選択します。
比重補正を使用しても、重量値は補正されません。

〈計算式〉　体積[m^3]＝正味重量[kg]／比重[kg/m^3]

● **小数点位置**

比重の小数点位置を選択します。なし／0.0／0.00から選択します。

● **演算まるめ**

演算のまるめ方を四捨五入／切り上げ／切り捨てから選択します。

● **テーブル項目**

比重テーブルを使用する項目を設定します。使用／未使用から選択します。

■重量引き

重量引きによる重量補正を行なうかを設定します。
使用／未使用から選択します。
重量引き補正を行なうと、重量引き補正正味重量が算出されます。計算式は以下のとおりです。

〈計算式〉　重量引き補正正味重量[kg]＝正味重量[kg]－（重量引き重量[kg]×個数）

重量引き重量と個数は、計量時に入力します。

■風袋引き

風袋引きを使用するかを設定します。
使用／未使用から選択します。
風袋引きは、毎回の計量時に風袋ボタンを押して風袋引き重量を入力します。
計量法対応設定ON時は、“未使用”設定となり、設定できません。

■単価

● 単価

単価を使用するかを設定します。
単価を使用すると金額が算出されます。
体積／重量／未使用から選択します。

体積：体積基準（m^3あたりの単価）での金額計算を行ないます。
重量：正味重量基準（kgあたりの単価）での金額計算を行ないます。

計算式は以下のとおりです。

〈計算式〉　重量選択時：金額[円]＝正味重量[kg]×単価[円]
体積選択時：金額[円]＝体積[m^3]×単価[円]

● テーブル項目

単価テーブルを使用する項目を設定します。
使用／未使用から選択します。

■消費税

● 消費税

消費税率を使用するかを設定します。
消費税率を使用すると合計金額を算出します。
使用／未使用から選択します。
計算式は以下のとおりです。

〈計算式〉　合計金額[円]＝金額[円]＋（金額[円]×消費税率[%]）

演算のまるめは切り上げです。

● 消費税率

消費税率を入力します。
1%～99%の範囲で設定できます。

5-4. 印字設定

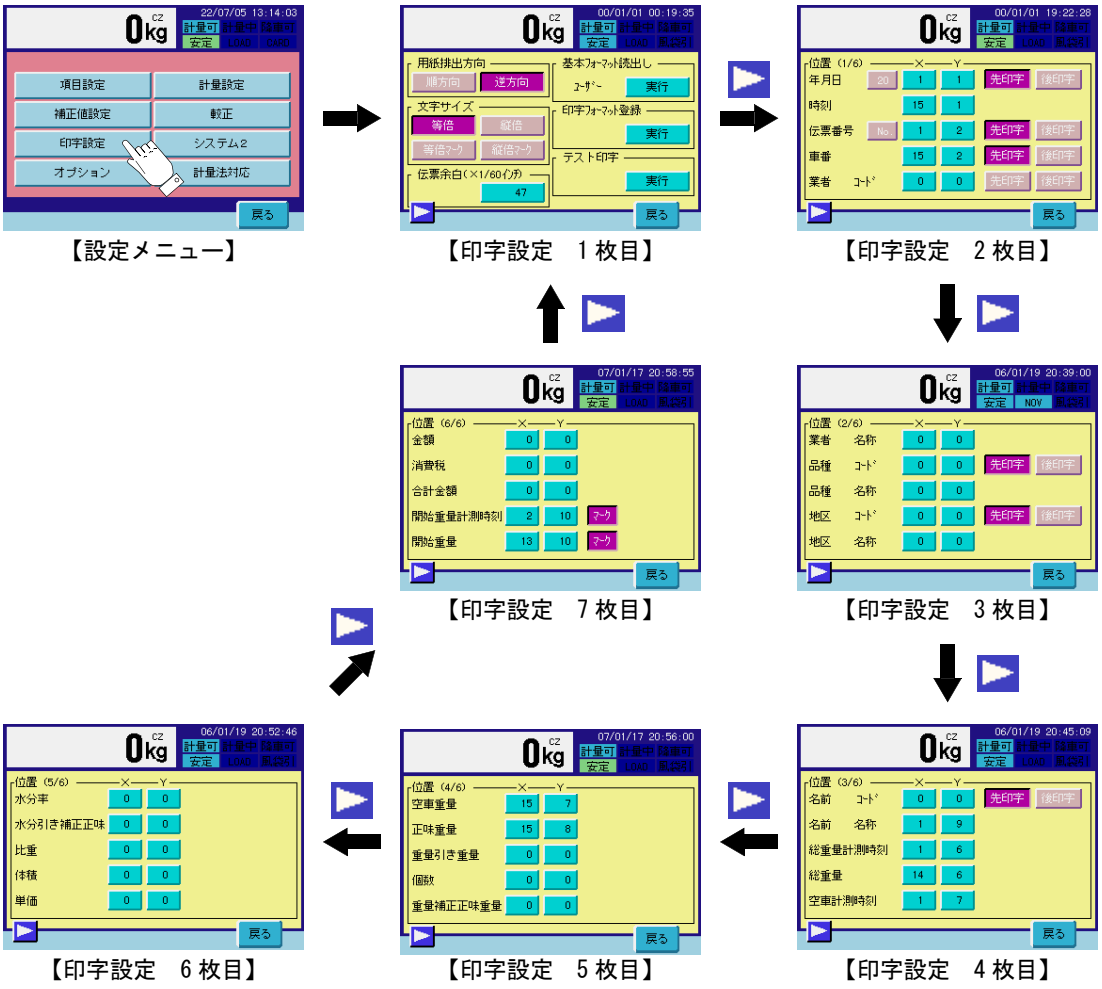
F890Aの付属プリンタには、M891プリンタ、M892プリンタ、M893プリンタの3種類があります。ご使用のプリンタをご確認の上、印字設定を行なってください。

■M891、M893プリンタ

操作

メニュー　→　▶　→　パスワード入力　→　↵　→　印字設定

画面遷移



■用紙排出方向

印字終了後の伝票の排出方向を、順方向/逆方向から選択し設定します。

順方向：M891、M893正面から見て、奥に排出されます。
逆方向：M891、M893正面から見て、手前に排出されます。

■文字サイズ

印字文字サイズを、等倍/縦倍/等倍マーク/縦倍マークから選択し設定します。
マーク付の場合は、重量単位の後に1文字分あけて総重量には“G”を、空車重量には“T”を正味重量には“N”を印字します。

※ 計量法対応設定ON時は、1回計量に限りあらかじめ登録しておいた重量に対して“PT”（プリセット風袋量）を付けて表示します。
また、印字についても“PT”付で印字します。

※ 計量法対応設定 ON 時は、正味重量に対し常時“C”付で印字します。
これは正味重量が計算により算出された値であることを示すためです。
同時にマーク付を指定した場合には、総重量に“G”を、空車重量に“T”（1回計量では“PT”）を、正味重量に“C”を付けて印字します。

● M891
等倍：2.55mm×2.95mm　　縦倍：2.55mm×5.90mm

● M893
等倍：2.7mm×2.9mm　　縦倍：2.7mm×5.8mm

■伝票余白

伝票上端の余白長を、設定します。（設定範囲：0～255）

● M891
文字サイズが等倍：約20.3mm＋n/60インチ
文字サイズが縦倍：約18.6mm＋n/60インチ

● M893
文字サイズが等倍：約18.9mm＋n/72インチ
文字サイズが縦倍：約18.9mm＋n/72インチ

■印字位置

印字位置を設定します。
印字位置は座標で設定します。
座標は（X，Y）であらわします。
設定範囲はX座標が0～23（M891）、0～30（M893）で、Y座標が0～18です。
X座標、Y座標のどちらかに0を設定すると印字を行ないません。
また、印字途中でX座標23（M891）、または30（M893）に到達した場合には、その行に限り以降の印字を行ないません。
行間を変更することはできません。行間は1/3インチ固定です。

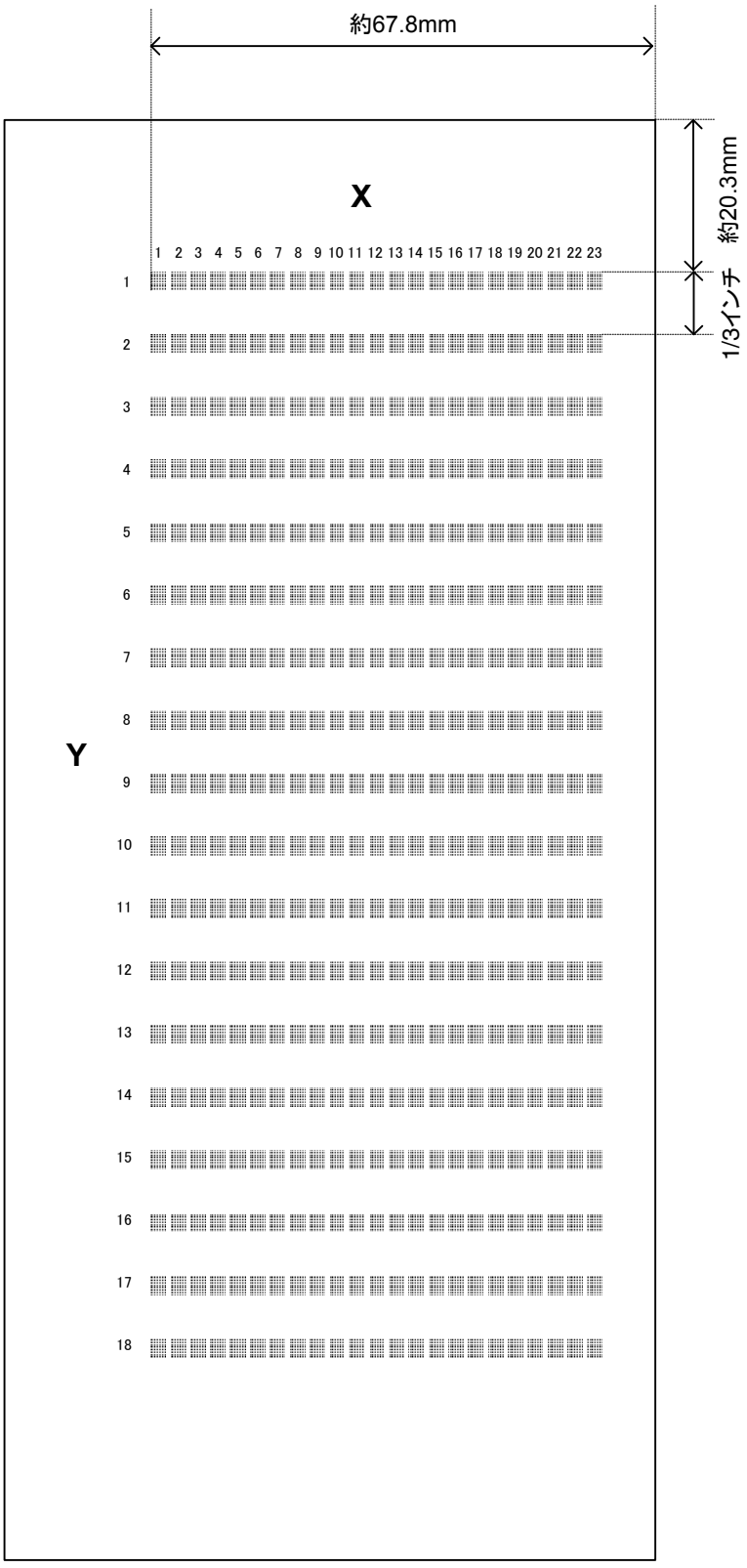
年月日の年表示への「20」の印字 有/無を選択し設定します。
伝票番号の前への「No.」の印字 有/無を選択し設定します。

1回目に計量した重量を伝票上で確認するため、1/2回目計量時に限り、開始重量、開始重量計測時刻を印字することができます。

※開始重量および開始重量計測時刻は再印字を行なうことができません。
ただし、マーク付に設定している場合には、空車重量と総重量のうち1/2回目計量した重量に対して、印字内容のあとに1文字分あけて“＊”を印字します。

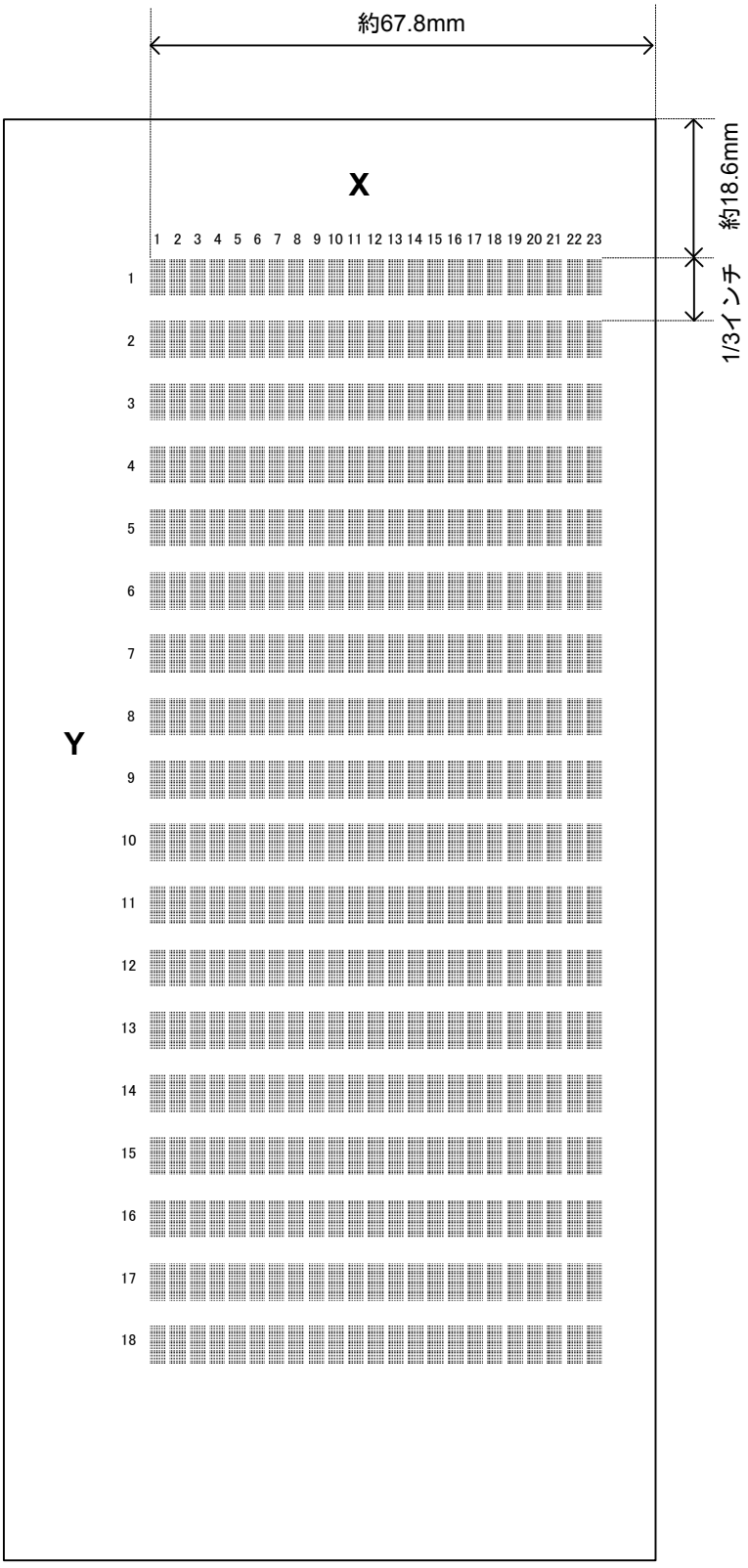
● M891印字位置座標（等倍）

文字サイズ：2.55mm×2.95mm



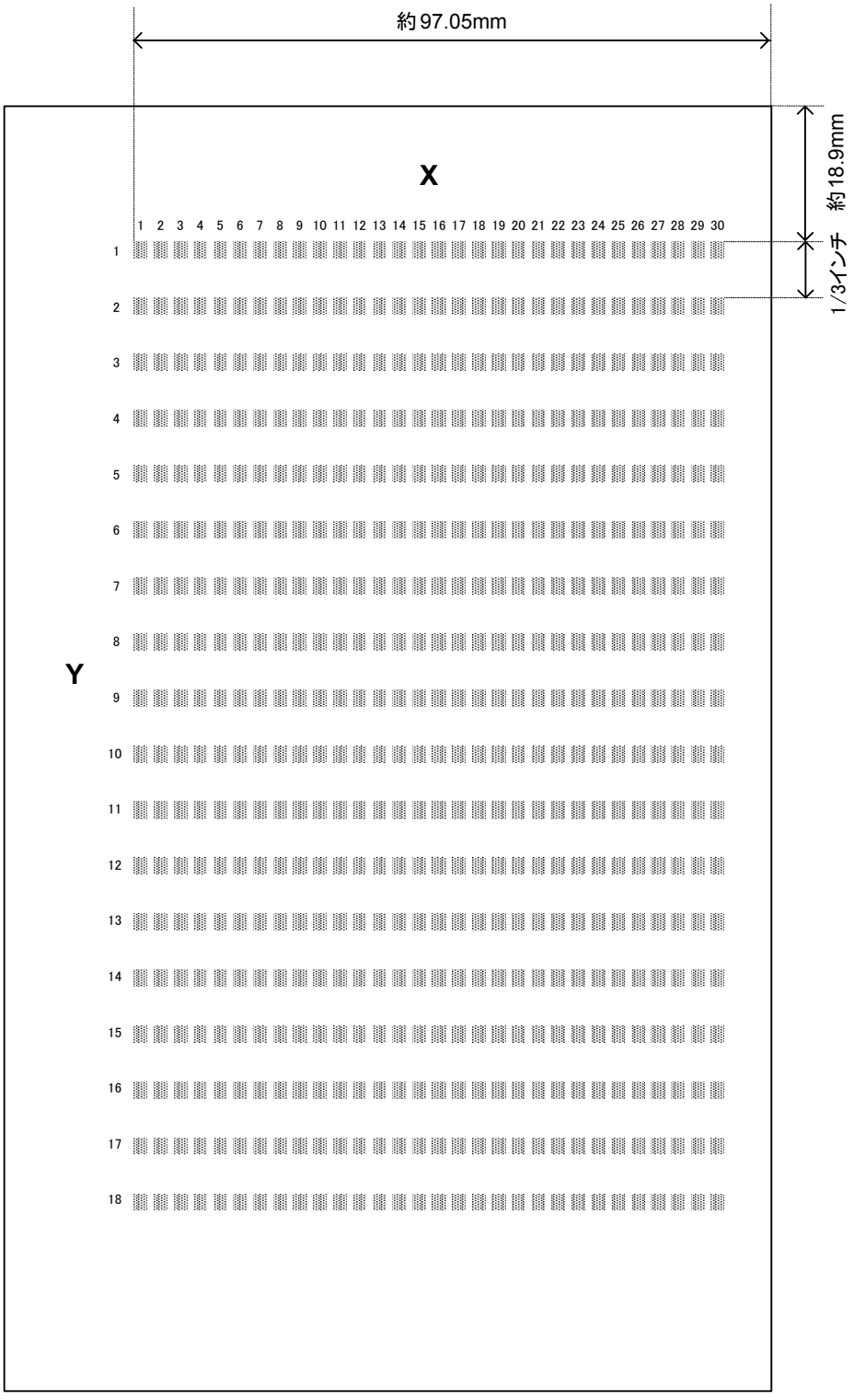
● M891印字位置座標（縦倍）

文字サイズ：2.55㎜×5.90㎜



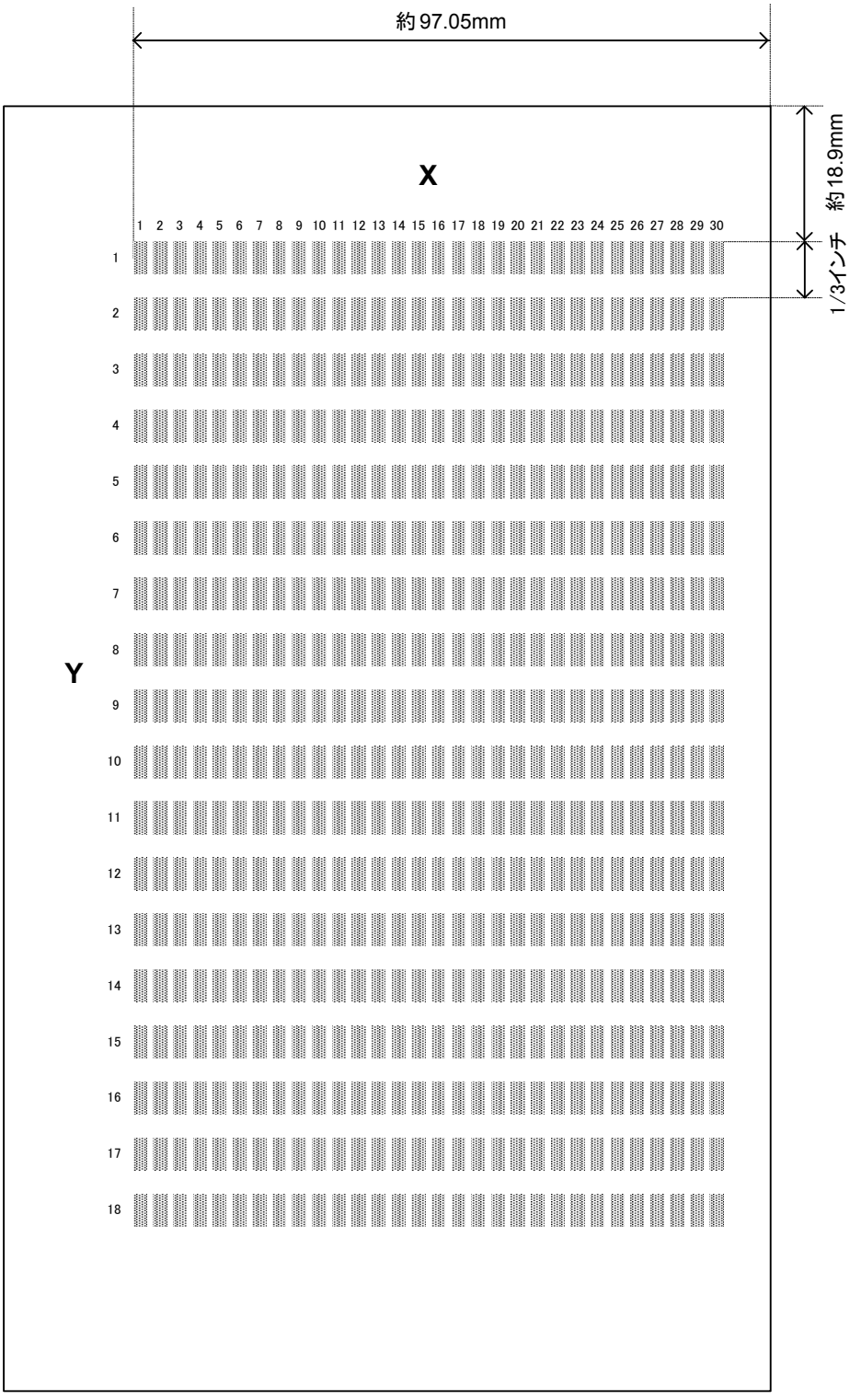
● M893印字位置座標（等倍）

文字サイズ：2.7㎜×2.9㎜



● M893印字位置座標（縦倍）

文字サイズ：2.7㎜×5.8㎜



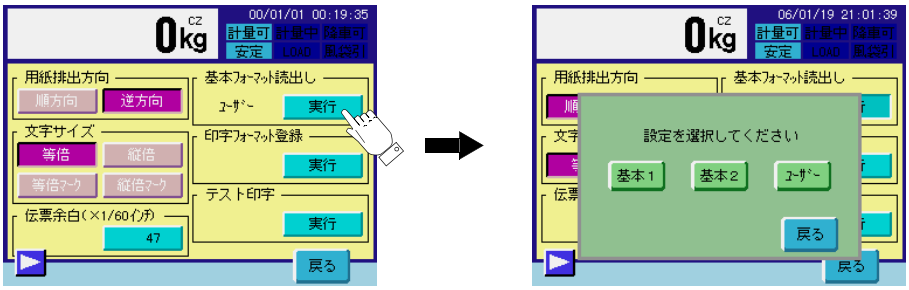
■先印字/後印字

2回計量のとき、1回目の計量終了時に印字する項目を設定します。
先印字／後印字から選択します。
設定できる項目は以下のとおりです。

設定項目	印字内容
年月日	年月日
	時刻
伝票番号	伝票番号
車番	車番
項目1	項目1　コード
	項目1　名称
項目2	項目2　コード
	項目2　名称
項目3	項目3　コード
	項目3　名称
項目4	項目4　コード
	項目4　名称

■基本フォーマット読み出し

あらかじめ、F890Aに登録してある印字位置を読み出します。
2種類の基本フォーマットが登録されています。
読み出しを実行すると、現在設定されている設定は消えてしまいますので、印字位置登録を行なってから読み出しを実行してください。



● M891基本フォーマット印字設定

名称	基本1	基本2	名称	基本1	基本2
用紙排出方向	逆方向	逆方向	項目3-コード	(0, 0)	(0, 0)
文字サイズ	等倍	等倍	項目3-名称	(0, 0)	(15, 3)
伝票余白	47	47	項目4-コード	(0, 0)	(0, 0)
年月日20マーク	0	0	項目4-名称	(0, 0)	(15, 4)
年月日	(14, 1)	(1, 1)	総重量計測時刻	(1, 6)	(1, 6)
時刻	(0, 0)	(15, 1)	総重量	(14, 6)	(15, 6)
伝票番号No. マーク	0	0	空車計測時刻	(1, 7)	(1, 7)
伝票番号	(1, 1)	(1, 2)	空車重量	(14, 7)	(15, 7)
車番	(14, 2)	(15, 2)	正味重量	(14, 8)	(15, 8)
項目1-コード	(1, 3)	(0, 0)	開始重量計測時刻マーク	0	0
項目1-名称	(9, 3)	(1, 3)	開始重量マーク	0	0
項目2-コード	(1, 4)	(0, 0)	その他	(0, 0)	(0, 0)
項目2-名称	(9, 4)	(1, 4)			

● M893基本フォーマット印字設定

名称	基本1	基本2	名称	基本1	基本2
用紙排出方向	逆方向	逆方向	項目3-コード	(0,0)	(0,0)
文字サイズ	等倍	等倍	項目3-名称	(0,0)	(0,0)
伝票余白	61	61	項目4-コード	(0,0)	(0,0)
年月日20マーク	0	0	項目4-名称	(0,0)	(0,0)
年月日	(22,1)	(21,1)	総重量計測時刻	(10,6)	(11,4)
時刻	(0,0)	(0,0)	総重量	(22,6)	(21,4)
伝票番号No.マーク	0	0	空車計測時刻	(10,7)	(11,5)
伝票番号	(9,1)	(10,1)	空車重量	(22,7)	(21,5)
車番	(22,2)	(10,2)	正味重量	(22,8)	(21,6)
項目1-コード	(9,3)	(22,2)	開始重量計測時刻マーク	0	0
項目1-名称	(15,3)	(0,0)	開始重量マーク	0	0
項目2-コード	(9,4)	(10,3)	その他	(0,0)	(0,0)
項目2-名称	(15,4)	(0,0)			

＜印字サンプル1＞

計量法設定：OFF
文字サイズ：等倍
1回計量

M891基本1

※業者は項目1、品種は項目2です。

様

計量証明書

伝票	1234	年月日	09/08/17
車番	12345678		
業者	0001	項目名称 0001	
品種	0002	項目名称 0002	
総重量	11:30	10000kg	
空車	11:30	8000kg	
正味	2000kg		
計量者		乗車員数	名
備考			

M891基本2

※業者は項目1、品種は項目2、
地区は項目3、名前は項目4です。

様

計量証明書

年月日	09/08/17	時刻	11:30
伝票	1234	車番	12345678
業者	項目名称 0001	地区	項目名称 0003
品種	項目名称 0002	名前	項目名称 0004
総重量	11:30	10000kg	
空車	11:30	8000kg	
正味	2000kg		
備考		乗車員数	名

＜印字サンプル2＞

計量法設定：OFF
文字サイズ：縦倍
1回計量

M891基本1
※業者は項目1、品種は項目2です。

様

計量証明書

伝 票	1234	年月日	09/08/17
車 番			12345678
業 者	0001	項目名称 0001	
品 種	0002	項目名称 0002	
総重量	11:30		10000kg
空 車	11:30		8000kg
正 味			2000kg
計量者		乗車員数	名
備 考			

＜印字サンプル3＞

計量法設定：OFF
文字サイズ：等倍マーク
2回計量

M891基本1
※業者は項目1、品種は項目2です。

様

計量証明書

伝 票	1234	年月日	09/08/17
車 番			12345678
業 者	0001	項目名称 0001	
品 種	0002	項目名称 0002	
総重量	11:30		10000kg G
空 車	11:50		5400kg T
正 味			4600kg N
計量者		乗車員数	名
備 考			

＜印字サンプル4＞

計量法設定：ON
文字サイズ：等倍
1回計量

M891基本1
※業者は項目1、品種は項目2です。

様

計量証明書

伝 票	1234	年月日	09/08/17
車 番		12345678	
業 者	0001	項目名称 0001	
品 種	0002	項目名称 0002	
総重量	11:30	10000kg	
空 車	11:30	8000kg PT	
正 味		2000kg C	
計量者		乗車員数	名
備 考			

＜印字サンプル5＞

計量法設定：ON
文字サイズ：等倍マーク
2回計量

M891基本1
※業者は項目1、品種は項目2です。

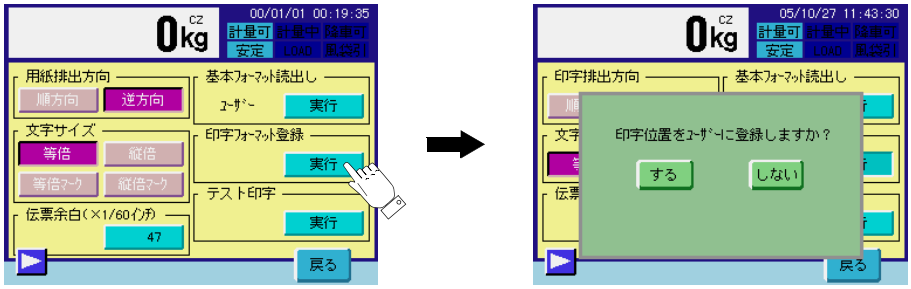
様

計量証明書

伝 票	1234	年月日	09/08/17
車 番		12345678	
業 者	0001	項目名称 0001	
品 種	0002	項目名称 0002	
総重量	11:30	10000kg G	
空 車	11:50	5400kg T	
正 味		4600kg C	
計量者		乗車員数	名
備 考			

■印字位置登録

設定した印字位置、用紙排出方向、文字サイズ、伝票余白、先印字／後印字をF890Aに登録します。
登録した印字位置は、基本フォーマット読み出しのユーザーから読み出すことができます。



■テスト印字

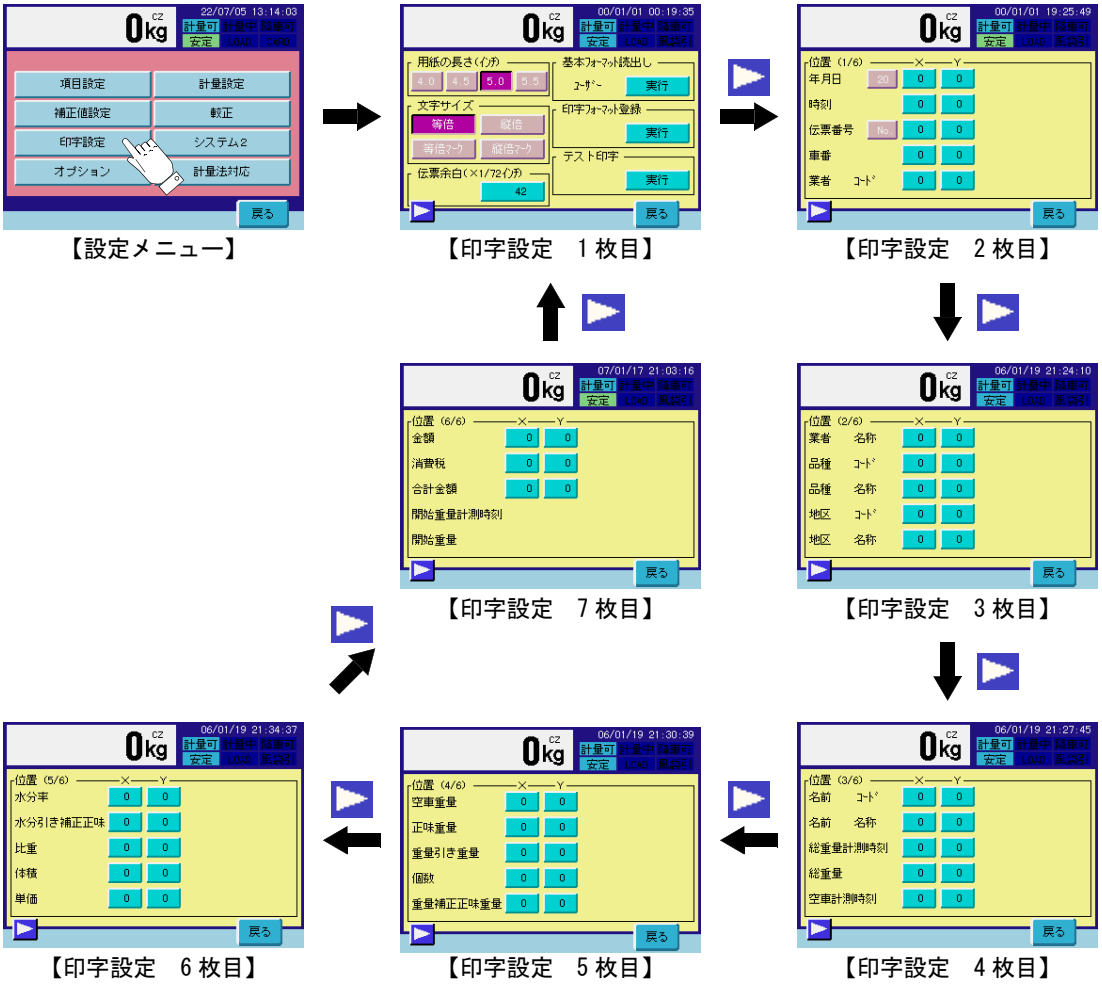
伝票のテスト印字を行ないます。

■M892プリンタ

操作

メニュー　→　▶　→　パスワード入力　→　↵　→　印字設定

画面遷移



■用紙の長さ

設定範囲　　4.0インチ
　　4.5インチ
　　5.0インチ
　　5.5インチ

用紙幅は3.5インチ固定です。
用紙幅3インチの紙は使用することができません。
6インチの紙は、用紙ホルダに収納することができません。

■文字サイズ

印字文字サイズを等倍/縦倍/等倍マーク/縦倍マークから選択します。
マーク付の場合は、重量単位の後に1文字あけて、総重量は“G”を、空車重量には“T”を、正味重量には“N”を印字します。

※ 計量法対応設定ON時は、1回計量に限りあらかじめ登録しておいた重量に対して“PT”（プリセット風袋量）を付けて表示します。
また、印字についても“PT”付で印字します。

※ 計量法対応設定 ON 時は、正味重量に対し常時“C”付で印字します。
これは正味重量が計算により算出された値であることを示すためです。
同時にマーク付を指定した場合には、総重量に“G”を、空車重量に“T”（1回計量では“PT”）を、正味重量に“C”を付けて印字します。

等倍：2.78mm×2.95mm
縦倍：2.78mm×5.60mm

■伝票余白

伝票上端の余白長を設定します。

約13mm＋n/72インチ
設定範囲は0～127です。

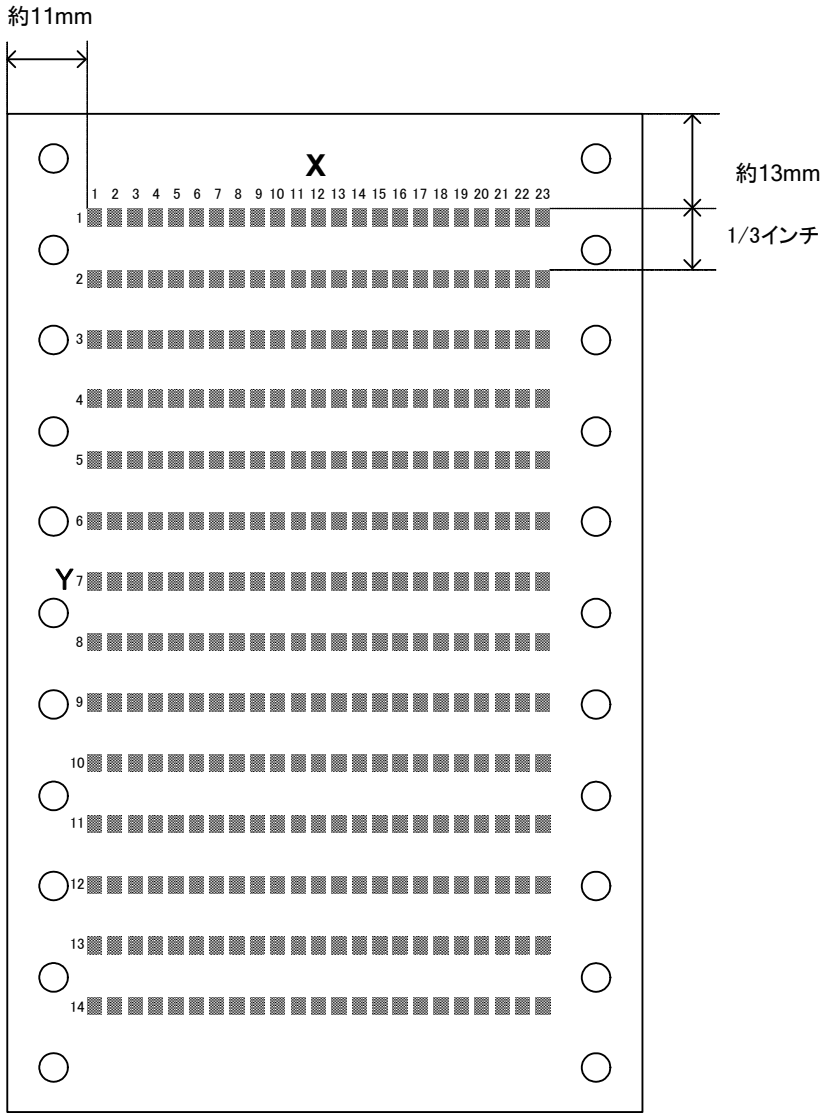
■印字位置

印字位置を設定します。
印字位置は座標で設定します。
座標は（X, Y）であらわします。
設定範囲は　X座標：0～23
Y座標：4.0インチ　0～10
4.5インチ　0～12
5.0インチ　0～13
5.5インチ　0～14
X座標、Y座標のどちらかに0を設定すると印字を行ないません。
また、印字途中でX座標23に到達した場合には、その行に限り以降の印字を行ないません。
行間を変更することはできません。行間は1/3インチ固定です。

年月日の年表示への「20」の印字 有/無を選択し設定します。
伝票番号の前への「No.」の印字 有/無を選択し設定します。

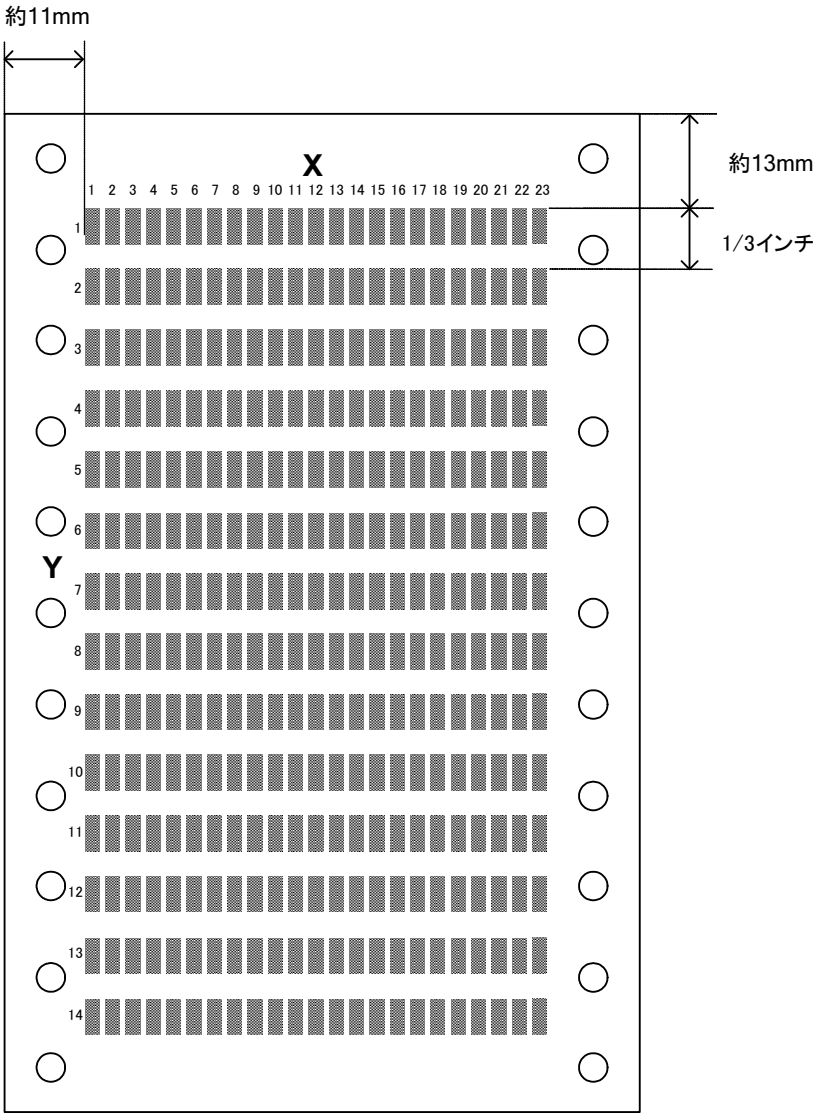
● M892印字位置座標（等倍）

文字サイズ：2.78mm×2.95mm



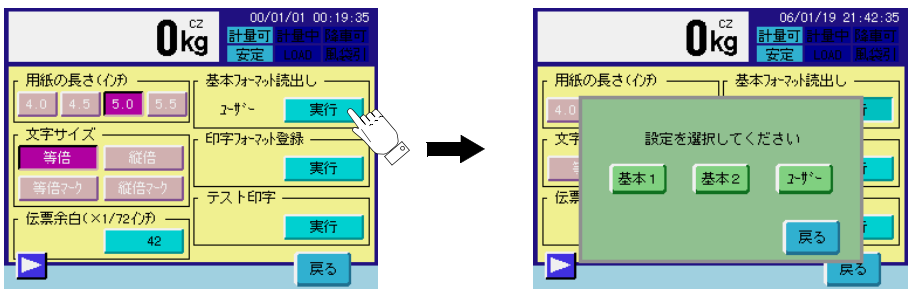
● M892印字位置座標（縦倍）

文字サイズ：2.78mm×5.60mm



■基本フォーマット読み出し

あらかじめ、F890Aに登録してある印字位置を読み出します。
2種類の基本フォーマットが登録されています。
読み出しを実行すると、現在設定されている設定は消えてしまいますので、印字位置登録を行なってから読み出しを実行してください。



● 基本フォーマット印字位置

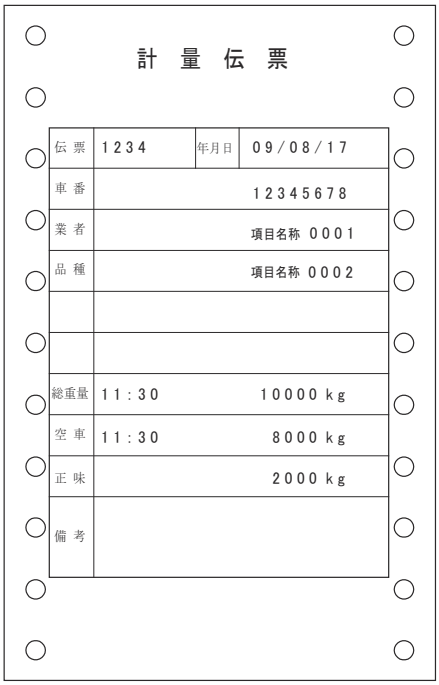
名称	基本1	基本2	名称	基本1	基本2
用紙の長さ（インチ）	5.0	5.0	項目2-名称	(15,4)	(13,4)
文字サイズ	等倍	等倍	項目3-コード	(0,0)	(4,5)
伝票余白	43	43	項目3-名称	(0,0)	(13,5)
年月日20マーク	0	0	項目4-コード	(0,0)	(4,6)
年月日	(15,1)	(4,1)	項目4-名称	(0,0)	(13,6)
時刻	(0,0)	(17,1)	総重量計測時刻	(4,7)	(4,7)
伝票番号No.マーク	0	0	総重量	(15,7)	(15,7)
伝票番号	(4,1)	(4,2)	空車計測時刻	(4,8)	(4,8)
車番	(15,2)	(16,2)	空車重量	(15,8)	(15,8)
項目1-コード	(4,3)	(4,3)	正味重量	(15,9)	(15,9)
項目1-名称	(15,3)	(13,3)	その他	(0,0)	(0,0)
項目2-コード	(4,4)	(4,4)			

＜印字サンプル1＞

計量法設定：OFF
文字サイズ：等倍
1回計量

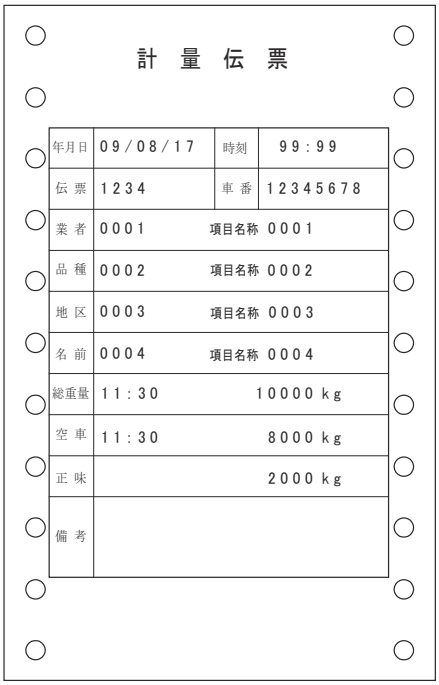
基本1

※業者は項目1、品種は項目2です。
（以下同様）



基本2

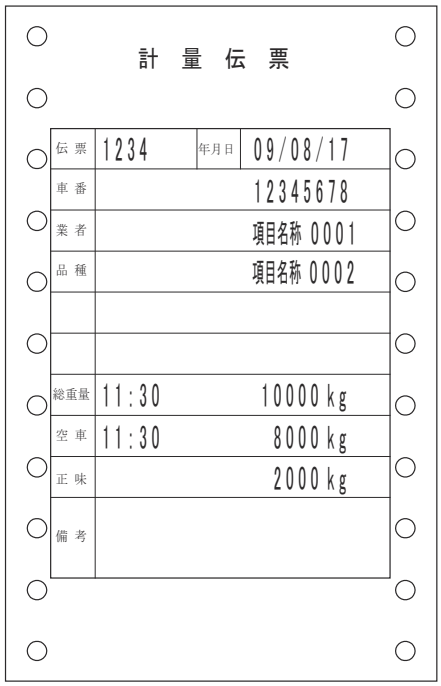
※業者は項目1、品種は項目2、
地区は項目3、名前は項目4です。



＜印字サンプル2＞

計量法設定：OFF
文字サイズ：縦倍
1回計量

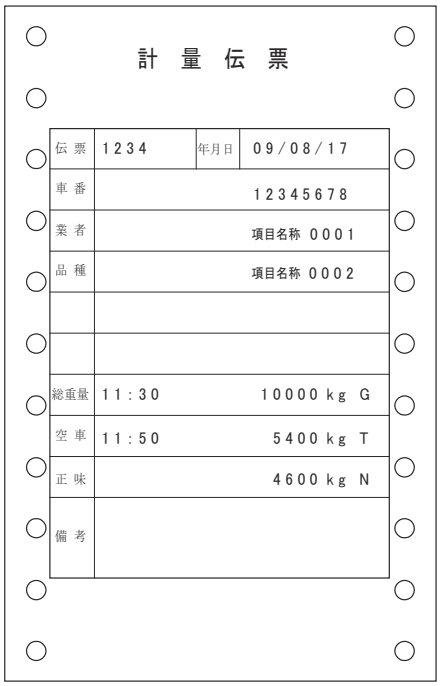
基本1



＜印字サンプル3＞

計量法設定：OFF
文字サイズ：等倍マーク
2回計量

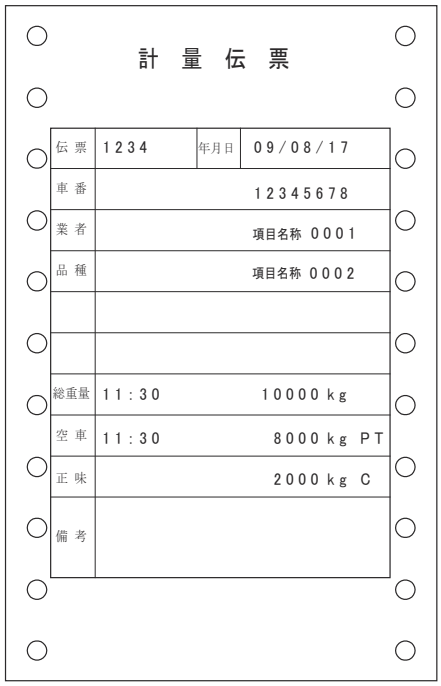
基本1



＜印字サンプル4＞

計量法設定：ON
文字サイズ：等倍
1回計量

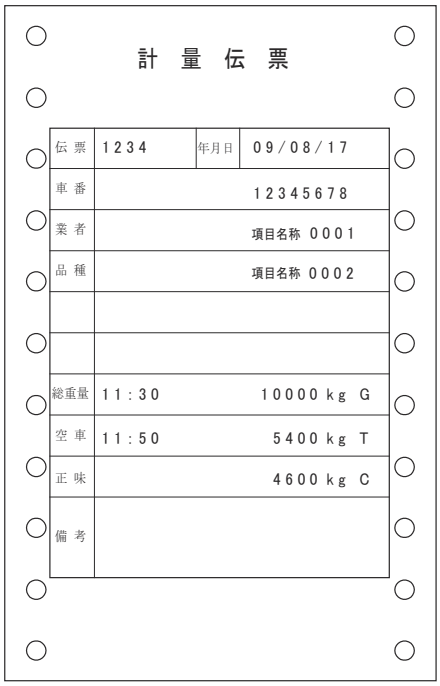
基本1



＜印字サンプル5＞

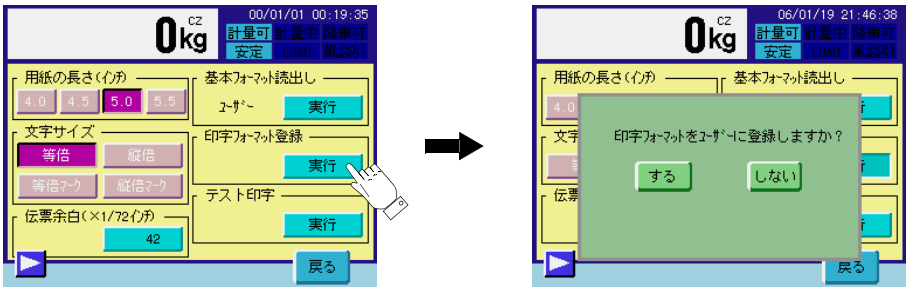
計量法設定：ON
文字サイズ：等倍マーク
2回計量

基本1



■印字位置登録

設定した印字位置、用紙の長さ、文字サイズ、伝票余白、をF890Aに登録します。
登録した印字位置は、基本フォーマット読み出しのユーザーから読み出すことができます。



■テスト印字

伝票のテスト印字を行ないます。

6　オプション

6-1.　オプション

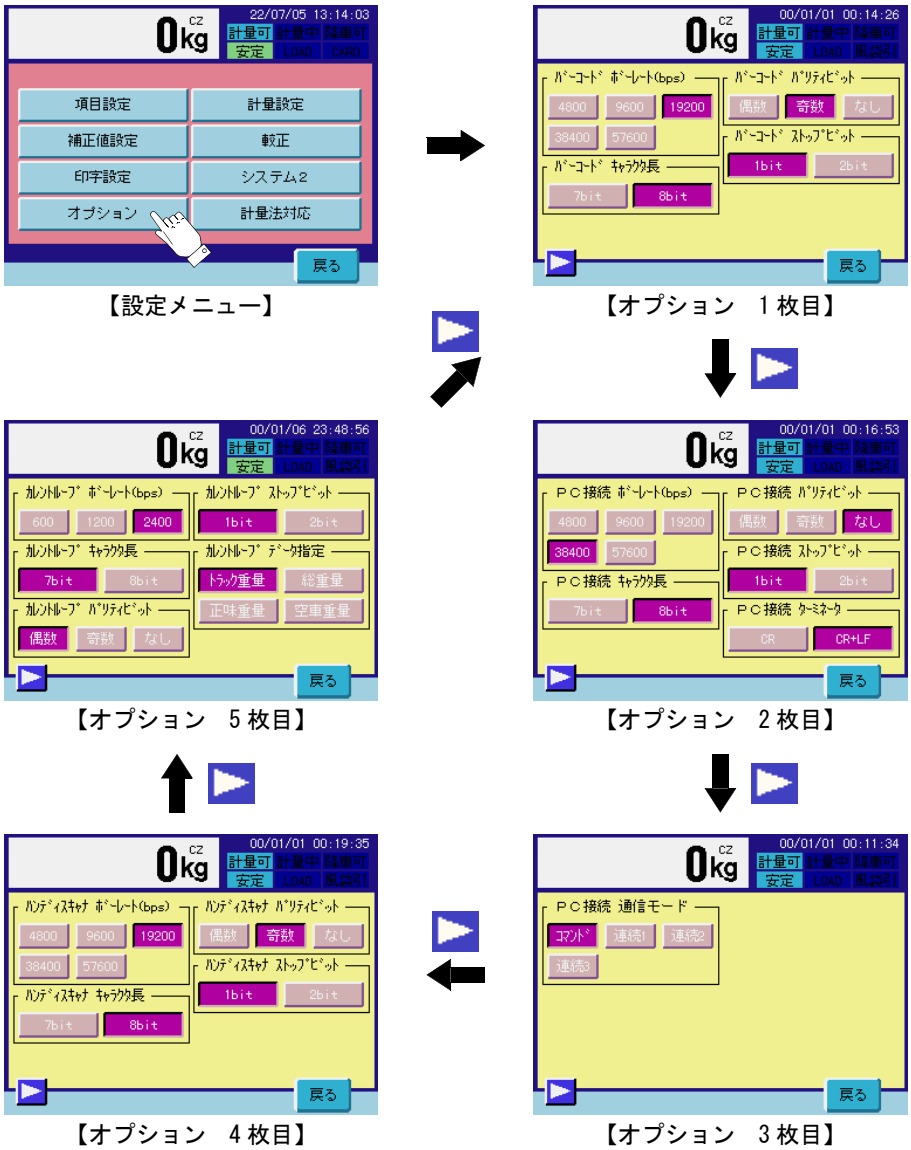
オプションインターフェイスの通信を行ないます。

操作

メニュー　→　▶　→　パスワード入力　→　↵　→　オプション

※パスワードは、任意で設定できます。P51「パスワード登録」を参照してください。
初期値は“0000”です。

画面遷移



6-2. 組込型/据置型バーコードリーダ

ボーレート/キャラクタ長/パリティビット/ストップビット

接続するバーコードリーダと通信条件を合わせます。

6-3. PC接続

ボーレート/キャラクタ長/パリティビット/ストップビット/ターミネータ/通信モード

接続するPCと通信条件を合わせ、通信モードを選択します。

6-4. ハンディスキャナ

ボーレート/キャラクタ長/パリティビット/ストップビット

接続するハンディスキャナと通信条件を合わせます。

6-5. カレントループ

ボーレート/キャラクタ長/パリティビット/ストップビット/データ指定

接続する機器と通信条件を合わせます。

カレントループ電文中のヘッダ（重量値の種類）は、常にGS（総重量）として出力します。

7　システム2

7-1.　システム2

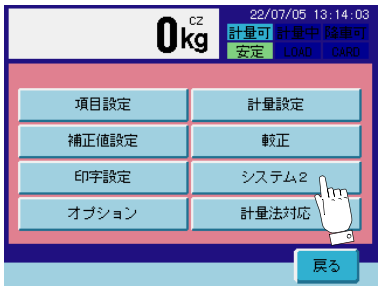
設定値の一覧印字とコンパクトフラッシュカードへの読み書きを行ないます。

操作

メニュー　→　▶　→　パスワード入力　→　↵　→　システム２

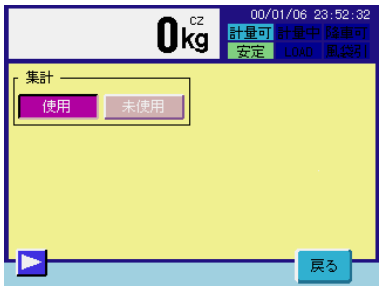
※パスワードは、任意で設定できます。P51「パスワード登録」を参照してください。
初期値は“0000”です。

画面遷移



【設定メニュー】

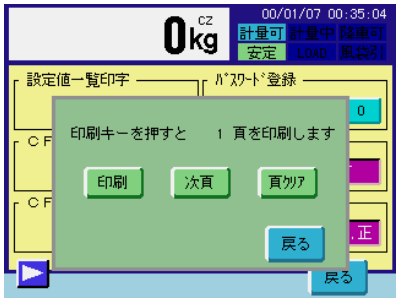
【システム２　１枚目】



【システム２　２枚目】

7-2.　設定値一覧印字

設定値を印字します。
連続で印字しますので、全て印字する場合には200行以上印字可能な縦長の用紙をご用意ください。（1ページ分だけ印字する場合は40行以上印字可能な用紙をご用意ください。）
印刷可能用紙サイズは、ご使用のプリンタにより異なります。詳しくは、P26「M891、M893プリンタ」・P36「M892プリンタ」を参照してください。



印刷する頁

印刷 を押すと、画面に表示している頁の設定値を印刷します。

次頁 を押すと、次の頁を表示します。

頁ｸﾘｱ を押すと、1頁になります。印刷中に押した場合は、印刷が中止します。

頁	印字内容（M891/M893）	印字内容（M892）
1	項目設定	項目設定
	計量設定	
2	補正値設定	計量設定
3	補正値設定	補正値設定
	較正	
	印字設定	
4	印字設定（印字位置）	補正値設定
5	オプション	較正
		印字設定
6	システム	印字設定（印字位置）
	システム2	
	計量法対応	
7		印字設定（印字位置）
		オプション
8		オプション
9		システム
		システム2
		計量法対応

7-3. CF設定値読出し

コンパクトフラッシュカードに記録してある設定値（sv_data.csv）を読み出して、F890Aに設定します。

7-4. CF設定値書込み

F890Aの設定値をコンパクトフラッシュカードに書き込みます。
sv_data.csvというファイルが作成されます。

7-5. sv_data.csv

設定値のデータファイルです。

5列目が設定値です。
データを作成する場合は、5列目以外は書換えないでください。

	1	2	3	4	5	6	7	8
1	設定データ			記録日	06/01/01		Ver.	1.00
2	項目設定							
3		車番	0101	車番名称	車番			
4		項目 1	0102	名称	業者			
5			0103	使用条件	2			
6		項目 2	0104	名称	品種			
7			0105	使用条件	2			
8		項目 3	0106	名称	地区			
9			0107	使用条件	2			
10		項目 4	0108	名称	名前			
11			0109	使用条件	2			
12	補正値設定							
13		水分率	0201	使用 / 未使用	1			
14			0202	車番	1			
15			0203	項目 1	1			
16			0204	項目 2	1			
17			0205	項目 3	1			
18			0206	項目 4	1			
19		自動水分補正	0207	演算丸め	0			
20			0208	自動水分補正	0			
21		比重	0210	使用 / 未使用	1			
22			0211	車番	0			
23			0212	項目 1	0			
24			0213	項目 2	0			
25			0214	項目 3	1			
26			0215	項目 4	1			
27			0216	小数点位置	0			
28			0217	演算丸め	0			
29		重量引き	0220	使用 / 未使用	1			
30		風袋引き	0230	使用 / 未使用	1			
31		単価	0240	使用 / 未使用	1			
32			0241	車番	0			
33			0242	項目 1	0			
34			0243	項目 2	1			
35			0244	項目 3	0			
36			0245	項目 4	0			
37		消費税	0246	使用 / 未使用	1			
38			0247	消費税率	5			
39	計量設定							
40			0301	表示回数	0			
41			0302	デジタルフィルタ	0			
42			0303	安定時フィルタ	0			

43			0304	MD 時間	0.5			
44			0305	MD 幅	20			
45			0306	ZT 時間	0.0			
46			0307	ZT 幅	0			
47			0308	ゼロ付近	100			
48			0309	DZ 規制値	9999			
49			0310	DZ 異常時の方式	0			
50			0311	自動登録認識	1			
51			0312	パワーオンゼロ	1			
52			0313	自動計量	0			
53			0314	出力選択	0			
54	較正							
55			0401	単位	0			
56			0402	小数点位置	0			
57			0403	最大秤量値	10000			
58			0404	分銅重量値	10000			
59			0405	最小目盛	1			
60			0406	1/4 目盛	1			
61			0407	重量加速度補正	9.7980			
62			0408	総重量オーバー	99999			
63			0409	デュアルレンジ無/有	1			
64			0410	デュアルレンジ境界	5000			
65			0411	等価入力較正	2.0000			
66	印字設定							
67			0501	用紙排出方向 / 長さ	1			
68			0502	文字サイズ	0			
69			0503	伝票余白	47			
70			0510	20 マーク	0			
71			0511	年月日 X	14			
72			0512	Y	1			
73			0513	時刻 X	0			
74			0514	Y	0			
75			0515	No. マーク	0			
76			0516	伝票番号 X	1			
77			0517	Y	1			
78			0518	車番 X	14			
79			0519	Y	2			
80			0520	項目 1 コード X	1			
81			0521	Y	3			
82			0522	項目 1 名称 X	9			
83			0523	Y	3			
84			0524	項目 2 コード X	1			
85			0525	Y	4			
86			0526	項目 2 名称 X	9			
87			0527	Y	4			
88			0528	項目 3 コード X	0			
89			0529	Y	0			
90			0530	項目 3 名称 X	0			
91			0531	項目 3 名称 Y	0			
92			0532	項目 4 コード X	0			

93			0533	Y	0			
94			0534	項目 4 名称 X	1			
95			0535	Y	9			
96			0536	総重量計測時刻 X	1			
97			0537	Y	6			
98			0538	総重量 X	14			
99			0539	Y	6			
100			0540	空車計測時刻 X	1			
101			0541	Y	7			
102			0542	空車重量 X	14			
103			0543	Y	8			
104			0544	正味重量 X	14			
105			0545	Y	8			
106			0546	重量引き重量 X	0			
107			0547	Y	0			
108			0548	個数 X	0			
109			0549	Y	0			
110			0550	重量補正正味 X	0			
111			0551	Y	0			
112			0552	水分率 X	0			
113			0553	Y	0			
114			0554	水分率補正正味 X	0			
115			0555	Y	0			
116			0556	比重 X	0			
117			0557	Y	0			
118			0558	体積 X	0			
119			0559	Y	0			
120			0560	単価 X	0			
121			0561	Y	0			
122			0562	金額 X	0			
123			0563	Y	0			
124			0564	消費税 X	0			
125			0565	Y	0			
126			0566	合計金額 X	0			
127			0567	Y	0			
128		*128 ～ 140 スプロケットプリンタは空白です	0570	年月日 先 / 後	0			
129			0571	伝票番号 先 / 後	0			
130			0572	車番 先 / 後	0			
131			0573	項目 1 先 / 後	0			
132			0574	項目 2 先 / 後	0			
133			0575	項目 3 先 / 後	0			
134			0576	項目 4 先 / 後	0			
135			0577	開始重量計測時刻 X	0			
136			0578	Y	0			
137			0579	開始重量計測時刻マーク	0			
138			0580	開始重量 X	0			
139			0581	Y	0			
140			0582	開始重量マーク	0			
141	システム							
142			0601	バックライト ON	1			

143			0602	ﾊﾞｯｸﾗｲﾄ点灯時間	10			
144			0603	計量開始ブザー	0			
145			0604	計量記録自動保存(時間)	0			
146			0605	年号	0			
147			0606	年号登録	平成			
148		年号換算	0607	西暦	5			
149			0608	和暦	17			
150			0609	計量記録自動保存(方式)	1			
151	システム 2							
152			0620	パスワード登録	0000			
153			0621	編集印刷選択	1			
154			0622	SI/F データ選択	2			
155		集計	0623	使用 / 未使用	1			
156	計量法対応							
157			0630	計量法対応設定	0			
158	オプション							
159		バーコードリーダ	0701	ボーレート	2			
160			0702	キャラクタ長	0			
161			0703	パリティ	1			
162			0704	ストップビット	0			
163		PC 接続	0710	ボーレート	2			
164			0711	キャラクタ長	0			
165			0712	パリティ	0			
166			0713	ストップビット	0			
167			0714	ターミネータ	0			
168			0715	通信モード	0			
169		ハンディスキャナ	0720	ボーレート	2			
170			0721	キャラクタ長	0			
171			0722	パリティ	0			
172			0723	ストップビット	1			
173		カレントループ	0730	ボーレート	2			
174			0731	キャラクタ長	1			
175			0732	パリティビット	2			
176			0733	ストップビット	0			
177			0734	データ指定	0			

行番号と列番号は説明のために付加したものです。
CSVファイルには記録されません。

※年月日は設定に関係なく常に西暦です。年（下2桁)、月（2桁)、日（2桁）とします。

※LOCKスイッチON時は対象の設定値に関する取り込み（メモリーカード→F890A）を行なうことはできません。
LOCKスイッチ対象の設定値はP131「設定値一覧表」をご参照ください。

7-6. パスワード登録

パスワードの登録を行ないます。0～9999で設定してください。
初期値は“0000”です。

パスワードは、設定メニューに移る際、必要となります。

7-7. 編集印刷選択

禁止/許可から選択します。
禁止に設定した場合には、滞留車編集の「編集」「発行」、伝票編集の「編集」が操作できなくなります。
また、PC接続（オプション）による「計量結果の追加」も禁止されます。

7-8. SI/Fデータ選択

SI/F信号として出力するデータを、T重量，総重量／T重量，正味重量／総重量，正味重量から選択します。

SI/Fデータフォーマット（総重量側）	SI/Fデータフォーマット（正味重量側）
T重量	総重量
T重量	正味重量
総重量	正味重量

※T重量はトラック重量を示します。
　トラック重量：重量表示部に表示されている重量

ポイント

SI/Fの受信側ではF890A SI/Fデータ選択の設定状況に合わせ、受信データの設定を行なってください。なお、SI/F受信側にて指示計連動として設定している場合にはF890A側では常時“総重量側”を指定しています。

7-9. 集計

使用/未使用から選択します。
未使用に設定した場合には、編集メニュー画面の集計キーを表示しません。

8　編集

8-1.　車番編集

トラックデータの登録／編集／削除／印刷を行ないます。
トラックデータは、車番、項目1、項目2、項目3、項目4、空車重量、最大積載量で構成されます。

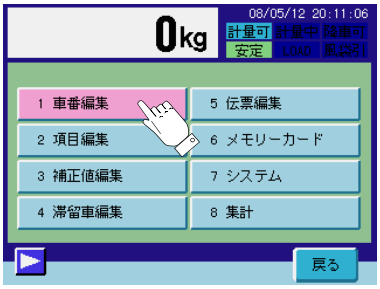
トラックデータ
（4000 件）

車番
項目 1
項目 2
項目 3
項目 4
空車重量
最大積載量

操作

メニュー　→　車番編集

画面遷移



【編集メニュー】

【車番編集】

ポイント
トラックデータの登録は、P57「項目編集」で各項目を登録してから行なってください。

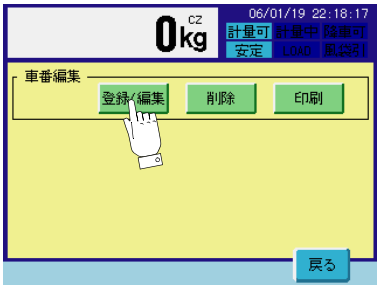
■登録/編集

トラックデータを登録します。
トラックデータは、車番、項目1、項目2、項目3、項目4、空車重量、最大積載量です。

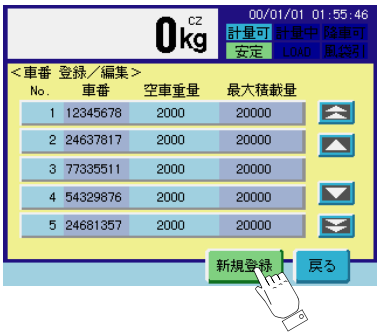
● 新規登録

項目を使用する場合は、車番の新規登録をする前に項目の登録を行なってください。

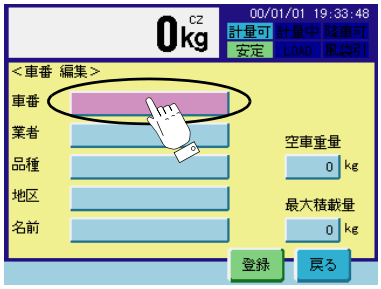
1. 登録/編集 を押します。



2. 新規登録 を押します。



3. 車番の右にある　　を押して車番を入力します。
車番は8桁まで入力できます。

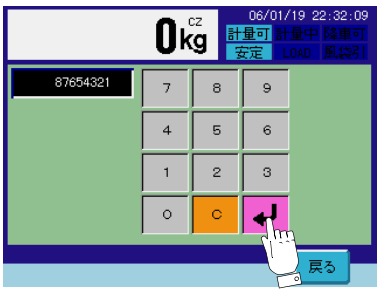


テンキーでの操作

登録	:入力情報の登録
シフト + 6	:戻る
シフト + 8	:ｶｰｿﾙｷｰの移動(上)
シフト + 2	:ｶｰｿﾙｷｰの移動(下)
↵	:ｶｰｿﾙｷｰ表示項目の入力(選択)画面へ

ポイント
P21「名称変更」で名称変更した文字を表示します。

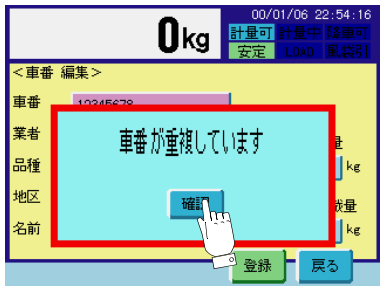
4. 車番を入力し [↵] を押すと、車番が登録されます。
車番は数字8桁まで入力することが可能です。



テンキーでの操作

シフト ＋ 6	:戻る
0 ～ 9	:数値入力
C	:ｸﾘｱ
↵	:入力確定

すでに登録済の番号が保存されている場合には、登録することができません。
[確認] を押して、違う番号を入力してください。



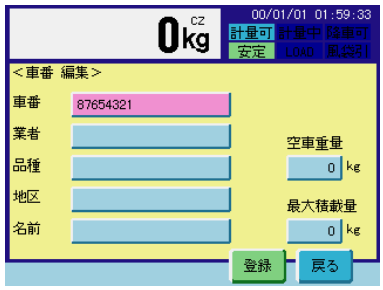
5. 同様に、空車重量と最大積載量を入力してください。

ポイント

空車重量と最大積載量は入力しなくても計量することができます。
計量時に最大積載量を越えた重量を検出すると、エラーメッセージが表示されます。
最大積載量が0の場合は、エラーを検出しません。
空車重量、最大積載量は、最小目盛単位で四捨五入します。

6. 項目を登録する場合は、項目の右にある [　　] 押します。

※P22「項目使用条件」が未使用に設定されている [　　] は表示されません。



8章 編集

7. 項目一覧が表示されますので、使用する項目を押します。

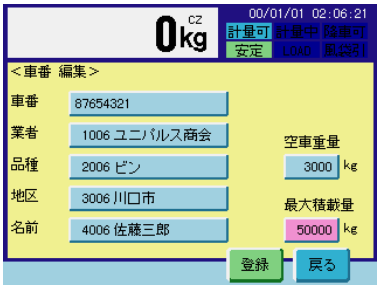
テンキーでの操作

シフト + 6	:戻る
シフト + 7	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最上段に移動 1画面､上にｽｸﾛｰﾙ*
シフト + 8	:ｶﾗｰﾊﾞｰを1段上に移動 1ﾃﾞｰﾀ分､上にｽｸﾛｰﾙ*
シフト + 2	:ｶﾗｰﾊﾞｰを1段下に移動 1ﾃﾞｰﾀ分､下にｽｸﾛｰﾙ*
シフト + 0	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最下段に移動 1画面､下にｽｸﾛｰﾙ*
↵	:ｶﾗｰﾊﾞｰのﾃﾞｰﾀを確定

＊：1秒間長押しで高速スクロール

8. 他の項目も同様に選択します。

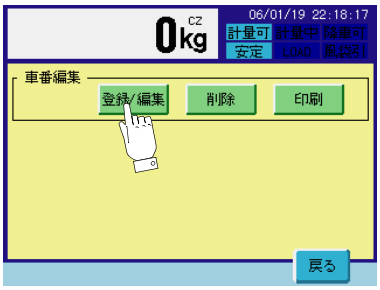
9. 登録 を押してトラック情報を登録します。



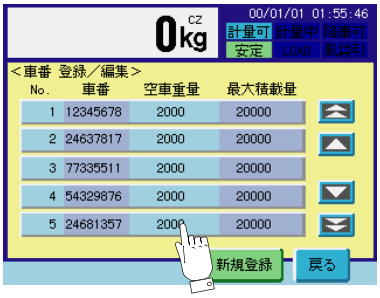
● 編集

トラックデータを編集します。

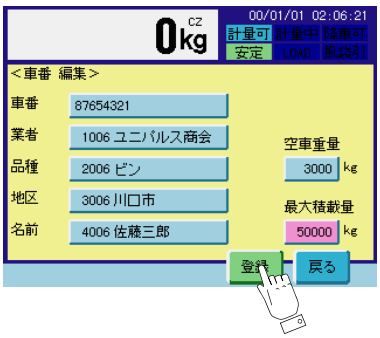
1. 登録/編集 を押します



2. 車番一覧が表示されるので、編集する車番を押します。



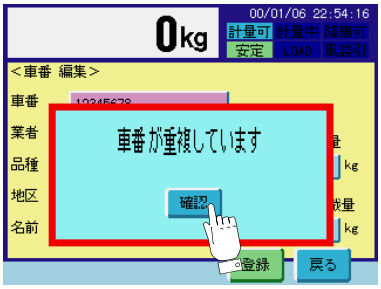
3. トラックデータが表示されるので、変更し 登録 を押します。
編集を中止する場合は 戻る を押してください。



テンキーでの操作

登録	:入力情報の登録
シフト + 6	:戻る
シフト + 8	:ｶｰｿﾙｷｰの移動(上)
シフト + 2	:ｶｰｿﾙｷｰの移動(下)
↵	:ｶｰｿﾙｷｰ表示項目の入力(選択)画面へ

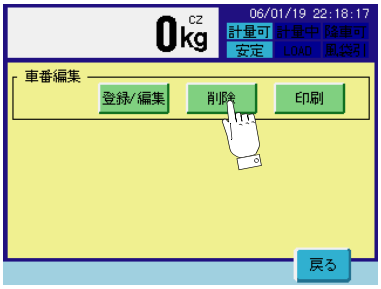
車番を変更する場合、すでに登録済の番号が保存されている場合には、登録することができません。
確認 を押して、違う番号に変更してください。



■削除

既に登録してあるトラックデータを削除します。

1. 削除 を押します。

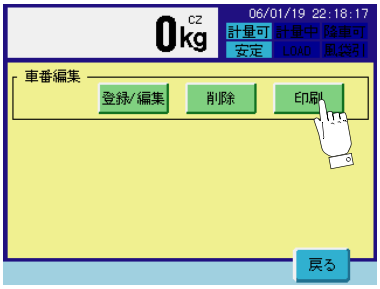


2. 車番一覧が表示されますので、削除する車番を選択して 削除 を押します。
中止する場合は、ｷｬﾝｾﾙ を押します。

■印刷

登録してあるトラックデータを印刷します。印刷可能用紙サイズは、ご使用のプリンタにより異なります。必要な用紙枚数は、登録数によります。

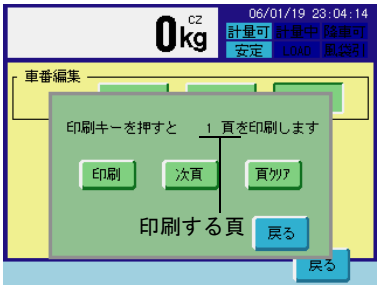
1. 印刷 を押します。



2. 印刷 を押すと、画面に表示している頁の設定値を印刷します。

次頁 を押すと、次の頁を表示します。

頁ｸﾘｱ を押すと、1頁になります。印刷中に押すと、印刷が中止されます。



8-2. 項目編集

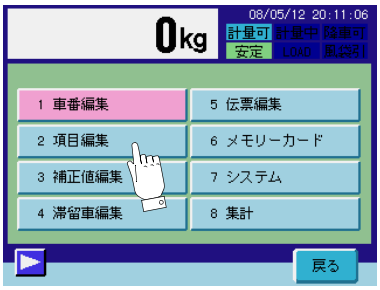
項目の登録／編集／削除／印刷を行ないます。
項目は4種類あり、コード（数値4桁）と名称（16文字）で構成されます。

項目 1 (999 件)	→	コード（数値 4 桁）1 ～ 9999 名称（16 文字）
項目 2 (999 件)	→	コード（数値 4 桁）1 ～ 9999 名称（16 文字）
項目 3 (999 件)	→	コード（数値 4 桁）1 ～ 9999 名称（16 文字）
項目 4 (999 件)	→	コード（数値 4 桁）1 ～ 9999 名称（16 文字）

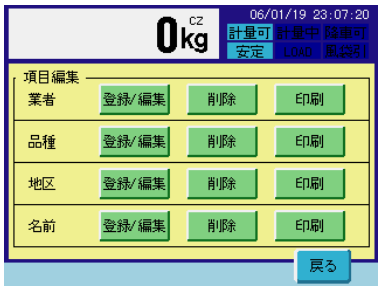
操作

メニュー　→　項目編集

画面遷移



【編集メニュー】



【項目編集】

ポイント

項目編集を行なう場合は、項目設定の項目使用条件を“項目未使用”以外に設定してください。“項目未使用”に設定されていると、項目編集は行なえません。詳細は、P21「項目設定」を参照してください。

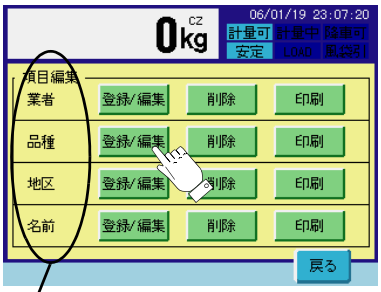
■登録/編集

項目のコードNoとそのコードNoに対する名称の新規登録と編集をします。

● 新規登録

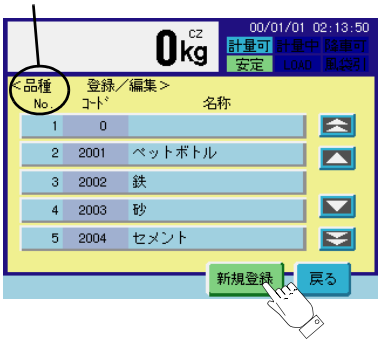
「例：品種にコード2007のアルミを新規登録する場合」

1. 品種の 登録/編集 を押します。

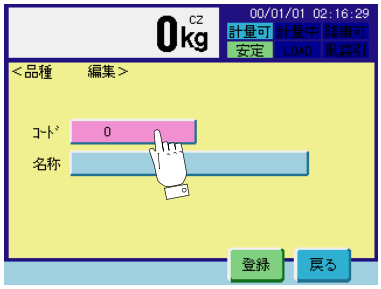


P21「名称変更」で名称変更した文字を表示します。

2. 新規登録 を押します。



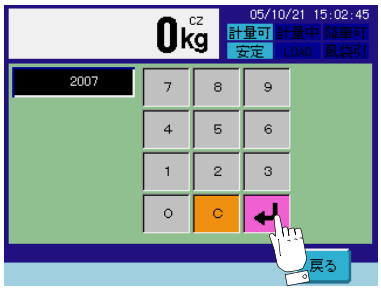
3. コードの右にある　　を押します。



テンキーでの操作

登録	:入力情報の登録
シフト + 6	:戻る
シフト + 8	:ｶﾗｰｷｰの移動(上)
シフト + 2	:ｶﾗｰｷｰの移動(下)
↵	:ｶﾗｰｷｰ表示項目の入力(選択)画面へ

4. コードを入力します。

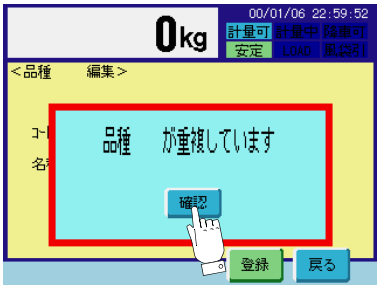


テンキーでの操作

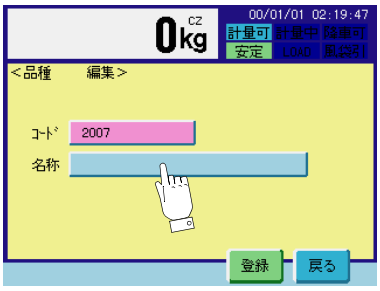
シフト + 6	:戻る
0 ～ 9	:数値入力
C	:ｸﾘｱ
↵	:入力確定

※すでに登録済の番号が保存されている場合には、登録することができません。
確認　を押して、違う番号を入力してください。

※コード0は新規登録できません。

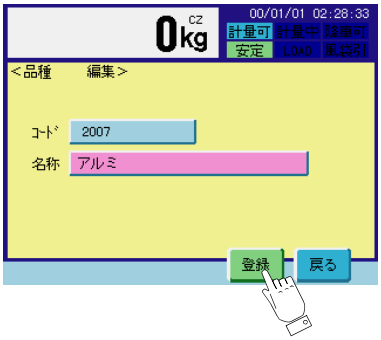


5. 名称の右にある　　を押します。



6. 名称を入力します。

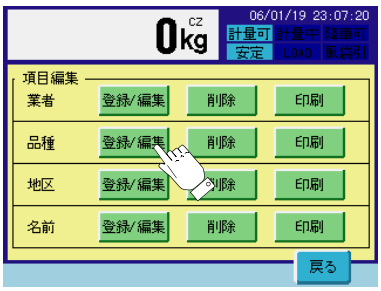
7. 登録 を押します。



● 編集

「例：品種のコード2003の砂を砂利に変更する場合」

1. 品種の 登録/編集 を押します。



2. 変更する品種を押します。

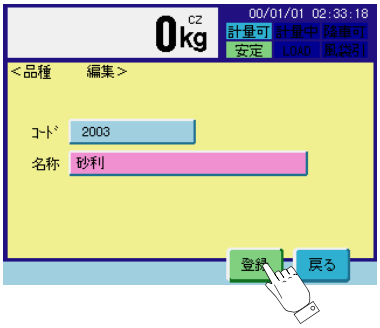
3. コードと名称が表示されますので、砂 を押します。

テンキーでの操作

登録	:入力情報の登録
シフト + 6	:戻る
シフト + 8	:ｶｰｿﾙの移動（上）
シフト + 2	:ｶｰｿﾙの移動（下）
↵	:ｶｰｿﾙ表示項目の入力（選択）画面へ

4. 「砂利」を入力します。

5. 変更後のコードと名称が表示されますので、 登録 を押します。

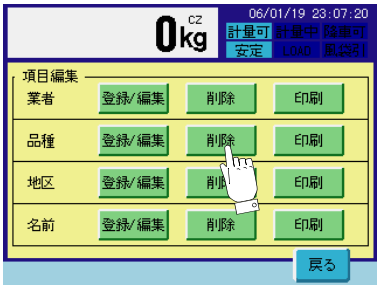


■削除

項目のコードNoを削除します。

「例：品種のコード2005の空き缶を削除する場合」

1. 品種の 削除 を押します。



2. 削除する品種を押します。

3. 削除 を押します。

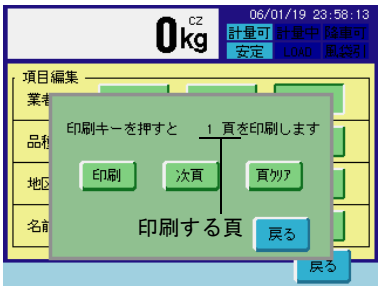
■印刷

選択した項目を印刷します。
印刷可能用紙サイズは、ご使用のプリンタにより異なります。必要な用紙枚数は、登録数によります。

「例：品種一覧を印刷する場合」

1. 品種の 印刷 を押します。

2. 印刷 を押すと、画面に表示している頁の設定値を印刷します。
次頁 を押すと、次の頁を表示します。
頁ｸﾘｱ を押すと、1頁になります。印刷中に押すと、印刷が中止されます。



8-3. 補正値編集

水分率テーブル、比重テーブル、単価テーブルの登録／編集／削除／印刷を行ないます。
テーブルは、車番、項目1、項目2、項目3、項目4、補正値で構成されます。
計量したトラックデータとテーブルの内容が一致すると、補正値が自動的に計量結果に入力されます。

水分率テーブル →

車番
項目 1
項目 2
項目 3
項目 4
水分率

水分率の入力範囲：
0.00 ～ 99.99%

比重テーブル →

車番
項目 1
項目 2
項目 3
項目 4
比重

比重の入力範囲：
0 ～ 99999kg/m^3

単価テーブル →

車番
項目 1
項目 2
項目 3
項目 4
単価

単価の入力範囲：
0 ～ 9999 円

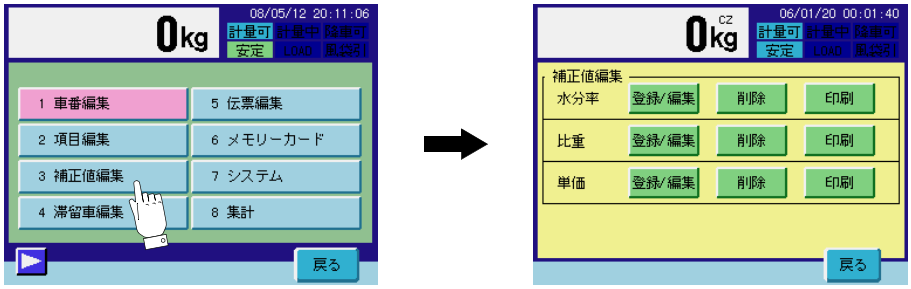
ポイント

補正値に関する設定は、P23「補正値設定」で行なってください

操作

メニュー　→　補正値編集

画面遷移



【編集メニュー】　【補正値編集】

ポイント

補正値編集を行なう場合は、P23「補正値設定」にて、使用条件を“使用”に設定してください。“未使用”に設定されていると、項目編集を行なうことができません。

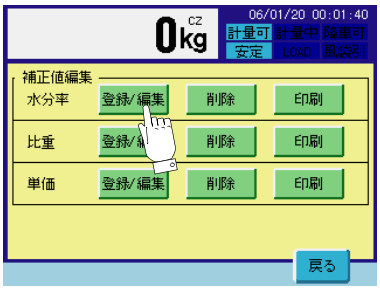
■登録/編集

● 新規登録

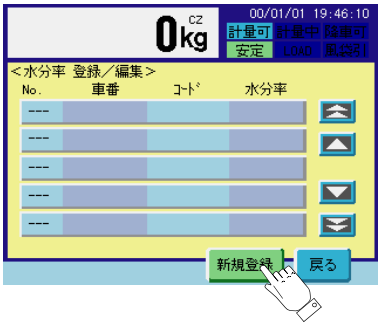
「例：水分率テーブルに下表の内容を新規登録する場合」

車番	12345678
業者	1001 ユニパルス㈱
品種	2001 ペットボトル
地区	3001 越谷市
名前	4001 由仁春雄
水分率	1.00%

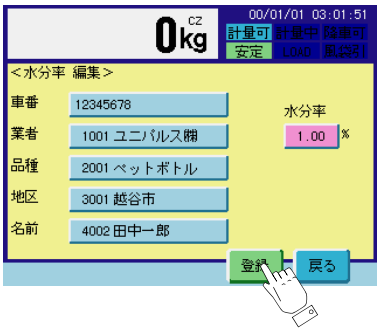
1. 水分率の 登録/編集 を押します。



2. 新規登録 を押します。



3. 車番、業者、品種、地区、名前、水分率を入力して 登録 を押します。



テンキーでの操作

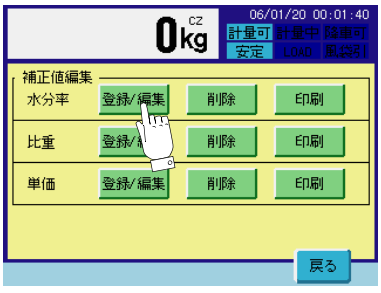
登録	:入力情報の登録
シフト + 6	:戻る
シフト + 8	:ｶｰｿﾙｷｰの移動（上）
シフト + 2	:ｶｰｿﾙｷｰの移動（下）
↵	:ｶｰｿﾙｷｰ表示項目の入力（選択）画面へ

● 編集

「例：下表の水分率を2.00%に変更する場合」

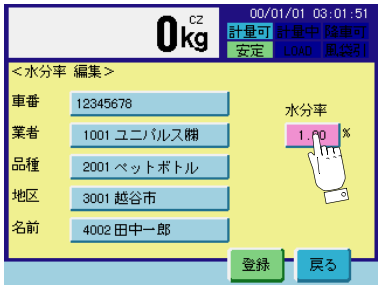
車番	12345678
業者	1001 ユニパルス㈱
品種	2001 ペットボトル
地区	3001 越谷市
名前	4001 由仁春雄
水分率	1.00%

1. 水分率の 登録/編集 を押します。



2. 編集するテーブルを押します。

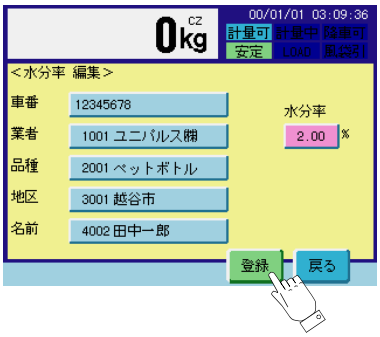
3. 1.00 を押します。



テンキーでの操作

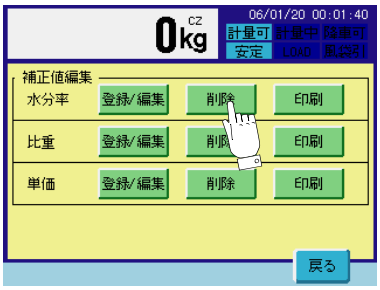
登録	:入力情報の登録
シフト + 6	:戻る
シフト + 8	:ｶﾗｰｷｰの移動(上)
シフト + 2	:ｶﾗｰｷｰの移動(下)
↵	:ｶﾗｰｷｰ表示項目の入力(選択)画面へ

4. 2.00を入力し、 登録 を押します。



■削除

1. 削除する補正値の 削除 を押します。



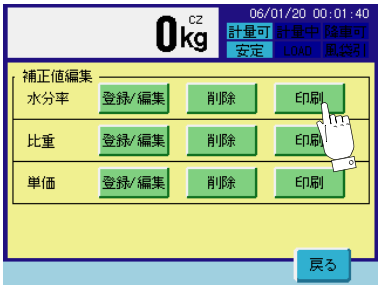
2. 削除するテーブルを押します。

3. 削除 を押します。

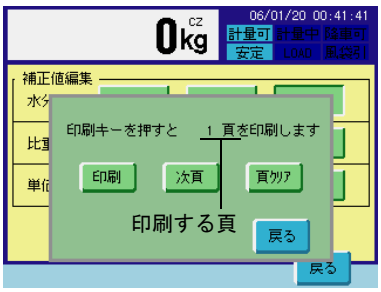
■印刷

テーブル一覧を印刷します。
印刷可能用紙サイズは、ご使用のプリンタにより異なります。必要な用紙枚数は、登録数によります。

1. 水分率の 印刷 を押します。



2. 印刷 を押すと、画面に表示している頁の設定値を印刷します。
次頁 を押すと、次の頁を表示します。
頁ｸﾘｱ を押すと、1頁になります。印刷中に押すと、印刷が中止されます。



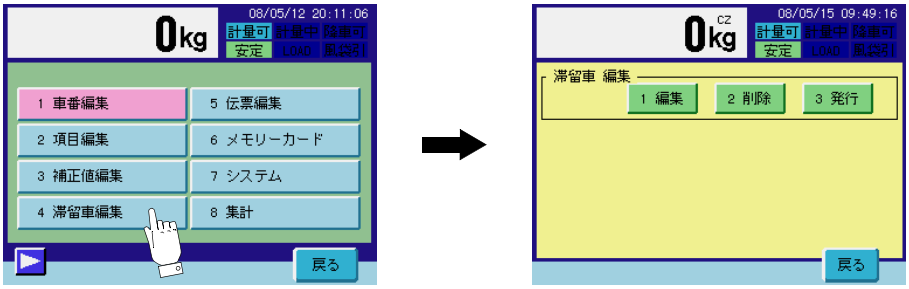
8-4. 滞留車編集

滞留車の編集／削除／発行を行ないます。

操作

メニュー　→　滞留車編集

画面遷移

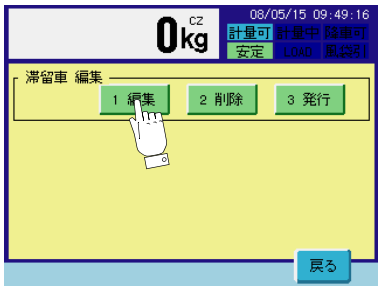


【編集メニュー】　【滞留車編集】

■編集

滞留車のデータ（重量値、各項目）を変更します。

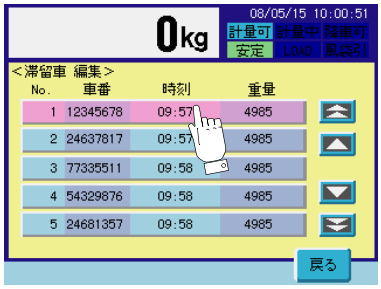
1. 編集 を押します。



テンキーでの操作

1	:滞留車編集一覧画面へ
2	:滞留車削除一覧画面へ
3	:滞留車発行一覧画面へ

2. 編集する滞留車を押します。

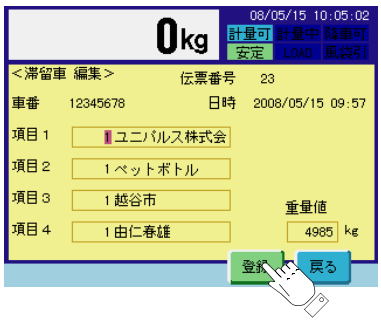


テンキーでの操作

シフト＋6	:戻る
シフト＋7	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最上段に移動 1画面､上にｽｸﾛｰﾙ＊
シフト＋8	:ｶﾗｰﾊﾞｰを1段上に移動 1ﾃﾞｰﾀ分､上にｽｸﾛｰﾙ＊
シフト＋2	:ｶﾗｰﾊﾞｰを1段下に移動 1ﾃﾞｰﾀ分､下にｽｸﾛｰﾙ＊
シフト＋0	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最下段に移動 1画面､下にｽｸﾛｰﾙ＊
↵	:ｶﾗｰﾊﾞｰのﾃﾞｰﾀの編集画面へ

＊：1秒間長押しで高速スクロール

3. 編集して 登録 を押します。



※メイン画面でテンキーの[シフト]＋[登録]を押しても同様に滞留車の編集を行なうことができます。
（P119「メイン画面からの滞留車編集」参照）

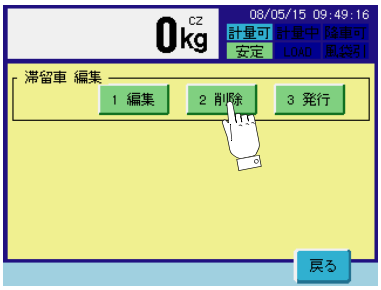
テンキーでの操作

登録	:入力情報の登録
シフト＋6	:戻る
シフト＋8	:ｶﾗｰｷｰの移動（上）
シフト＋2	:ｶﾗｰｷｰの移動（下）
0～9	:数値入力
C	:ｸﾘｱ（数値入力中のみ）
↵	:入力確定

■削除

滞留車を削除します。

1. 削除 を押します。



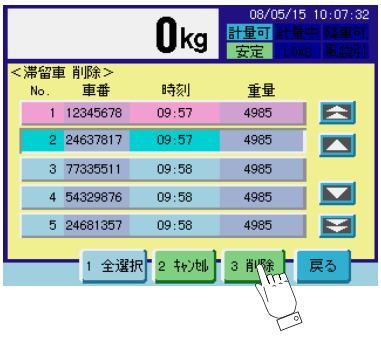
2. 削除するテーブルを押します。

テンキーでの操作

1	:全ﾃﾞｰﾀ選択
2	:ｷｬﾝｾﾙ
3	:選択中ﾃﾞｰﾀ削除
ｼﾌﾄ + 6	:戻る
ｼﾌﾄ + 7	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最上段に移動 1 画面､上にｽｸﾛｰﾙ*
ｼﾌﾄ + 8	:ｶﾗｰﾊﾞｰを 1 段上に移動 1 ﾃﾞｰﾀ分､上にｽｸﾛｰﾙ*
ｼﾌﾄ + 2	:ｶﾗｰﾊﾞｰを 1 段下に移動 1 ﾃﾞｰﾀ分､下にｽｸﾛｰﾙ*
ｼﾌﾄ + 0	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最下段に移動 1 画面､下にｽｸﾛｰﾙ*
↵	:ｶﾗｰﾊﾞｰのﾃﾞｰﾀを選択 (選択中ﾃﾞｰﾀは選択をｷｬﾝｾﾙ)

＊：1 秒間長押しで高速スクロール

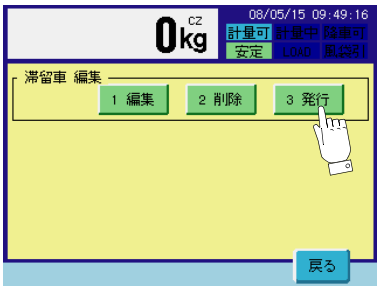
3. 削除 を押します。



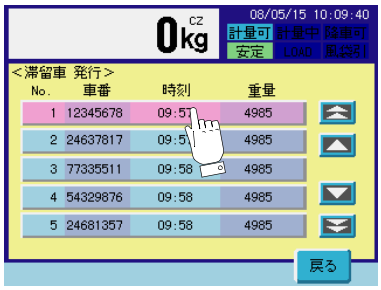
■発行

計量記録を入力し、2回目の計量を行なったことにします。

1. 発行 を押します。



2. 発行する滞留車を押します。



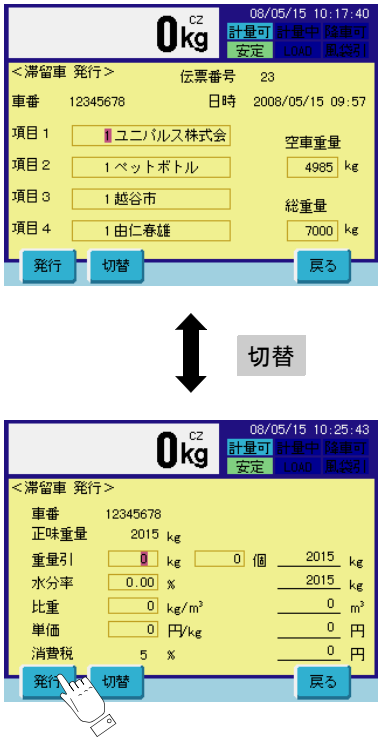
テンキーでの操作

シフト + 6	:戻る
シフト + 7	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最上段に移動 1 画面、上にｽｸﾛｰﾙ*
シフト + 8	:ｶﾗｰﾊﾞｰを 1 段上に移動 1 ﾃﾞｰﾀ分、上にｽｸﾛｰﾙ*
シフト + 2	:ｶﾗｰﾊﾞｰを 1 段下に移動 1 ﾃﾞｰﾀ分、下にｽｸﾛｰﾙ*
シフト + 0	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最下段に移動 1 画面、下にｽｸﾛｰﾙ*
↵	:ｶﾗｰﾊﾞｰのﾃﾞｰﾀの発行画面へ

＊：1 秒間長押しで高速スクロール

3. 重量値、補正値を入力して 発行 を押します。

切替 を押すと補正値入力ができます。



テンキーでの操作

印刷	:伝票発行
切替	:項目 / 重量値表示画面と 補正値表示画面の切替
シフト + 6	:戻る
シフト + 8	:ｶﾗｰｷｰの移動(上)
シフト + 2	:ｶﾗｰｷｰの移動(下)
0 ～ 9	:数値入力
C	:ｸﾘｱ(数値入力中のみ)
↵	:入力確定

※計測していない重量については、
滞留車発行時の時刻を計測時刻として
印字します。

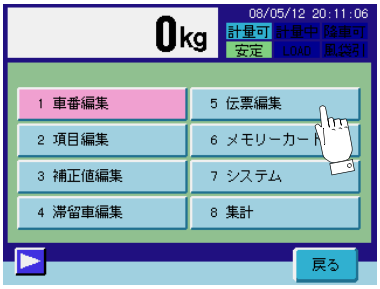
8-5. 伝票編集

計量記録の作成／修正／削除と伝票の再印刷を行ないます。

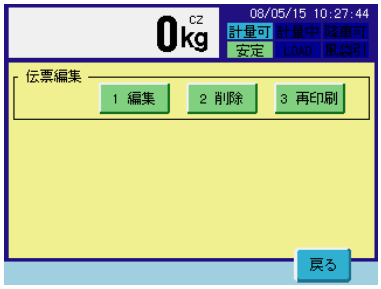
操作

メニュー　→　伝票編集

画面遷移



【編集メニュー】



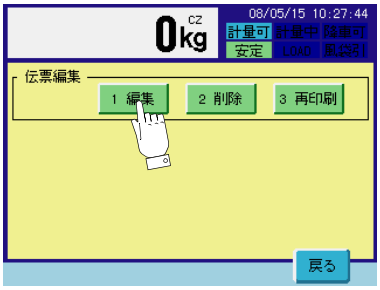
【伝票編集】

■登録/編集

● 新規登録

計量記録を作成します。

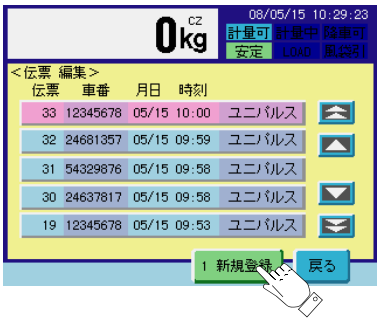
1. 編集 を押します。



テンキーでの操作

1	:伝票編集一覧画面へ
2	:伝票削除一覧画面へ
3	:伝票再印刷一覧画面へ

2. 新規登録 を押します。



テンキーでの操作

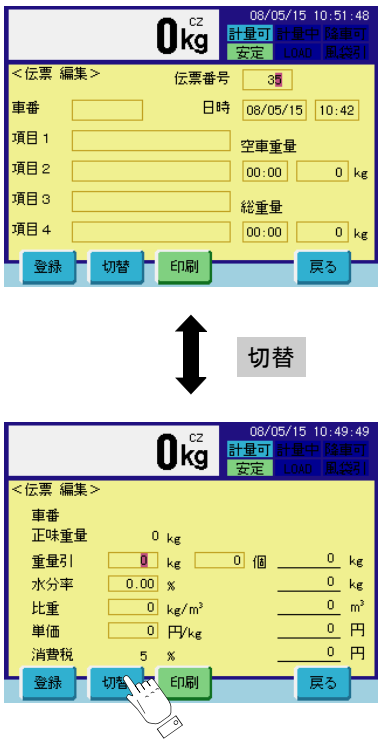
1	:新規登録
シフト + 6	:戻る
シフト + 7	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最上段に移動 1 画面､上にｽｸﾛｰﾙ*
シフト + 8	:ｶﾗｰﾊﾞｰを 1 段上に移動 1 ﾃﾞｰﾀ分､上にｽｸﾛｰﾙ*
シフト + 2	:ｶﾗｰﾊﾞｰを 1 段下に移動 1 ﾃﾞｰﾀ分､下にｽｸﾛｰﾙ*
シフト + 0	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最下段に移動 1 画面､下にｽｸﾛｰﾙ*
↵	:ｶﾗｰﾊﾞｰのﾃﾞｰﾀの編集画面へ

＊：1 秒間長押しで高速スクロール

3. 計量記録を入力し 登録 を押します。

切替 を押すと、補正値を入力することができます。

印刷 を押すと、入力した計量記録を登録して伝票を印刷します。



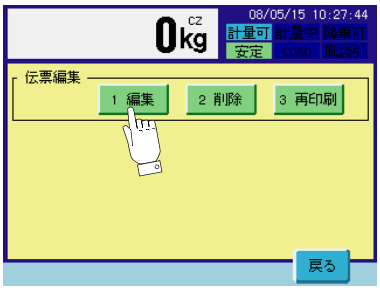
テンキーでの操作

登録	:入力情報の登録
切替	:項目 / 重量値表示画面と補正値表示画面の切替
印刷	:伝票発行
シフト + 6	:戻る
シフト + 8	:ｶｰｿﾙの移動（上）
シフト + 2	:ｶｰｿﾙの移動（下）
0 ～ 9	:数値入力
C	:ｸﾘｱ（数値入力中のみ）
↵	:入力確定

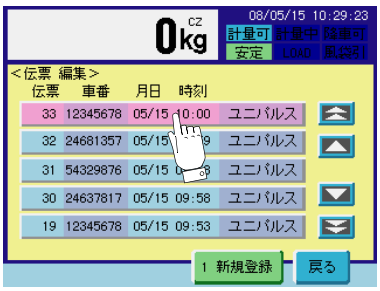
● 編集

計量記録を修正します。

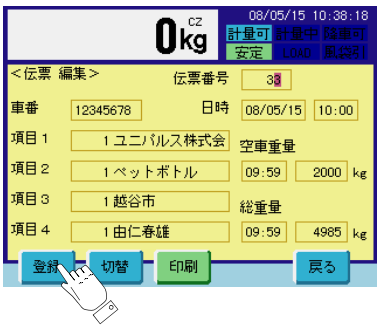
1. 編集 を押します。



2. 変更する計量記録を選択します。



3. 変更して、 登録 を押します。
印刷 を押すと、変更を登録して伝票を印刷します。



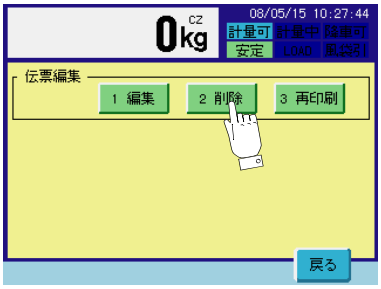
テンキーでの操作

登録	:入力情報の登録
切替	:項目／重量値表示画面と補正値表示画面の切替
印刷	:伝票発行
シフト＋6	:戻る
シフト＋8	:ｶﾗｰｷｰの移動（上）
シフト＋2	:ｶﾗｰｷｰの移動（下）
0～9	:数値入力
C	:ｸﾘｱ（数値入力中のみ）
↵	:入力確定

■削除

計量記録を削除します。

1. 削除 を押します。



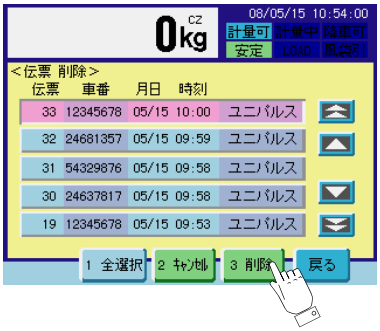
2. 削除する計量記録を押します。

テンキーでの操作

1	:全ﾃﾞｰﾀ選択
2	:ｷｬﾝｾﾙ
3	:選択中ﾃﾞｰﾀ削除
シフト＋6	:戻る
シフト＋7	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最上段に移動 １画面、上にｽｸﾛｰﾙ＊
シフト＋8	:ｶﾗｰﾊﾞｰを１段上に移動 １ﾃﾞｰﾀ分、上にｽｸﾛｰﾙ＊
シフト＋2	:ｶﾗｰﾊﾞｰを１段下に移動 １ﾃﾞｰﾀ分、下にｽｸﾛｰﾙ＊
シフト＋0	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最下段に移動 １画面、下にｽｸﾛｰﾙ＊
↵	:ｶﾗｰﾊﾞｰのﾃﾞｰﾀを選択（選択中ﾃﾞｰﾀは選択をｷｬﾝｾﾙ）

＊：１秒間長押しで高速スクロール

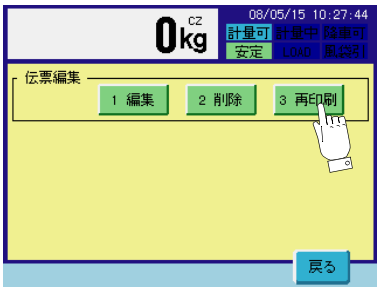
3. 削除 を押します。



■再印刷

伝票を再発行します。

1. 再印刷 を押します。



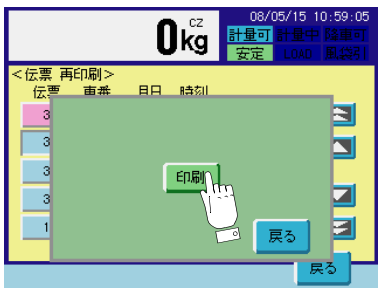
2. 再印刷する計量記録を押します。

テンキーでの操作

シフト + 6	:戻る
シフト + 7	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最上段に移動 1画面､上にｽｸﾛｰﾙ*
シフト + 8	:ｶﾗｰﾊﾞｰを1段上に移動 1ﾃﾞｰﾀ分､上にｽｸﾛｰﾙ*
シフト + 2	:ｶﾗｰﾊﾞｰを1段下に移動 1ﾃﾞｰﾀ分､下にｽｸﾛｰﾙ*
シフト + 0	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最下段に移動 1画面､下にｽｸﾛｰﾙ*
↵	:ｶﾗｰﾊﾞｰのﾃﾞｰﾀを選択

＊：1秒間長押しで高速スクロール

3. 印刷 を押すと印刷します。



テンキーでの操作

印刷	:印刷
シフト + 6	:戻る

9　集計メモリーカードシステム

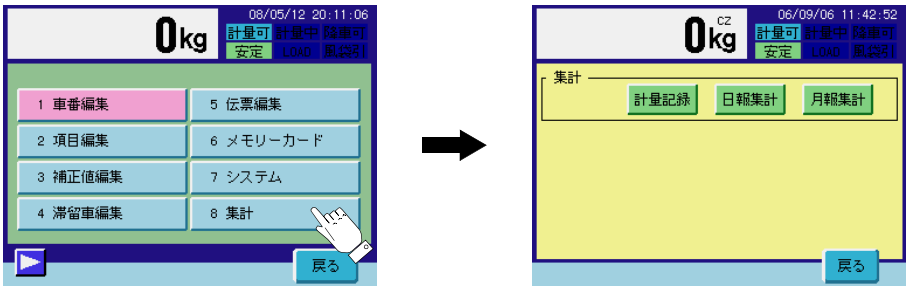
9-1. 集計

計量記録の印字、日報集計印字、月報集計印字を行ないます。
集計は車番、項目1、項目2、項目3、項目4、のいずれかに対して行ないます。
回数と正味重量を集計します。

操作

メニュー　→　集計

画面遷移



【編集メニュー】　【集計】

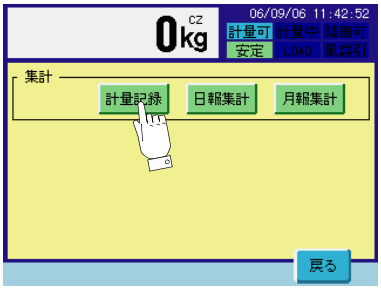
■計量記録

計量記録を印字します。
M891、M893の印刷可能用紙サイズは、紙幅90mm以上、長さ170mm以上です。
M892の場合は、指定用紙（紙幅3.5インチ、長さ4.0～5.5インチ）のものを使用してください。
必要な用紙枚数は計量記録数や集計範囲によります。

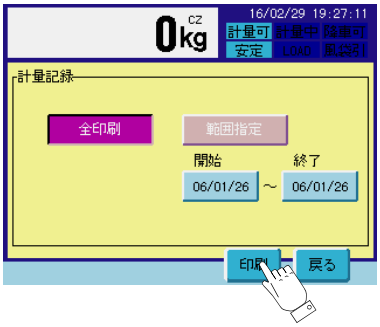
● 全印刷

全計量記録を印字します。

1. 計量記録 を押します。



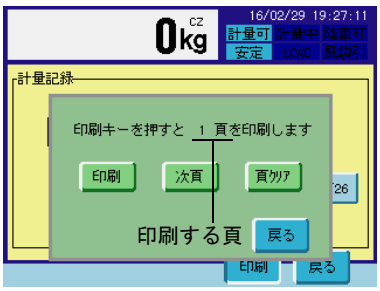
2. 全印刷 を押して 印刷 を押します。



3. 印刷 を押すと、画面に表示している頁の計量記録を印刷します。

次頁 を押すと、次の頁を表示します。

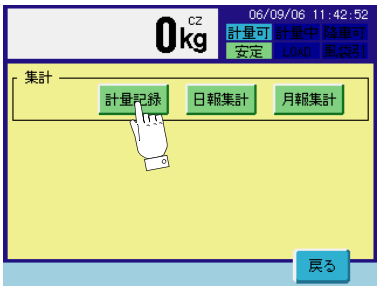
頁ｸﾘｱ を押すと、1頁になります。印刷中に押すと、印刷が中止されます。



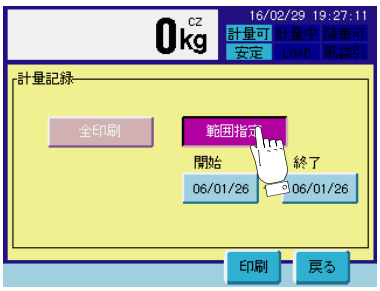
● 範囲指定印刷

指定した開始日から終了日までの計量記録を印字します。

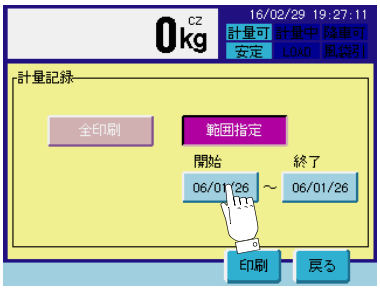
1. 計量記録 を押します。



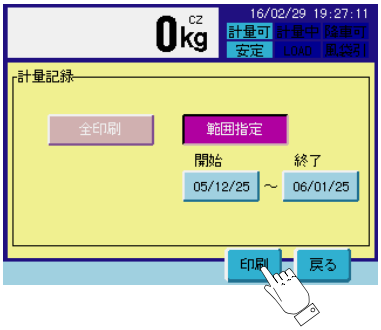
2. 範囲指定 を押します。



3. 06/01/26 を押して開始日と終了日を入力します。



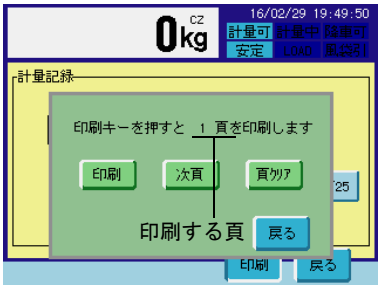
4. 印刷 を押します。



5. 印刷 を押すと、画面に表示している頁の計量記録を印刷します。

次頁 を押すと、次の頁を表示します。

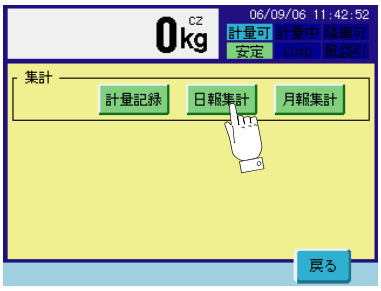
頁ｸﾘｱ を押すと、1頁になります。印刷中に押すと、印刷が中止されます。



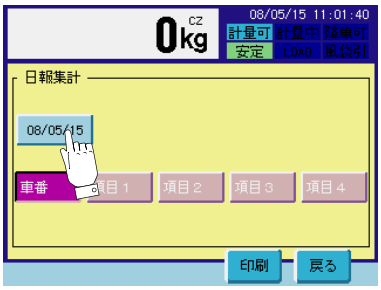
■日報集計

指定した日にちの日報を集計して印字します。

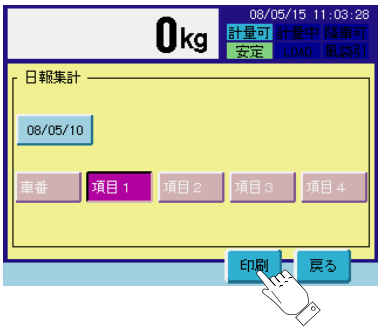
1. 日報集計 を押します。



2. 06/01/26 を押して集計する日にちを入力します。



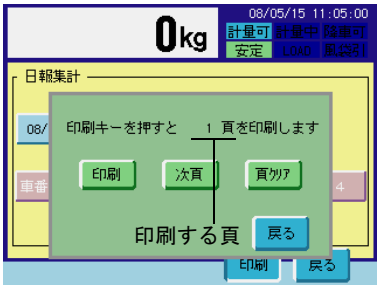
3. 集計の種別を選択して 印刷 を押します。



4. 印刷 を押すと、画面に表示している頁の集計結果を印刷します。

次頁 を押すと、次の頁を表示します。

頁ｸﾘｱ を押すと、1頁になります。印刷中に押すと、印刷が中止されます。

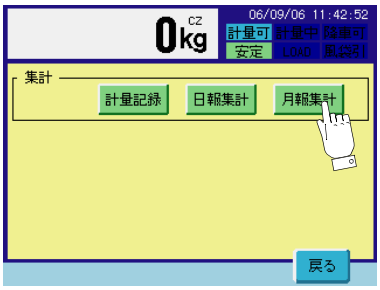


■月報集計

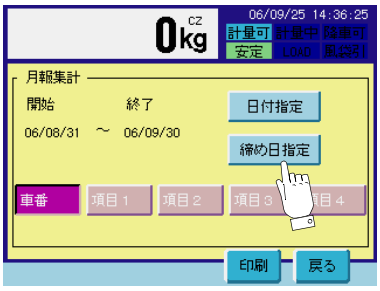
指定した開始日から終了日までのデータを集計して印字します。
開始年月は当年前月、終了年月は当年当月が表示されます。

● 締め日設定

1. 月報集計 を押します。



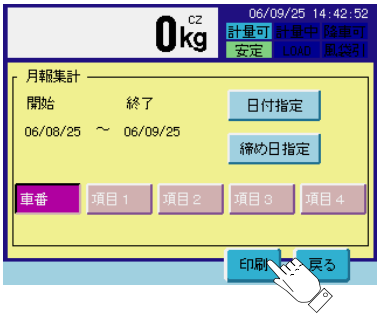
2. 締め日指定 を押します。



3. 締め日を入力して ↵ を押します。

入力範囲：1～31（31：月末設定）

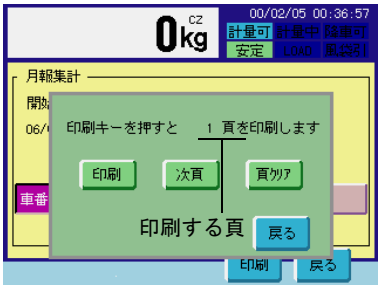
4. 集計の種別を選択して 印刷 を押します。



5. 印刷 を押すと、画面に表示している頁の編集結果を印刷します。

次頁 を押すと、次の頁を表示します。

頁ｸﾘｱ を押すと、1頁になります。印刷中に押すと、印刷が中止されます。

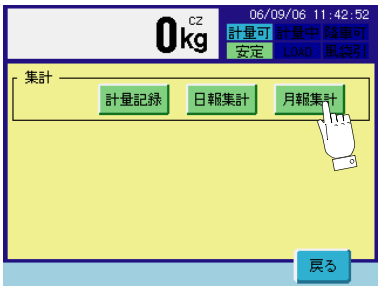


ポイント

一度締め日を指定しておけば、以後設定をする必要はありません。

● 日付指定

1. 月報集計 を押します。



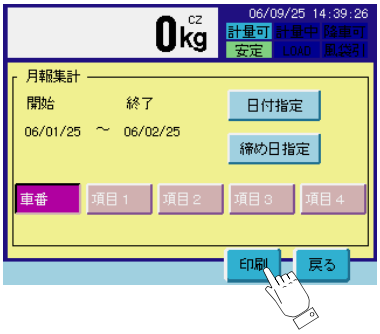
2. 日付指定 を押します。

3. 開始年月日を入力して ↵ を押します。

入力範囲：1～31（31：月末設定）

4. 終了年月日を入力して ↵ を押します。

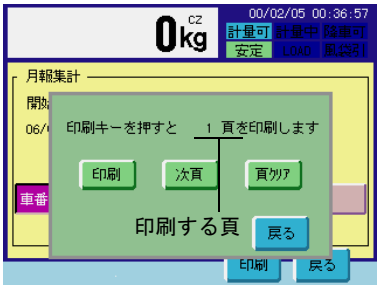
5. 集計の種別を選択して 印刷 を押します。



6. 印刷 を押すと、画面に表示している頁の編集結果を印刷します。

次頁 を押すと、次の頁を表示します。

頁ｸﾘｱ を押すと、1頁になります。印刷中に押すと、印刷が中止されます。



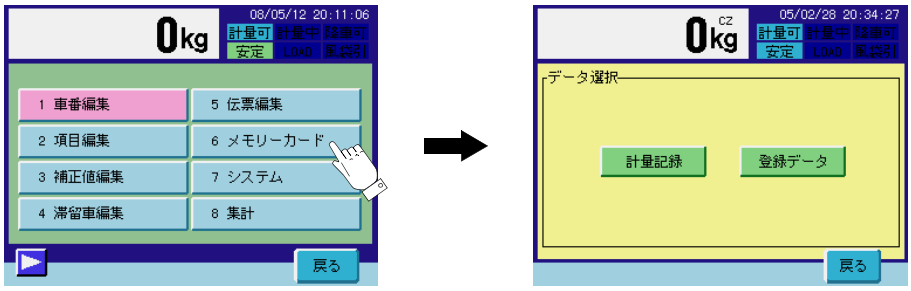
9-2. メモリーカード

全計量記録と全登録データ（車番、項目、補正値等）をコンパクトフラッシュカードにCSV形式で書き込みます。
また、コンパクトフラッシュカードから登録データを読み出して、F890Aに設定します。

操作

メニュー　→　メモリーカード

画面遷移



【編集メニュー】　【メモリーカード】

ポイント
CSVファイルフォーマットは、「F890A周辺機器取扱説明書」を参照してください。

⚠ 注意

「アクセス中」が表示しているときに、コンパクトフラッシュカードをF890Aから抜いたりF890Aの電源を切ったりしないでください。データが失われたり、F890Aやコンパクトフラッシュカードが壊れる可能性があります。

■計量記録

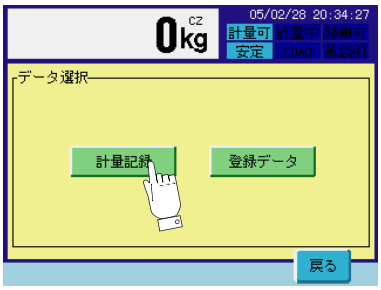
計量記録をコンパクトフラッシュカードに書き込みます。
ファイル名は、w_data＊＊.csv（＊＊は01から99までの番号）です。
最大99個のファイル（w_data01.csv～w_data99.csv）を番号の昇順に作成します。
例えば、w_data01.csvがコンパクトフラッシュカードに存在している状態で書き込みを行なうとw_data02.csvが作成され、w_data02.csvとw_data09.csvが存在している状態で書き込みを行なうと、w_data01.csvファイルが作成されます。

※99個のファイルが、すでにカード内に存在している場合は、カードエラーとなり、書き込みできません。

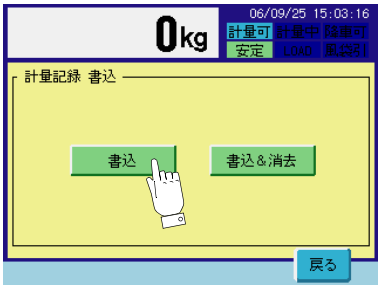
● 書込

コンパクトフラッシュカードにw_data＊＊.csv を作成し、F890Aに記録してある計量記録は消去しません。

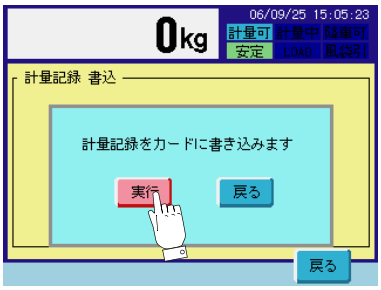
1. 計量記録 を押します。



2. 書込 を押します。



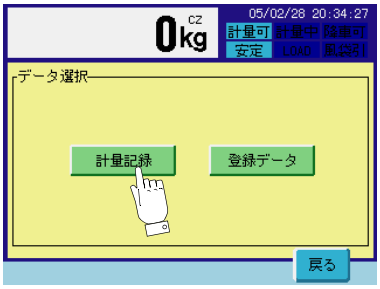
3. 実行 を押します。
データ書き込み中は、「アクセス中」と表示が出て CARD が点滅します。
書き込みが終了すると、データ選択画面に移ります。



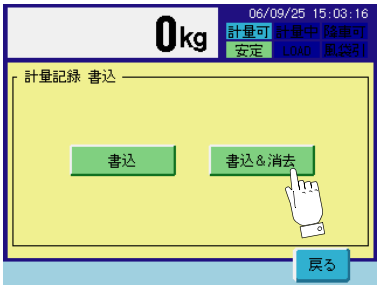
● 書込＆消去

コンパクトフラッシュカードにw_data＊.csv を作成し、F890Aに記録してある計量記録を全て消去します。

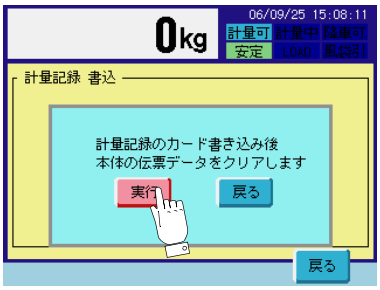
1. 計量記録 を押します。



2. 書込＆消去 を押します。



3. 実行 を押します。
データ書き込み中は、「アクセス中」と表示が出て CARD が点滅します。
書き込みが終了すると、データ選択画面に移ります。



9-3. w_data**.csv

計量記録のファイルです。
F890Aから読出しのみ可能で、書込むことはできません。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1	計量記録		記録日	06/01/01	00：26			Ver.	1.00	
2	年月	時刻	伝票	車番	業者	品種	地区	名前	総重時刻	総重量
3										kg
4	00/01/01	00：02	1	12345678	0	0	0	0	00：02	1253
5	00/01/01	00：03	2	77335511	2	2	2	2	00：03	2499
6	00/01/01	00：03	3	24637817	1	1	1	1	00：03	2499

	11	12	13	14	15	16	17	18
1								
2	空車時刻	空車	正味重量	重量引	個数	重量引補正重量	水分率	水分引補正重量
3		kg	kg	kg	個	kg	%	kg
4	00:02	2000	－ 747	0	1	－ 747	1.00	－ 754
5	00:03	1253	1246	0	1	1246	0.00	1246
6	00:03	1253	1246	0	1	1246	2.50	1215

	19	20	21	22	23	24
1						
2	比重	体積	単価	金額	消費税	合計
3	kg/m^3	m^3	円	円	%	円
4	0	0	0	0	0	0
5	2000	1	1	1246	5	1309
6	0	0	0	0	5	0

※ 年月日は設定に関係なく常に西暦です。
年（下2桁）、月（2桁）、日（2桁）とします。

行番号と列番号は説明のために付加したものです。
CSVファイルには記録されません。

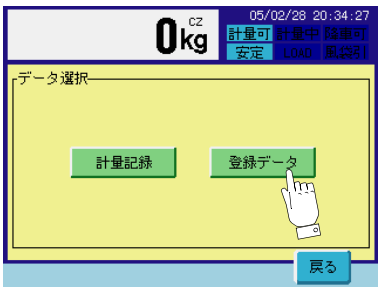
■登録データ

車番編集、項目編集、補正値編集で登録したデータをコンパクトフラッシュカードに書き込みます。また、コンパクトフラッシュカードから登録データを読み出してF890Aに登録します。

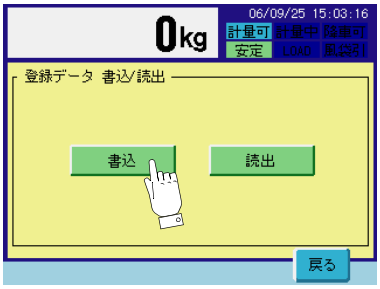
ファイル名は、ca_data.csvです。

● 書込

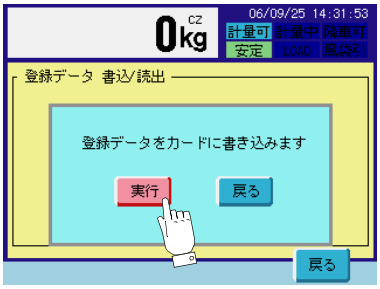
1. 登録データ を押します。



2. 書込 を押します。

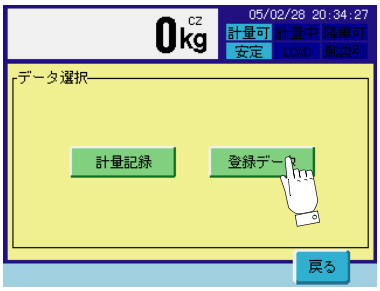


3. 実行 を押します。
データ書き込み中は、「アクセス中」と表示が出て CARD が点滅します。
書き込みが終了すると、データ選択画面に移ります。

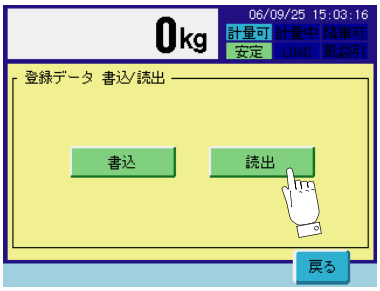


● 読出

1. 登録データ を押します。

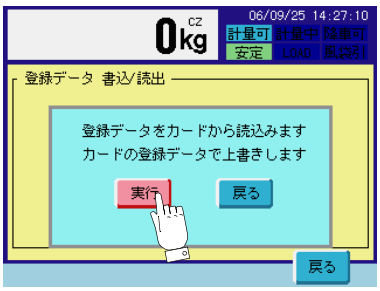


2. 読出 を押します。



3. 実行 を押します。
データ書き込み中は、「アクセス中」と表示が出て CARD が点滅します。
書き込みが終了すると、データ選択画面に移ります。

※F890A の登録データは消去され、カード内の登録データで上書きします。



ポイント

プリンタに印字できる漢字は、JIS第一水準文字とJIS第二水準文字です。
パソコン等でデータを作成する場合は、JIS第一水準文字とJIS第二水準文字以外の漢字を入力しないでください。印字することができません。
印字可能な漢字は、F890A周辺機器取扱説明書のシフトJIS漢字コード表に記載しています。
また、正しく印字、表示されない場合がありますので、半角文字は使用しないでください。

9-4. ca_data.csv

登録データ（車番、項目、補正値）のファイルです。

データを追加する場合は、設定番号も追加してください。
設定番号は、データ毎に決まっています。(車番はT0)

車番名称、項目名称を変更する場合は、sv_data.csvファイルで設定してください。
このファイルでは、変更することができません。

	1	2	3	4	5	6	7	8	
1	登録データ		記録日	06/01/01	01：26			Ver.	1.00
2	車番編集	設定番号	車番	業者	品種	地区	名前	空車重量	最大積載量
3		T0	12345678	0	0	0	0	2.000	20.123
4		T0	24637817	1	1	1	1	2.000	20.000
5		T0	77335511	2	2	2	2	2.000	20.000
6		T0	54329876	3	3	3	3	2.000	20.000
7		T0	24681357	4	4	4	4	2.000	20.000
8		T0	87654321	5	5	5	5	2.000	20.000
9	項目編集	設定番号	コード	名称					
10	業者	K1	0	ユニパルス㈱					
11	業者	K1	1	ユニパルス商事					
12	業者	K1	2	ユニパルス物流					
13	業者	K1	3	ユニパルス機械					
14	業者	K1	4	ユニパルス電機					
15	業者	K1	5	ユニパルス商会					
16									
17	品種	K2	0	ペットボトル					
18	品種	K2	1	鉄					
19	品種	K2	2	砂					
20	品種	K2	3	セメント					
21	品種	K2	4	空き缶					
22	品種	K2	5	ビン					
23									
24	地区	K3	0	越谷市					
25	地区	K3	1	草加市					
26	地区	K3	2	春日部市					
27	地区	K3	3	さいたま市					
28	地区	K3	4	三郷市					
29	地区	K3	5	川口市					
30									
31	名前	K4	0	由仁春雄					
32	名前	K4	1	田中一郎					
33	名前	K4	2	山田太郎					
34	名前	K4	3	斎藤花子					
35	名前	K4	4	鈴木二郎					
36	名前	K4	5	佐藤三郎					
37	補正値編集	設定番号	車番	業者	品種	地区	名前	水分率	
38		H1	12345678	0	0	0	0	1.00	
39		H1	24637817	1	1	1	1	2.50	

40	補正値編集	設定番号	車番	業者	品種	地区	名前	比重	
41		H2		0	0	2	2	200.0	
42		H2		0	0	3	4	3.4	
43	補正値編集	設定番号	車番	業者	品種	地区	名前	単価	
44		H3		0	5	0	0	5	
45		H3		0	2	0	0	1	

行番号と列番号は説明のために付加したものです。
CSVファイルには記録されません。

※年月日は設定に関係なく常に西暦です。年（下2桁)、月（2桁)、日（2桁）とします。

※車番を文字列入力する場合は、車番の前にスペースを入れず前詰めで入力してください。F890Aのキー操作で新規登録した場合も、前詰めで登録します。

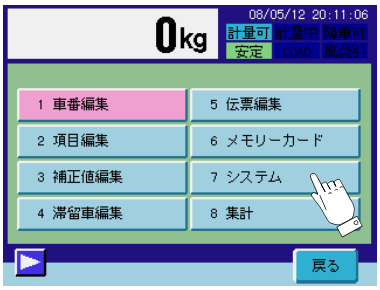
9-5. システム

システムに関する設定を行ないます。

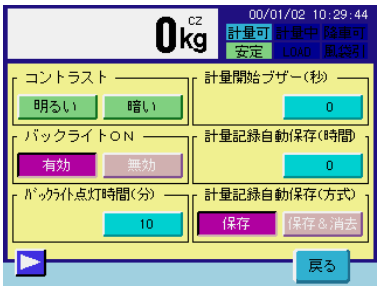
操作

メニュー　→　システム

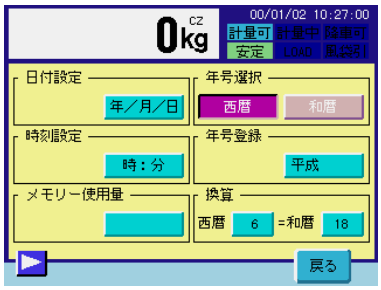
画面遷移



【編集メニュー】



【システム　1 枚目】



【システム　2 枚目】

■コントラスト

画面のコントラスト調整を行ないます。
明るい／暗いを押して調整します。

■バックライトON

バックライトがOFFの状態でトラックがはかりに載った（トラック重量値＞ゼロ付近設定値）ときにバックライトが自動で点灯する機能です。
有効／無効を選択します。

■バックライト点灯時間

バックライトの点灯時間を設定します。
0に設定すると、バックライトは常時点灯になります。（設定時間：0～99分）

注意

（トラック重量値＞ゼロ付近設定値）では、バックライトが消灯することはありません。
また、ロードセルコネクタへの接続なしに通電している場合は、入力不定により上記と同じ状態になることがあります。

■計量開始ブザー（秒）

トラックが秤にのった時に、ブザーを鳴らす時間を設定します。（設定時間：0～10秒）
ブザーが鳴っている時に、タッチパネル・キーシート・テンキーのいずれかに触れると、ブザーは止まります。

■計量記録自動保存（時間）

一定時間毎に計量記録を自動的に、メモリーカードへ保存する時間間隔を設定します。
0に設定すると、メモリーカードへの自動保存は行ないません。（設定時間：0～24時間）
※初回の記録は、0分、0秒のタイミングで行ないます。

■計量記録自動保存（方式）

計量記録を自動的にメモリーカードへ保存するときに、保存後F890A本体から計量記録を消去するか、消去せずに残すかを設定します。保存/保存＆消去から選択します。
※保存の場合は、計量記憶時間毎に存在するデータを全て記憶します。

■日付設定

年月日を入力します。（年/月/日）

■時刻設定

時刻を入力します。（時:分）

■メモリー使用量

各設定のメモリー使用状況を確認できます。使用件数/最大件数で表示します。
（車番・項目1～4・水分率・比重・単価・滞留車・伝票）
未使用に設定している項目は、表示されません。
（車番・滞留車・伝票は、常に表示されます。）

■年号選択

画面表示や印字での年号を選択する機能です。
和暦/西暦から選択します。

■年号登録

年号を登録します。
登録できる文字数は漢字2文字です。

■換算

西暦と和暦の関係を入力します。
西暦＊＊年＝和暦＊＊年

10計量方法

10-1.登録車の1回計量

1回計量の選択

計量可 が点灯しているときに 1回 を押してください。
(既に選択されている場合は、押す必要はありません。)

＜メイン画面＞

テンキーでの操作

シフト + 切替 :1 回計量と 2 回計量の切替え
切替 :ﾒｲﾝ画面と補正値表示画面の切替
ゼロ :ﾃﾞｼﾞﾀﾙｾﾞﾛ
計量 :強制計量開始

ポイント

計量中 点灯時は、計量回数を変更することができません。

計量中 点灯時に計量回数を変更する場合は、中止 を押して計量を中止してください。

計量の途中で強制計量開始を実行した場合には、計量データは失われますので、ご注意ください。

車番選択（車番入力）

トラック重量値がゼロ付近設定値を越えると 計量中 が点灯します。
車番を選択、もしくは入力してください。
（前回の計量時に使用した画面が先に表示されます。）

＜車番選択画面＞

切替 ⇕ 切替

＜車番入力画面＞

テンキーでの操作

切替	:車番入力画面へ
シフト + 5	:中止
シフト + 7	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最上段に移動 1 画面､上にｽｸﾛｰﾙ*
シフト + 8	:ｶﾗｰﾊﾞｰを 1 段上に移動 1 ﾃﾞｰﾀ分､上にｽｸﾛｰﾙ*
シフト + 2	:ｶﾗｰﾊﾞｰを 1 段下に移動 1 ﾃﾞｰﾀ分､下にｽｸﾛｰﾙ*
シフト + 0	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最下段に移動 1 画面､下にｽｸﾛｰﾙ*
↵	:ｶﾗｰﾊﾞｰのﾃﾞｰﾀを確定

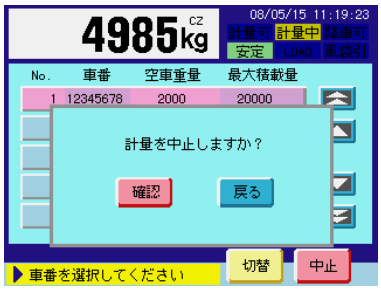
＊：1 秒間長押しで高速スクロール

テンキーでの操作

切替	:車番選択画面へ
シフト + 5	:中止
0 ～ 9	:数値入力
C	:1 文字ｸﾘｱ
C	:全文字ｸﾘｱ(1 秒間長押し)
↵	:入力確定

計量を中止する場合は、中止 を押してください。計量中止確認画面が表示されます。
確認 を押すと計量を中止し、計量可 が点灯します。

＜中止画面＞



テンキーでの操作

↵	:確認
シフト + 6	:戻る

バーコードリーダでの操作

コードをスキャンしてください。

項目設定で「登録必」または「全て必」を選択した場合、選択（入力）した車番の登録データに未入力の項目があると、項目選択（入力）画面を表示します。
この場合は、未入力項目を選択（入力）してください。

計量と伝票発行

トラックデータと仮の計量結果が表示されます。

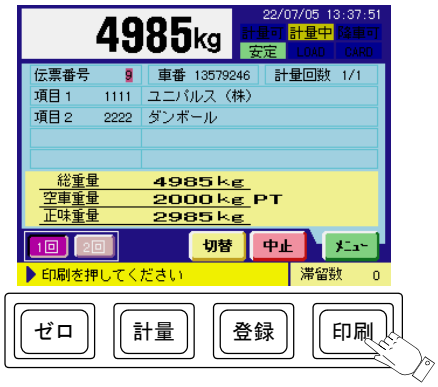
印刷 を押してください。

印刷 を押し、安定 が点灯すると、重量表示部の重量値が総重量の表示になります。

同時に、計量結果表示部に表示しているデータを印字します。

印刷 を押す前に伝票をセットしてください。

＜メイン画面＞



切替 ↓ ↑ 切替

＜補正値表示画面＞

テンキーでの操作

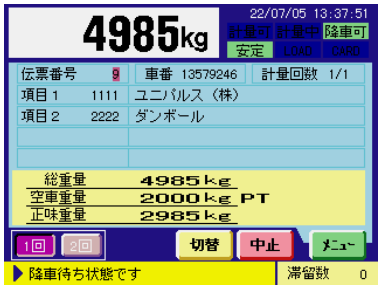
印刷	:伝票印字
ゼロ	:ﾃﾞｼﾞﾀﾙｾﾞﾛ
切替	:ﾒｲﾝ画面と補正値表示画面の切替
計量	:強制計量開始
シフト + 9	:風袋入力画面へ
シフト + 8	:ｶｰｿﾙﾏｰｸの移動（上）
シフト + 2	:ｶｰｿﾙﾏｰｸの移動（下）
0 ～ 9	:数値入力
C	:ｸﾘｱ（数値入力中のみ）
シフト + 6	:元の値に戻す（伝票番号入力中のみ）
↵	:入力確定

ポイント

総重量・空車重量の計測時間両方を印字する設定であっても、1回計量では計測した重量の計測時間のみ印字します。計測していない重量の計測時間は印字しません。
（同様に2回計量中で自動登録認識の設定により登録車の1回計量と認識された場合も、計測していない重量の計測時間は印字しません。）

降車

降車可 が点灯したら、降車してください。



計量終了

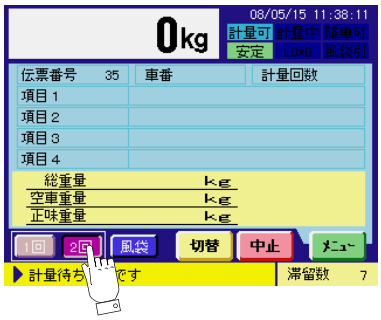
重量表示部の重量が、ゼロ付近設定値以下になると 計量可 が点灯します。

10-2.登録車の2回計量

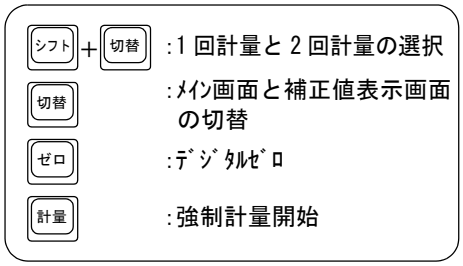
2回計量の選択

計量可 が点灯しているときに 2回 を押してください。
（既に選択されていたら、押す必要はありません。）

＜メイン画面＞



テンキーでの操作



ポイント

計量中 点灯時は、計量回数を変更することができません。

計量中 点灯時に計量回数を変更する場合は、中止 を押して計量を中止してください。

計量の途中で強制計量開始を実行した場合には、計量データは失われますので、ご注意ください。

車番選択（車番入力）

トラック重量値がゼロ付近設定値を越えると 計量中 が点灯します。
車番を選択、もしくは入力してください。
（前回の計量時に使用した画面が先に表示されます。）

＜車番選択画面＞

切替 ⇕ 切替

＜車番入力画面＞

テンキーでの操作

切替	:車番入力画面へ
シフト + 5	:中止
シフト + 7	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最上段に移動 1 画面､上にｽｸﾛｰﾙ＊
シフト + 8	:ｶﾗｰﾊﾞｰを 1 段上に移動 1 ﾃﾞｰﾀ分､上にｽｸﾛｰﾙ＊
シフト + 2	:ｶﾗｰﾊﾞｰを 1 段下に移動 1 ﾃﾞｰﾀ分､下にｽｸﾛｰﾙ＊
シフト + 0	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最下段に移動 1 画面､下にｽｸﾛｰﾙ＊
↵	:ｶﾗｰﾊﾞｰのﾃﾞｰﾀを確定

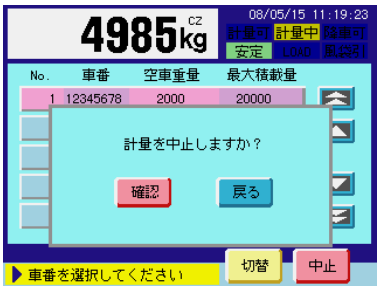
＊：1 秒間長押しで高速スクロール

テンキーでの操作

切替	:車番選択画面へ
シフト + 5	:中止
0 ～ 9	:数値入力
C	:1 文字ｸﾘｱ
C	:全文字ｸﾘｱ(1 秒間長押し)
↵	:入力確定

計量を中止する場合は、中止 を押してください。計量中止確認画面が表示されます。
確認 を押すと計量を中止し、計量可 が点灯します。

＜中止画面＞



テンキーでの操作

↵	:確認
シフト + 6	:戻る

バーコードリーダでの操作

コードをスキャンしてください。

項目設定で「登録必」または「全て必」を選択した場合、選択（入力）した車番の登録データに未入力の項目があると、項目選択（入力）画面を表示します。
この場合は、未入力項目を選択（入力）してください。

ポイント

これ以後の操作は、自動登録認識の設定により、異なります。詳しくは「F890A取扱説明書 設置・較正編」をご参照ください。
自動登録認識で、1回計量に設定している場合は、メイン画面で2回計量を選択しても、登録車の1回計量と認識される場合があります。
登録車の1回計量については、P88「登録車の1回計量」参照してください。

1回目の計量と伝票発行（自動登録認識：2回計量）

登録 を押してください。
（スリッププリンタを使用している場合は、先印字に設定している項目と開始重量を印字します。登録 を押す前に伝票をセットしてください。）

＜メイン画面＞　　：ｸﾘｱ（数値入力中のみ）

※ 1回目の計量時に総重量を印字する場合は、総重量 を押してください。
空車重量を印字する場合は、空車重量 を押してください。
（スリッププリンタを使用している場合に限ります。）

テンキーでの操作

登録	：重量値を登録します
C	：重量値を総重量として登録します（ﾒｲﾝ画面のみ） ｸﾘｱ（数値入力中のみ）
印刷	：重量値を空車重量として登録します（ﾒｲﾝ画面のみ）
ゼロ	：ﾃﾞｼﾞﾀﾙｾﾞﾛ
切替	：ﾒｲﾝ画面と補正値表示画面の切替
計量	：強制計量開始
シフト＋9	：風袋入力画面へ
シフト＋8	：ｶｰｿﾙﾏｰｸの移動（上）
シフト＋2	：ｶｰｿﾙﾏｰｸの移動（下）
0～9	：数値入力
シフト＋6	：元の値に戻す（伝票番号入力中のみ）
↵	：入力確定

ポイント

登録 を押した場合、計測した値は、総重量、空車重量にかかわらず、一時的に空車重量値として登録されます。

総重量 を押した場合は、計測した値は総重量値として登録されます。

空車重量 を押した場合は、計測した値は空車重量値として登録されます。

開始重量は1回目計量時のみにしか印字できません。また、開始重量の再印字も行なうことができません。

降車

降車可 が点灯したら、降車してください。

計量待ち

重量表示部の重量が、ゼロ付近設定値以下になると 計量可 が点灯します。

テンキーでの操作

切替	:ﾒｲﾝ画面と補正値表示画面の切替
ゼロ	:ﾃﾞｼﾞﾀﾙｾﾞﾛ
計量	:強制計量開始

車番選択（車番入力、滞留車特定）

トラック重量値がゼロ付近設定値を越えると 計量中 が点灯します。
滞留車の車番を選択、入力、もしくは滞留車の特定をしてください。
（前回の計量時に使用した画面が先に表示されます。）

＜車番選択画面＞

切替

＜滞留車特定画面＞

切替

＜車番入力画面＞

切替

テンキーでの操作

切替	:滞留車特定画面へ
シフト + 5	:中止
シフト + 7	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最上段に移動 1 画面、上にｽｸﾛｰﾙ*
シフト + 8	:ｶﾗｰﾊﾞｰを 1 段上に移動 1 ﾃﾞｰﾀ分、上にｽｸﾛｰﾙ*
シフト + 2	:ｶﾗｰﾊﾞｰを 1 段下に移動 1 ﾃﾞｰﾀ分、下にｽｸﾛｰﾙ*
シフト + 0	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最下段に移動 1 画面、下にｽｸﾛｰﾙ*
↵	:ｶﾗｰﾊﾞｰのﾃﾞｰﾀを確定

＊：1 秒間長押しで高速スクロール

テンキーでの操作

切替	:車番入力画面へ
シフト + 5	:中止
シフト + 7	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最上段に移動 1 画面、上にｽｸﾛｰﾙ*
シフト + 8	:ｶﾗｰﾊﾞｰを 1 段上に移動 1 ﾃﾞｰﾀ分、上にｽｸﾛｰﾙ*
シフト + 2	:ｶﾗｰﾊﾞｰを 1 段下に移動 1 ﾃﾞｰﾀ分、下にｽｸﾛｰﾙ*
シフト + 0	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最下段に移動 1 画面、下にｽｸﾛｰﾙ*
↵	:ｶﾗｰﾊﾞｰのﾃﾞｰﾀを確定

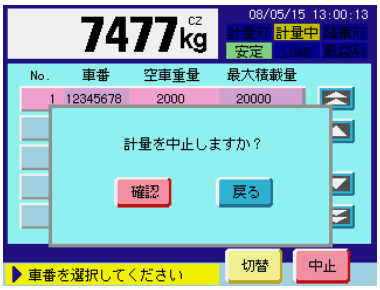
＊：1 秒間長押しで高速スクロール

テンキーでの操作

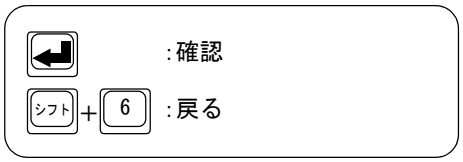
切替	:車番選択画面へ
シフト + 5	:中止
0 ～ 9	:数値入力
C	:1 文字ｸﾘｱ
C	:全文字ｸﾘｱ(1 秒間長押し)
↵	:入力確定

計量を中止する場合は 中止 を押してください。計量中止確認画面が表示されます。
確認 を押すと計量を中止し 計量可 が点灯します。

＜中止画面＞



テンキーでの操作



バーコードリーダでの操作

コードをスキャンしてください。

項目設定で「登録必」または「全て必」を選択した場合、未入力の項目があると項目選択（入力）画面を表示します。
この場合は、未入力項目を選択（入力）してください。

2回目の計量と伝票発行

滞留車の車番を選択、入力または特定すると、トラックデータと仮の計量結果が表示されます。

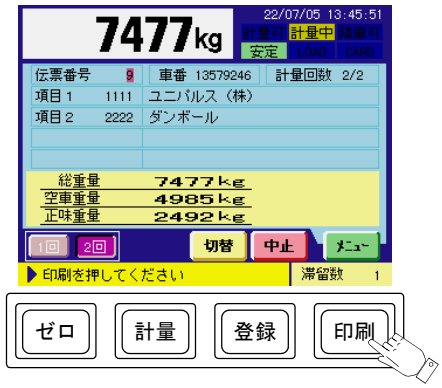
印刷 を押してください。

印刷 を押し 安定 が点灯すると、正味重量が表示されます。

同時に、計量結果表示部に表示しているデータを印字します。

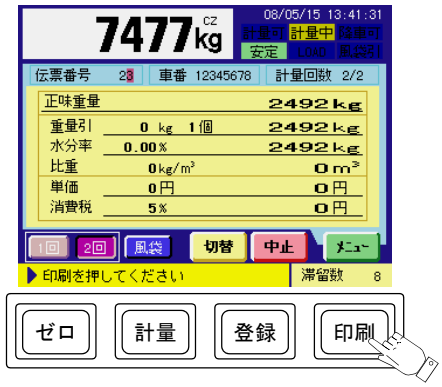
印刷 を押す前に伝票をセットしてください。

＜メイン画面＞



切替　　切替

＜補正値表示画面＞



テンキーでの操作

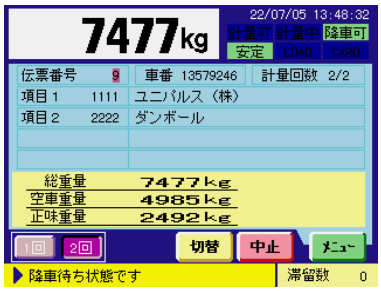
印刷	:伝票印字
ゼロ	:ﾃﾞｼﾞﾀﾙｾﾞﾛ
切替	:ﾒｲﾝ画面と補正値表示画面の切替
計量	:強制計量開始
シフト＋9	:風袋入力画面へ
シフト＋8	:ｶｰｿﾙﾏｰｸの移動（上）
シフト＋2	:ｶｰｿﾙﾏｰｸの移動（下）
0～9	:数値入力
C	:ｸﾘｱ（数値入力中のみ）
シフト＋6	:元の値に戻す（伝票番号入力中のみ）
↵	:入力確定

ポイント

1回目と2回目の計量の差が正味重量となります。1回目の計量時に 登録 を押した場合、重量値が大きい方を総重量、小さい方を空車重量と自動で認識し、正味重量を算出します。

降車

降車可 が点灯したら、降車してください。



計量終了

重量表示部の重量が、ゼロ付近設定値以下になると 計量可 が点灯します。

10-3.未登録車の1回計量

1回計量の選択

計量可 が点灯しているときに 1回 を押してください。(既に選択されていたら、押す必要はありません。)

＜メイン画面＞

テンキーでの操作

シフト + 切替	:1 回計量と 2 回計量の選択
切替	:ﾒｲﾝ画面と補正値表示画面の切替
ゼロ	:ﾃﾞｼﾞﾀﾙｾﾞﾛ
計量	:強制計量開始

ポイント

計量中 点灯時は、計量回数を変更することができません。

計量中 点灯時に計量回数を変更する場合は、中止 を押して計量を中止してください。

計量の途中で強制計量開始を実行した場合には、計量データは失われますので、ご注意ください。

車番入力

トラック重量値がゼロ付近設定値を越えると 計量中 が点灯します。
入力画面から車番を入力してください。

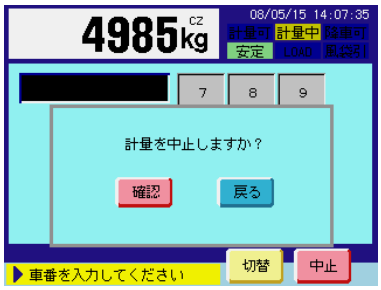
＜車番入力画面＞

テンキーでの操作

切替	:車番選択画面へ
シフト + 5	:中止
0 ～ 9	:数値入力
C	:1 文字ｸﾘｱ
C	:全文字ｸﾘｱ(1 秒間長押し)
↵	:入力確定

計量を中止する場合は、中止 を押してください。計量中止確認画面が表示されます。
確認 を押すと計量を中止し、計量可 が点灯します。

＜中止画面＞

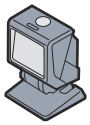


テンキーでの操作

↵	:確認
シフト + 6	:戻る

バーコードリーダでの操作

コードをスキャンしてください。



空車重量入力

車番を入力すると、空車重量入力画面が表示されます。
空車重量を入力してください。空車重量は、最小目盛単位で四捨五入します。

＜空車重量入力画面＞

テンキーでの操作

シフト + 6	:戻る
0 ～ 9	:数値入力
C	:ｸﾘｱ
↵	:入力確定

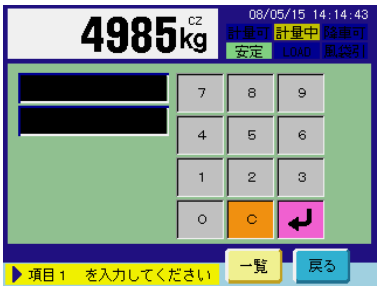
項目1入力（選択）

項目1選択画面または項目1入力画面が表示されます。
項目1を選択（入力）してください。

＜項目選択画面＞

入力 ⇕ 一覧

＜項目入力画面＞



テンキーでの操作

切替	:項目１入力画面へ
シフト＋6	:戻る
シフト＋7	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最上段に移動 １画面､上にｽｸﾛｰﾙ＊
シフト＋8	:ｶﾗｰﾊﾞｰを１段上に移動 １ﾃﾞｰﾀ分､上にｽｸﾛｰﾙ＊
シフト＋2	:ｶﾗｰﾊﾞｰを１段下に移動 １ﾃﾞｰﾀ分､下にｽｸﾛｰﾙ＊
シフト＋0	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最下段に移動 １画面､下にｽｸﾛｰﾙ＊
↵	:ｶﾗｰﾊﾞｰのﾃﾞｰﾀを確定
計量	:強制計量開始

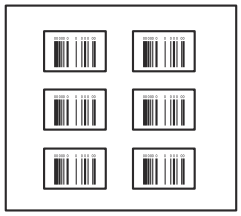
＊：１秒間長押しで高速スクロール

テンキーでの操作

切替	:項目１選択画面へ
シフト＋6	:戻る
0～9	:数値入力
C	:ｸﾘｱ
↵	:入力確定
計量	:強制計量開始

ハンディスキャナでの操作

コードをスキャンしてください。



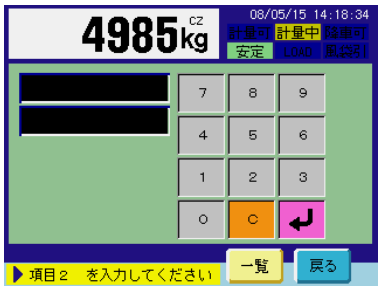
項目2入力（選択）

項目2選択画面または項目2入力画面が表示されます。
項目2を選択（入力）してください。

＜項目選択画面＞

入力 ⇕ 一覧

＜項目入力画面＞



テンキーでの操作

切替	:項目 2 入力画面へ
シフト + 6	:戻る
シフト + 7	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最上段に移動 1 画面、上にｽｸﾛｰﾙ*
シフト + 8	:ｶﾗｰﾊﾞｰを 1 段上に移動 1 ﾃﾞｰﾀ分、上にｽｸﾛｰﾙ*
シフト + 2	:ｶﾗｰﾊﾞｰを 1 段下に移動 1 ﾃﾞｰﾀ分、下にｽｸﾛｰﾙ*
シフト + 0	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最下段に移動 1 画面、下にｽｸﾛｰﾙ*
↵	:ｶﾗｰﾊﾞｰのﾃﾞｰﾀを確定
計量	:強制計量開始

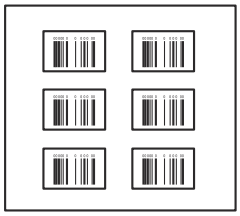
＊：1 秒間長押しで高速スクロール

テンキーでの操作

切替	:項目 2 選択画面へ
シフト + 6	:戻る
0 ～ 9	:数値入力
C	:ｸﾘｱ
↵	:入力確定
計量	:強制計量開始

ハンディスキャナでの操作

コードをスキャンしてください。



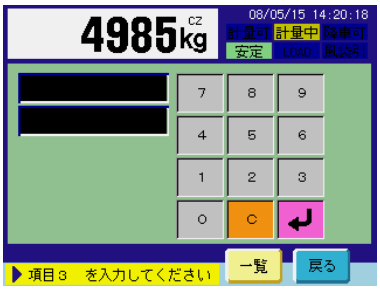
項目3入力（選択）

項目3選択画面または項目3入力画面が表示されます。
項目3を選択（入力）してください。

＜項目選択画面＞

入力 ⇩ ⇧ 一覧

＜項目入力画面＞



テンキーでの操作

切替	:項目 3 入力画面へ
シフト + 6	:戻る
シフト + 7	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最上段に移動 1 画面､上にｽｸﾛｰﾙ＊
シフト + 8	:ｶﾗｰﾊﾞｰを 1 段上に移動 1 ﾃﾞｰﾀ分､上にｽｸﾛｰﾙ＊
シフト + 2	:ｶﾗｰﾊﾞｰを 1 段下に移動 1 ﾃﾞｰﾀ分､下にｽｸﾛｰﾙ＊
シフト + 0	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最下段に移動 1 画面､下にｽｸﾛｰﾙ＊
↵	:ｶﾗｰﾊﾞｰのﾃﾞｰﾀを確定
計量	:強制計量開始

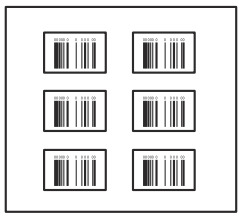
＊：1 秒間長押しで高速スクロール

テンキーでの操作

切替	:項目 3 選択画面へ
シフト + 6	:戻る
0 ～ 9	:数値入力
C	:ｸﾘｱ
↵	:入力確定
計量	:強制計量開始

ハンディスキャナでの操作

コードをスキャンしてください。



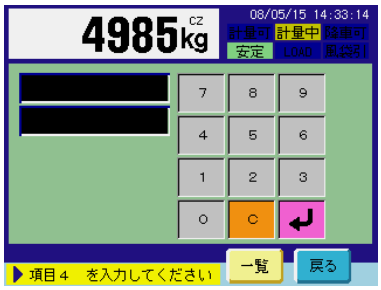
項目4入力（選択）

項目4選択画面または項目4入力画面が表示されます。
項目4を選択（入力）してください。

＜項目選択画面＞

入力 ⇓ ⇑ 一覧

＜項目入力画面＞



テンキーでの操作

切替	:項目４入力画面へ
シフト＋6	:戻る
シフト＋7	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最上段に移動 １画面､上にｽｸﾛｰﾙ*
シフト＋8	:ｶﾗｰﾊﾞｰを１段上に移動 １ﾃﾞｰﾀ分､上にｽｸﾛｰﾙ*
シフト＋2	:ｶﾗｰﾊﾞｰを１段下に移動 １ﾃﾞｰﾀ分､下にｽｸﾛｰﾙ*
シフト＋0	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最下段に移動 １画面､下にｽｸﾛｰﾙ*
↵	:ｶﾗｰﾊﾞｰのﾃﾞｰﾀを確定
計量	:強制計量開始

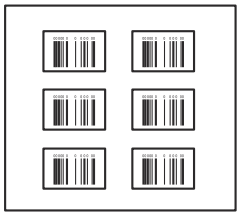
＊：１秒間長押しで高速スクロール

テンキーでの操作

切替	:項目４選択画面へ
シフト＋6	:戻る
0～9	:数値入力
C	:ｸﾘｱ
↵	:入力確定
計量	:強制計量開始

ハンディスキャナでの操作

コードをスキャンしてください。



計量と伝票発行

トラックデータと仮の計量結果が表示されます。

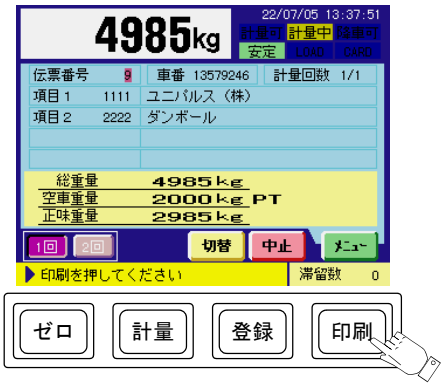
印刷 を押してください。

印刷 を押し 安定 が点灯すると、重量表示部の重量値を総重量に表示します。

同時に、計量結果表示部に表示しているデータを印字します。

印刷 を押す前に伝票をセットしてください。

＜メイン画面＞



切替 ⇕ 切替

＜補正値表示画面＞

テンキーでの操作

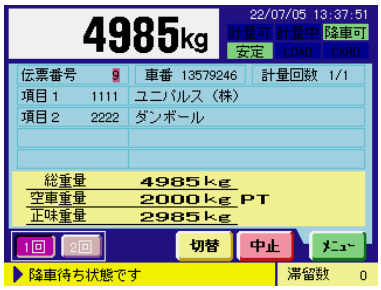
印刷	:伝票印字
ゼロ	:ﾃﾞｼﾞﾀﾙｾﾞﾛ
切替	:ﾒｲﾝ画面と補正値表示画面の切替
計量	:強制計量開始
シフト + 9	:風袋入力画面へ
シフト + 8	:ｶｰｿﾙﾏｰｸの移動（上）
シフト + 2	:ｶｰｿﾙﾏｰｸの移動（下）
0 ～ 9	:数値入力
C	:ｸﾘｱ（数値入力中のみ）
シフト + 6	:元の値に戻す（伝票番号入力中のみ）
↵	:入力確定

ポイント

総重量・空車重量の計測時間両方を印字する設定であっても、1回計量では計測した重量の計測時間のみ印字します。計測していない重量の計測時間は印字しません。
（同様に2回計量中で自動登録認識の設定により登録車の1回計量と認識された場合も、計測していない重量の計測時間は印字しません。）

降車

降車可 が点灯したら、降車してください。



計量終了

重量表示部の重量が、ゼロ付近設定値以下になると 計量可 が点灯します。

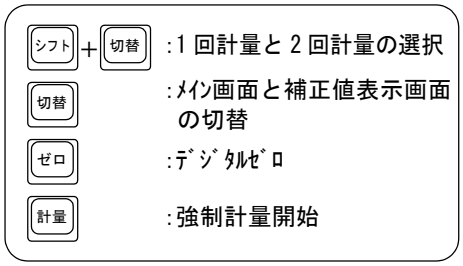
10-4.未登録車の2回計量

2回計量の選択

計量可 が点灯しているときに 2回 を押してください。
（既に選択されていたら、押す必要はありません。）

＜メイン画面＞

テンキーでの操作



ポイント

計量中 点灯時は、計量回数を変更することができません。

計量中 点灯時に計量回数を変更する場合は、中止 を押して計量を中止してください。

計量の途中で強制計量開始を実行した場合には、計量データは失われますので、ご注意ください。

車番入力

トラック重量値がゼロ付近設定値を越えると 計量中 が点灯します。
入力画面から車番を入力してください。

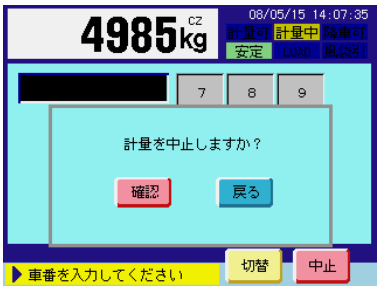
＜車番入力画面＞

テンキーでの操作

切替	:車番選択画面へ
シフト + 5	:中止
0 ～ 9	:数値入力
C	:1 文字ｸﾘｱ
C	:全文字ｸﾘｱ(1 秒間長押し)
↵	:入力確定

計量を中止する場合は、中止 を押してください。計量中止確認画面が表示されます。
確認 を押すと計量を中止し、計量可 **が点灯します。**

＜中止画面＞

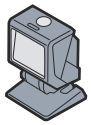


テンキーでの操作

↵	:確認
シフト + 6	:戻る

バーコードリーダでの操作

コードをスキャンしてください。



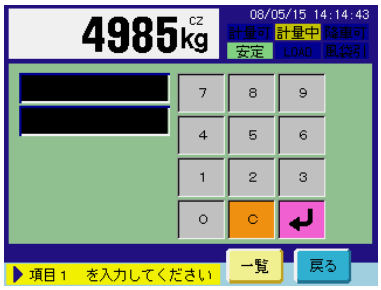
項目1入力（選択）

項目1選択画面または項目1入力画面が表示されます。
項目1を選択（入力）してください。

＜項目選択画面＞

入力 ⇕ 一覧

＜項目入力画面＞



テンキーでの操作

切替	:項目１入力画面へ
シフト＋6	:戻る
シフト＋7	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最上段に移動 １画面、上にｽｸﾛｰﾙ*
シフト＋8	:ｶﾗｰﾊﾞｰを１段上に移動 １ﾃﾞｰﾀ分、上にｽｸﾛｰﾙ*
シフト＋2	:ｶﾗｰﾊﾞｰを１段下に移動 １ﾃﾞｰﾀ分、下にｽｸﾛｰﾙ*
シフト＋0	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最下段に移動 １画面、下にｽｸﾛｰﾙ*
↵	:ｶﾗｰﾊﾞｰのﾃﾞｰﾀを確定
計量	:強制計量開始

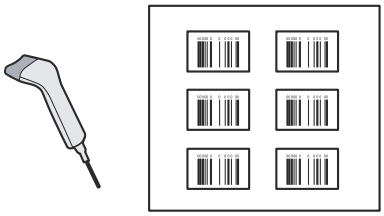
＊：１秒間長押しで高速スクロール

テンキーでの操作

切替	:項目１選択画面へ
シフト＋6	:戻る
0～9	:数値入力
C	:ｸﾘｱ
↵	:入力確定
計量	:強制計量開始

ハンディスキャナでの操作

コードをスキャンしてください。



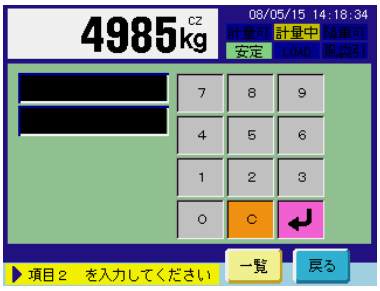
項目2入力（選択）

項目2選択画面または項目2入力画面が表示されます。
項目2を選択（入力）してください。

＜項目選択画面＞

入力 ⇩ ⇧ 一覧

＜項目入力画面＞



テンキーでの操作

切替	:項目２入力画面へ
シフト＋6	:戻る
シフト＋7	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最上段に移動 １画面､上にｽｸﾛｰﾙ＊
シフト＋8	:ｶﾗｰﾊﾞｰを１段上に移動 １ﾃﾞｰﾀ分､上にｽｸﾛｰﾙ＊
シフト＋2	:ｶﾗｰﾊﾞｰを１段下に移動 １ﾃﾞｰﾀ分､下にｽｸﾛｰﾙ＊
シフト＋0	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最下段に移動 １画面､下にｽｸﾛｰﾙ＊
↵	:ｶﾗｰﾊﾞｰのﾃﾞｰﾀを確定
計量	:強制計量開始

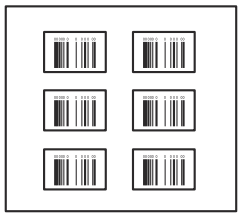
＊：１秒間長押しで高速スクロール

テンキーでの操作

切替	:項目２選択画面へ
シフト＋6	:戻る
0～9	:数値入力
C	:ｸﾘｱ
↵	:入力確定
計量	:強制計量開始

ハンディスキャナでの操作

コードをスキャンしてください。



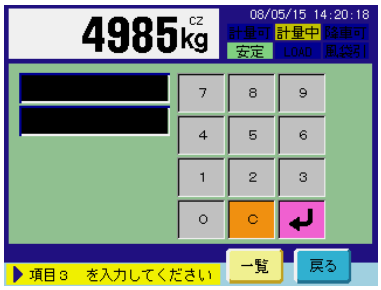
項目3入力（選択）

項目3選択画面または項目3入力画面が表示されます。
項目3を選択（入力）してください。

＜項目選択画面＞

入力 ⇕ 一覧

＜項目入力画面＞



テンキーでの操作

切替	:項目 3 入力画面へ
シフト + 6	:戻る
シフト + 7	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最上段に移動 1 画面、上にｽｸﾛｰﾙ*
シフト + 8	:ｶﾗｰﾊﾞｰを 1 段上に移動 1 ﾃﾞｰﾀ分、上にｽｸﾛｰﾙ*
シフト + 2	:ｶﾗｰﾊﾞｰを 1 段下に移動 1 ﾃﾞｰﾀ分、下にｽｸﾛｰﾙ*
シフト + 0	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最下段に移動 1 画面、下にｽｸﾛｰﾙ*
↵	:ｶﾗｰﾊﾞｰのﾃﾞｰﾀを確定
計量	:強制計量開始

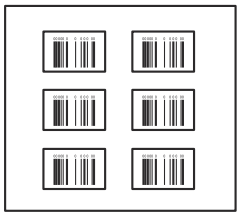
＊：1 秒間長押しで高速スクロール

テンキーでの操作

切替	:項目 3 選択画面へ
シフト + 6	:戻る
0 ～ 9	:数値入力
C	:ｸﾘｱ
↵	:入力確定
計量	:強制計量開始

ハンディスキャナでの操作

コードをスキャンしてください。



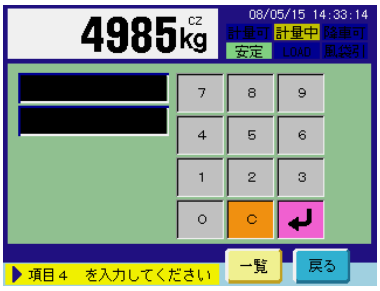
項目4入力（選択）

項目4選択画面または項目4入力画面が表示されます。
項目4を選択（入力）してください。

＜項目選択画面＞

入力 ⇩ ⇧ 一覧

＜項目入力画面＞



テンキーでの操作

切替	:項目４入力画面へ
シフト＋6	:戻る
シフト＋7	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最上段に移動 １画面､上にｽｸﾛｰﾙ＊
シフト＋8	:ｶﾗｰﾊﾞｰを１段上に移動 １ﾃﾞｰﾀ分､上にｽｸﾛｰﾙ＊
シフト＋2	:ｶﾗｰﾊﾞｰを１段下に移動 １ﾃﾞｰﾀ分､下にｽｸﾛｰﾙ＊
シフト＋0	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最下段に移動 １画面､下にｽｸﾛｰﾙ＊
↵	:ｶﾗｰﾊﾞｰのﾃﾞｰﾀを確定
計量	:強制計量開始

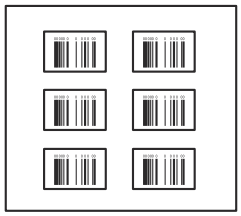
＊：１秒間長押しで高速スクロール

テンキーでの操作

切替	:項目４選択画面へ
シフト＋6	:戻る
0～9	:数値入力
C	:ｸﾘｱ
↵	:入力確定
計量	:強制計量開始

ハンディスキャナでの操作

コードをスキャンしてください。



1回目の計量と伝票発行

登録 を押してください。

(スリッププリンタを使用している場合は、先印字に設定している項目と開始重量を印字します。)

登録 を押す前に伝票をセットしてください。

＜メイン画面＞

※ 1回目の計量時に総重量を印字する場合は、総重量 を押してください。
空車重量を印字する場合は、
空車重量 を押してください。
(スリッププリンタを使用している場合に限ります。)

テンキーでの操作

登録	:重量値を登録します
C	:重量値を総重量として登録します(ﾒｲﾝ画面のみ) ｸﾘｱ(数値入力中のみ)
印刷	:重量値を空車重量として登録します(ﾒｲﾝ画面のみ)
ゼロ	:ﾃﾞｼﾞﾀﾙｾﾞﾛ
切替	:ﾒｲﾝ画面と補正値表示画面の切替
計量	:強制計量開始
シフト + 9	:風袋入力画面へ
シフト + 8	:ｶｰｿﾙﾏｰｸの移動(上)
シフト + 2	:ｶｰｿﾙﾏｰｸの移動(下)
0 ～ 9	:数値入力
シフト + 6	:元の値に戻す (伝票番号入力中のみ)
↵	:入力確定

ポイント

登録 を押した場合、計測した値は、総重量、空車重量にかかわらず、一時的に空車重量値として登録されます。

総重量 を押した場合は、計測した値は総重量値として登録されます。

空車重量 を押した場合は、計測した値は空車重量値として登録されます。

開始重量は1回目計量時のみにしか印字できません。また、開始重量の再印字も行なうことができません。

降車

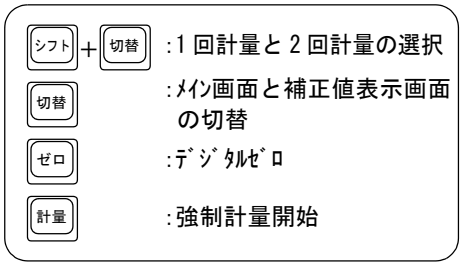
降車可 が点灯したら、降車してください。

計量待ち

重量表示部の重量が、ゼロ付近設定値以下になると 計量可 が点灯します。

＜メイン画面＞

テンキーでの操作



車番選択（車番入力、滞留車特定）

トラック重量値がゼロ付近設定値を越えると 計量中 が点灯します。
滞留車の車番を選択、入力、もしくは滞留車の特定をしてください。
（前回の計量時に使用した画面が先に表示されます。）

＜車番選択画面＞

切替

＜滞留車特定画面＞

切替

＜車番入力画面＞

切替

テンキーでの操作

切替	:滞留車特定画面へ
シフト + 5	:中止
シフト + 7	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最上段に移動 1 画面､上にｽｸﾛｰﾙ*
シフト + 8	:ｶﾗｰﾊﾞｰを 1 段上に移動 1 ﾃﾞｰﾀ分､上にｽｸﾛｰﾙ*
シフト + 2	:ｶﾗｰﾊﾞｰを 1 段下に移動 1 ﾃﾞｰﾀ分､下にｽｸﾛｰﾙ*
シフト + 0	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最下段に移動 1 画面､下にｽｸﾛｰﾙ*
↵	:ｶﾗｰﾊﾞｰのﾃﾞｰﾀを確定
計量	:強制計量開始

＊：1 秒間長押しで高速スクロール

テンキーでの操作

切替	:車番入力画面へ
シフト + 5	:中止
シフト + 7	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最上段に移動 1 画面､上にｽｸﾛｰﾙ*
シフト + 8	:ｶﾗｰﾊﾞｰを 1 段上に移動 1 ﾃﾞｰﾀ分､上にｽｸﾛｰﾙ*
シフト + 2	:ｶﾗｰﾊﾞｰを 1 段下に移動 1 ﾃﾞｰﾀ分､下にｽｸﾛｰﾙ*
シフト + 0	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最下段に移動 1 画面､下にｽｸﾛｰﾙ*
↵	:ｶﾗｰﾊﾞｰのﾃﾞｰﾀを確定
計量	:強制計量開始

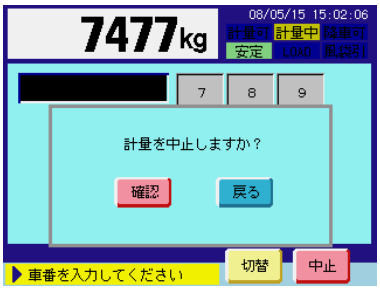
＊：1 秒間長押しで高速スクロール

テンキーでの操作

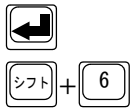
切替	:車番選択画面へ
シフト + 5	:中止
0 ～ 9	:数値入力
C	:1 文字ｸﾘｱ
C	:全文字ｸﾘｱ(1 秒間長押し)
↵	:入力確定
計量	:強制計量開始

計量を中止する場合は 中止 を押してください。計量中止確認画面が表示されます。
確認 を押すと計量を中止し 計量可 が点灯します。

＜中止画面＞

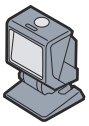


テンキーでの操作



バーコードリーダでの操作

コードをスキャンしてください。



項目設定で「登録必」または「全て必」を選択した場合、未入力の項目があると項目選択（入力）画面を表示します。
この場合は、未入力項目を選択（入力）してください。

2回目の計量と伝票発行

滞留車の車番を選択、入力または特定すると、トラックデータと仮の計量結果が表示されます。

印刷 を押してください。

印刷 を押し 安定 が点灯すると、正味重量が表示されます。

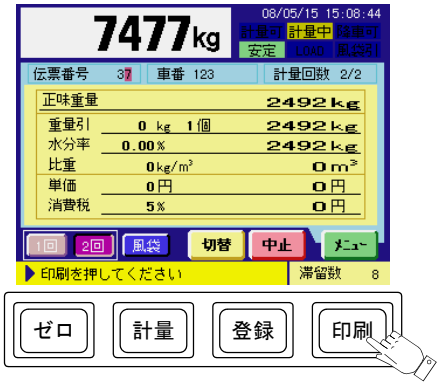
同時に、計量結果表示部に表示しているデータを印字します。

印刷 を押す前に伝票をセットしてください。

＜メイン画面＞

切替 ⇕ 切替

＜補正値表示画面＞



テンキーでの操作

印刷	:伝票印字
ゼロ	:ﾃﾞｼﾞﾀﾙｾﾞﾛ
切替	:ﾒｲﾝ画面と補正値表示画面の切替
計量	:強制計量開始
シフト＋9	:風袋入力画面へ
シフト＋8	:ｶｰｿﾙﾏｰｸの移動（上）
シフト＋2	:ｶｰｿﾙﾏｰｸの移動（下）
0～9	:数値入力
C	:ｸﾘｱ（数値入力中のみ）
シフト＋6	:元の値に戻す（伝票番号入力中のみ）
↵	:入力確定

ポイント

1回目と2回目の計量の差が正味重量となります。1回目の計量時に 登録 を押した場合、重量値が大きい方を総重量、小さい方を空車重量と自動で認識し、正味重量を算出します。

降車

降車可の表示がでたら、トラックを秤からおろします。

計量終了

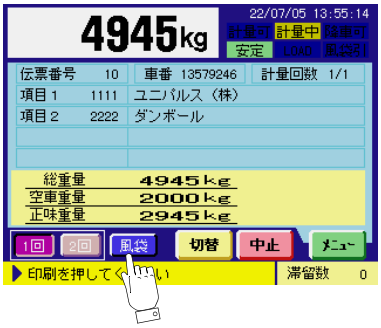
重量表示部の重量が、ゼロ付近設定値以下になると 計量可 が点灯します。

11 風袋引き/補正値入力/伝票番号の変更/滞留車編集/計量記録の自動消去/ｺﾝﾄﾛｰﾙ信号/ｵｰﾊﾞｰｽｹｰﾙ・ｴﾗｰ表示/ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ

11-1. 風袋引き

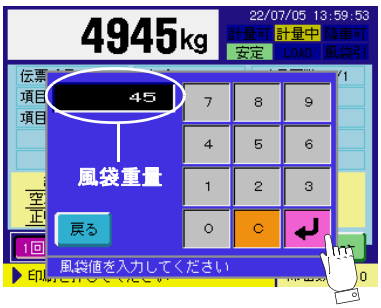
重量表示部の重量から、設定した風袋量を引きます。
計量後のみ設定が可能で、降車後に風袋重量は自動的にクリアされます。

1. 風袋 ボタンを押します。



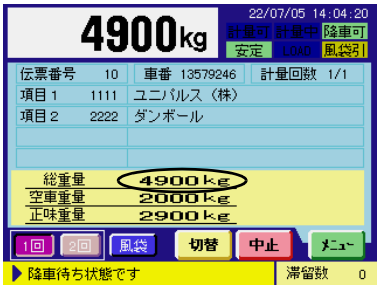
2. 風袋入力画面が表示されます。

3. 風袋重量を入力して ↵ を押します。

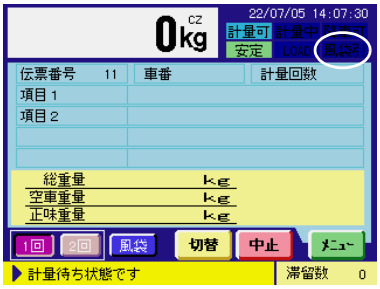


4. 風袋引きが行われ 風袋引 が点灯します。

5. 印刷 を押すと、計量結果に反映します。



6. 計量待ちの状態になると、風袋重量はクリアされます。



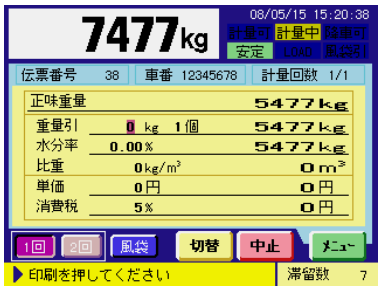
ポイント

風袋重量値は最小目盛単位で四捨五入します。

11-2. 補正値入力

「例：重量引き重量値を0kgから12kgへ変更」

1. 入力する補正値の表示位置にカーソルマークを移動します。

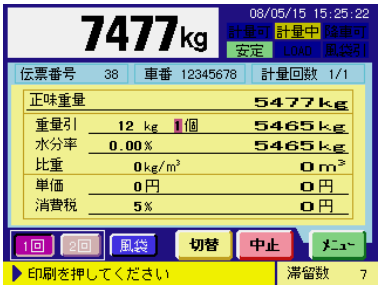


テンキーでの操作

切替	:ﾒｲﾝ画面へ
シフト + 8	:ｶｰｿﾙﾏｰｸの移動（上）
シフト + 2	:ｶｰｿﾙﾏｰｸの移動（下）
0 ～ 9	:数値入力
C	:ｸﾘｱ（数値入力中のみ）
↵	:入力確定

2. 補正値を入力して[↵]を押します。

3. 入力した補正値を確定し、補正正味重量（金額）を表示します。
カーソルマークは次の項目へ移動します。



ポイント

重量値は最小目盛単位で四捨五入します。

11-3. 伝票番号の変更

以下手順にて、伝票番号を変更することができます。
変更後は、計量を行なうたび、伝票番号を昇順に自動採番します。

1. 伝票番号表示位置にカーソルマークを移動します。

※電源立ち上げ時以外は、計量待ち状態でカーソルマークは点滅していません。
伝票番号を変更する場合は、数値キーを押すとカーソルマークが点滅します。

2. 数値キーにより伝票番号を入力して[↵]を押します。

※伝票番号は[↵]を押す前に[シフト]＋[6]を押すことで変更前の番号に戻ります。

ポイント

すでに計量記録と滞留車に登録済みの伝票番号を使用することができません。ただし、登録日が異なる場合には、同じ伝票番号であっても登録することができます。

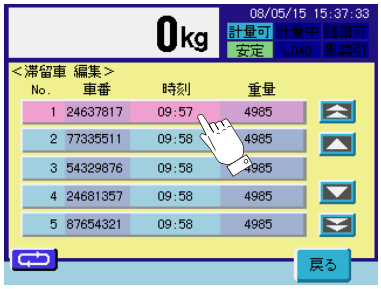
11-4. メイン画面からの滞留車編集

メイン画面から滞留車数の確認および滞留車のデータを変更・削除することができます。

● 編集

1. テンキーの[シフト]を押しながら[登録]を押します。

2. 編集する滞留車を押します。

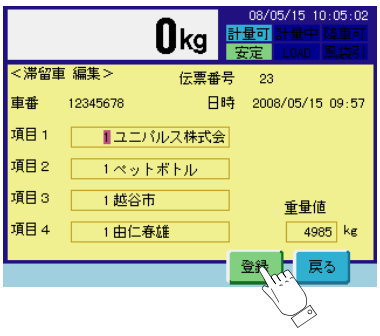


テンキーでの操作

[シフト]+[切替]	:滞留車削除一覧画面へ
[シフト]+[6]	:戻る
[シフト]+[7]	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最上段に移動 1画面、上にｽｸﾛｰﾙ*
[シフト]+[8]	:ｶﾗｰﾊﾞｰを1段上に移動 1ﾃﾞｰﾀ分、上にｽｸﾛｰﾙ*
[シフト]+[2]	:ｶﾗｰﾊﾞｰを1段下に移動 1ﾃﾞｰﾀ分、下にｽｸﾛｰﾙ*
[シフト]+[0]	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最下段に移動 1画面、下にｽｸﾛｰﾙ*
[↵]	:ｶﾗｰﾊﾞｰのﾃﾞｰﾀの編集画面へ

＊：1秒間長押しで高速スクロール

3. 編集して 登録 を押します。



● 削除

1. テンキーの[シフト]を押しながら[登録]を押します。

2. を押します。

3. 削除する滞留車を押します。

テンキーでの操作

1	:全ﾃﾞｰﾀ選択
2	:ｷｬﾝｾﾙ
3	:選択中ﾃﾞｰﾀ削除
シフト + 切替	:滞留車編集一覧画面へ
シフト + 6	:戻る
シフト + 7	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最上段に移動 1画面、上にｽｸﾛｰﾙ*
シフト + 8	:ｶﾗｰﾊﾞｰを1段上に移動 1ﾃﾞｰﾀ分、上にｽｸﾛｰﾙ*
シフト + 2	:ｶﾗｰﾊﾞｰを1段下に移動 1ﾃﾞｰﾀ分、下にｽｸﾛｰﾙ*
シフト + 0	:ｶﾗｰﾊﾞｰを最下段に移動 1画面、下にｽｸﾛｰﾙ*
↵	:ｶﾗｰﾊﾞｰのﾃﾞｰﾀを選択 (選択中ﾃﾞｰﾀは選択をｷｬﾝｾﾙ)

＊：1秒間長押しで高速スクロール

4. 削除 を押します。

ポイント

編集印刷選択（システム2）が禁止に設定されている場合は、編集、削除画面へ遷移しません。

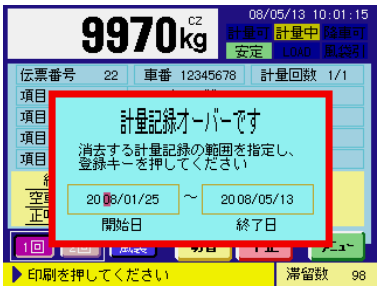
11-5. 計量記録の自動消去

計量記録の保存件数が最大件数に達した状態で、新たな伝票発行を行なった場合、指定範囲の計量記録を消去するガイダンスを表示します。
消去する計量記録の範囲を指定し、計量記録を消去してください。

1. テンキーで開始日を入力して[↵]を押します。

   ※表示直後は、開始日に伝票一覧の最下段にある計量記録の日付、終了日に操作時の日付を表示します。

＜伝票自動消去画面＞

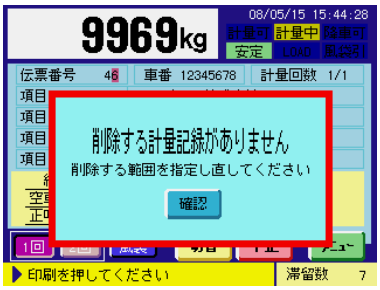


2. 開始日を確定し、カーソルマークが終了日に移動します。
   終了日を入力して[↵]を押し、終了日を確定します。

3. [登録]を押すと指定した日付範囲の計量記録を消去し、新たに発行した伝票のデータを保存します。

   ※計量記録を消去すると、再び計量記録が最大件数に到達するまで伝票自動消去画面の表示はありません。

※伝票自動消去画面で指定した範囲内に計量記録が存在せず計量記録が消去できなかった場合、右記のガイダンスを表示します。
確認 を押すと伝票自動消去画面が再度表示されます。
計量記録が存在する日付を指定し直してください。
このガイダンスは伝票自動消去画面で消去する計量記録が存在する範囲を指定するまで、繰り返し表示されます。



11-6.コントロール信号

■外部入力信号

● D/Z

ONエッジ（OFF→ON）で、重量表示部の重量値をただちにゼロにします。但し、重量値が安定していない場合はゼロになりません。また、印字や登録処理中、異常メッセージ表示中などは無効です。重量値がDZ規制値を超えいている状態で、この操作を行なった場合は、DZ異常時の方式の設定に応じて処理を行ないます。

・DZ異常時の方式 = ″強制処理″の場合
DZ規制値分だけ重量値を減少させ、ZALM（ゼロアラーム）を点灯させます。

・DZ異常時の方式 = ″未処理″の場合
処理を行ないません。
F890A本体やテンキーのゼロを押しても同様の動作を行ないます。

● 登録

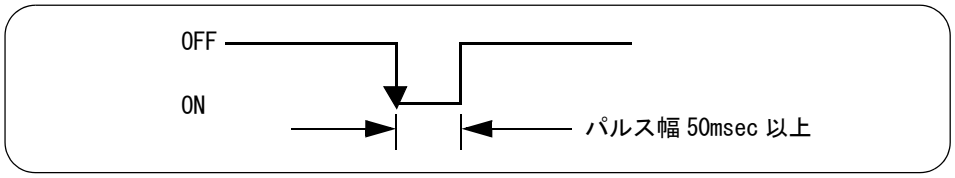
ONエッジ（OFF→ON）で、計量値を空車重量として取り込みます。
ただし、未登録車の1回計量・2回計量の1回目の計量の時で登録可能な状態のときに有効です。

● 印刷

ONエッジ（OFF→ON）で印字を開始します。
但し、印字可能な状態のときに限ります。
F890A本体やテンキーの“印刷”を押下しても同様の動作を行ないます。

● 計量

ONエッジ（OFF→ON）で、計量を開始します。



■外部出力信号

● 計量可

計量待ちの時にONします。

● 計量中

計量中にONします。

● 降車可

計量が終了し、トラックが降車できる状態の時にONします。

● 安定

重量値が安定している時にONします。

● LOAD

秤量オーバー（LOAD、-LOAD）の時にONします。

● 重量異常（出力選択での選択時）

重量に関する異常（LOAD, -LOAD, OFL2, -OFL2, OFL3, ZALM）の時にONします。

● 計量ブザー（出力選択での選択時）

[重量値≦ゼロ付近設定値]の状態から、[重量値＞ゼロ付近設定値]の状態に遷移したときに、計量開始ブザー設定値で指定された時間だけONになります。また、タッチパネル、テンキー、キーシートのいずれかを操作した場合にはOFFになります。

● NZ（ゼロ付近）（出力選択での選択時）

[重量値≦ゼロ付近設定値]のときON、[重量値＞ゼロ付近設定値]のときOFFになります。

● 積載オーバー（出力選択での選択時）

最大積載量を超えている場合、表示画面上のエラーメッセージに同期してONします。

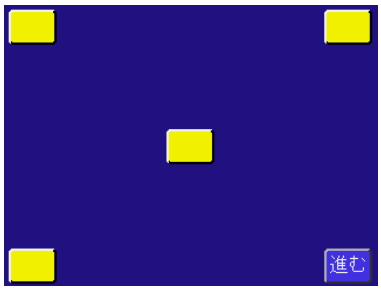
11-7. セルフチェック

操作

計量操作キーの [印刷] を押しながら電源を投入します。

11-8. タッチパネル

青い四角を押すと色が黄色になります。押した箇所が正しく反応するか確認してください。
「進む」を押すと、メモリーチェック画面に移ります。



11-9.メモリーチェック/較正ポイント確認

「テスト」を押すと、NOV.RAMチェックとROMSUMチェックを開始します。
但し、リアパネルのLOCKスイッチがONの場合は、NOV.RAMチェックを行ないません。
正常時はPASS、異常時はNGが表示されます。
「進む」を押すと、ディスプレイチェック画面に移ります。
「戻る」を押すと、タッチパネルチェック画面に移ります。

■メモリーチェック

■較正ポイント確認

リニアライズ較正とスパン較正の状態を確認することができます。

11-10.入出力チェック/印字テスト/メモリーカードチェック

キーシート

フロントパネルの計量操作キーを押します。
押すと、キーに対応した表示に変わります。

LOCKスイッチ

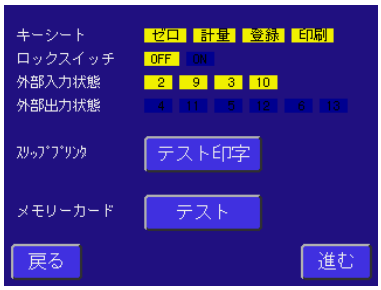
リアパネルのLOCKスイッチを切替えます。
切替えた状態の色が黄色に変わります。

外部入力状態

外部入出力信号をチェックします。
外部入出力コネクタから信号が入力されると、入力したPinNoの色が黄色に変わります。

外部出力状態

外部入出力コネクタの出力ピンに信号を出力します。
4Pin → 11Pin → 5Pin → 12Pin → 6Pin → 13Pin → 全Pinの順に出力します。



■印字テスト

プリンタ

「テスト印字」を押すと、プリンタにテスト印字を行ないます。

■メモリーカードチェック

メモリーカード

「テスト」を押すと、メモリーカードのテストを行ないます。
メモリーカードに何らかの問題があると、”＊＊＊NG＊＊＊”とエラー番号が表示されます。

エラー番号	エラー内容	対処方法
01	カードが挿入されていません	カードが正しく挿入されているか確認してください
02	F890Aに対応していません	F890Aに付属のカードを使用してください
03	フォーマットされていません	カードをフォーマットしてください*1
11	カード容量がいっぱいです	不要なファイルを削除してください
20	ディレクトリに空きがありません	不要なファイルを削除してください
24	テスト用ファイルが既に存在します	TSTCARD.DATを削除してください

*1　F890A ではコンパクトフラッシュカードのフォーマットが出来ませんので、可能な機器でフォーマットを実行してください。

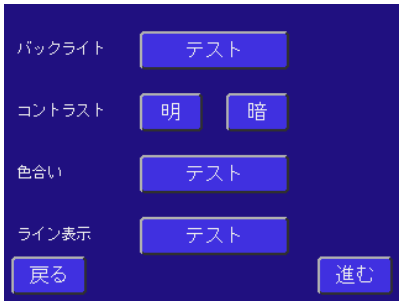
「進む」を押すと、ディスプレイチェック画面に移ります。
「戻る」を押すと、メモリーチェック画面に移ります。

ポイント

テスト中にカードを抜かないでください。
テスト用ファイル（TSTCARD.DAT）が削除されず、次回メモリーカードテストを実行したときにエラー 24が発生する可能性があります。

11-11.ディスプレイチェック

各ボタンを押すとバックライト、コントラスト、色合い、ライン表示のチェックを開始します。



バックライト

「テスト」を押すとバックライトが2秒間消灯します。

コントラスト

「明」を押すとディスプレイが明るくなり、「暗」を押すとディスプレイが暗くなります。

色合い

2秒間隔で、白 → 黒 → 赤 → 緑 → 青の順で画面の色が変わります。

ライン表示

2秒間隔で、横縞 → 縦縞の順で表示します。
「進む」を押すと、オプションチェック画面に移ります。
「戻る」を押すと、入出力チェック画面に移ります。

11-12.オプションチェック

テンキー

テンキーを押します。
押した箇所が黄色に変わります。

バーコードリーダ

バーコードリーダに、CODE39またはCODE128のバーコードを読込ませると、バーコードの種類と内容を表示します。

ハンディスキャナ

ハンディスキャナーに、CODE39またはCODE128のバーコードを読込ませると、バーコードの種類と内容を表示します。

PC接続、RS-485

ホストから RAコマンドを送信してください。
F890Aでは受信したコマンドを表示するとともに、ホストに対して現在の重量データを返信します。

ポイント

セルフチェックでは、F890Aは以下通信設定にて固定しています。
バーコードリーダ、ハンディスキャナ、ホスト（パソコン等）は同じ状態にしてください。

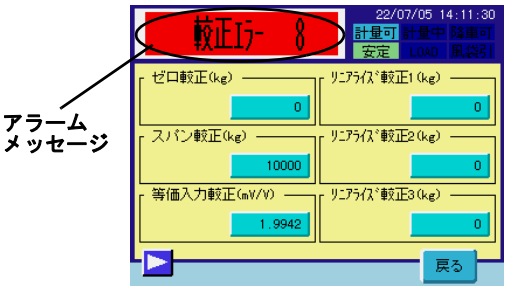
※ただし、バーコードリーダ、ハンディスキャナについては、弊社にて調整を行なっていますので設定変更は不要です。

	バーコードリーダ ハンディスキャナ	PC接続、RS-485
ボーレート	19200 bps	38400 bps
キャラクタ長	8 bit	8 bit
パリティビット	奇数	なし
ストップビット	1 bit	1 bit

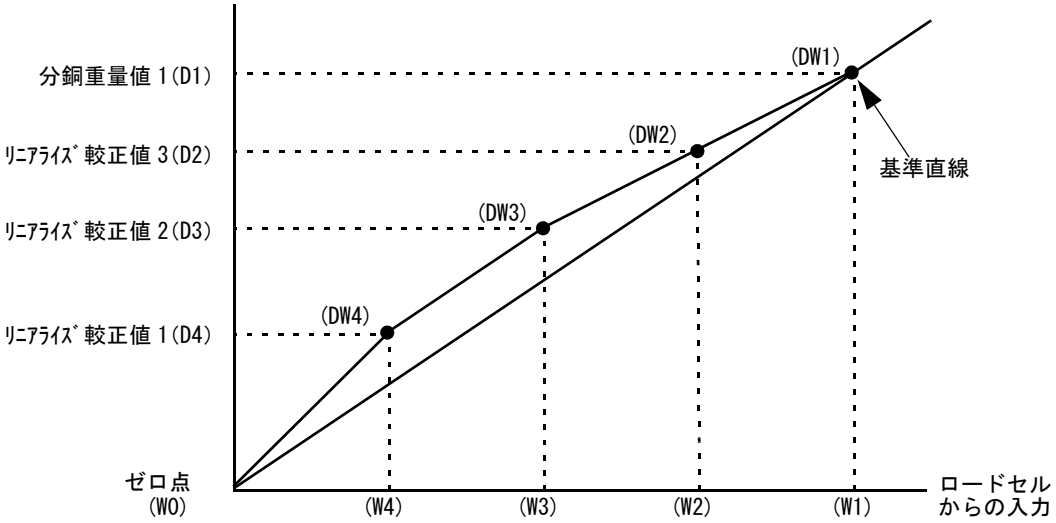
11-13.オーバースケール・エラー表示

■較正エラー表示

較正エラーの場合、左上重量表示部にアラームメッセージを表示します。

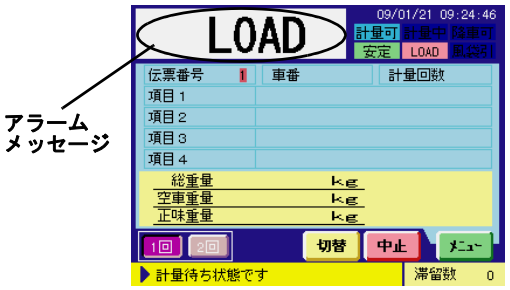


エラー内容	アラームメッセージ
初期風袋消去量がゼロ調整範囲を超えている	較正エラー 2
初期風袋消去量がマイナス（負）側に出ている	較正エラー 3
分銅重量値＞最大秤量値　になっている	較正エラー 4
分銅重量値＝ 0　の設定になっている	較正エラー 5
ロードセル（秤）の出力がスパン調整範囲に達していない	較正エラー 6
ロードセル（秤）の出力がマイナス（負）側に出ている	較正エラー 7
ロードセル（秤）の出力がスパン調整範囲を超えている	較正エラー 8
重量値が安定していないため、較正を中断	較正エラー 9
リニアライズ較正 3 実行時に、D2 ≧ D1 または W2 ≧ W1	較正エラー 11
リニアライズ較正 3 実行時に、D2 ≦ D3, D4 または W2 ≦ W3, W4, W0	較正エラー 12
リニアライズ較正 2 実行時に、D3 ≧ D2, D1 または W3 ≧ W2, W1	較正エラー 13
リニアライズ較正 2 実行時に、D3 ≦ D4 または W3 ≦ W4, W0	較正エラー 14
リニアライズ較正 1 実行時に、D4 ≧ D3, D2, D1 または W4 ≧ W3, W2, W1	較正エラー 15
リニアライズ較正 1 実行時に、D4 ＝ 0 または W4 ≦ W0	較正エラー 16
リニアライズ較正 3 実行時に、基準直線からのずれが +2%を超えている	較正エラー 21
リニアライズ較正 3 実行時に、基準直線からのずれが -2%を下回っている	較正エラー 22
リニアライズ較正 2 実行時に、基準直線からのずれが +2%を超えている	較正エラー 23
リニアライズ較正 2 実行時に、基準直線からのずれが -2%を下回っている	較正エラー 24
リニアライズ較正 1 実行時に、基準直線からのずれが +2%を超えている	較正エラー 25
リニアライズ較正 1 実行時に、基準直線からのずれが -2%を下回っている	較正エラー 26
スパン補正実行時に、基準直線からのずれが +2%を超えている	較正エラー 27
スパン補正実行時に、基準直線からのずれが -2%を下回っている	較正エラー 28



■オーバースケール表示

オーバースケールの場合、左上重量表示部にアラームメッセージを表示します。



ポイント

オーバースケールを表示した場合、計量操作を続けることができません。
状態を改善し、再度計量を行なってください。

エラー内容	アラームメッセージ
A/D 変換入力オーバー	LOAD
総重量＞最大秤量値 +9 目盛	OFL2
総重量＜ -20 目盛	-OFL2
総重量＞総重量オーバー	OFL3

お願い

最大秤量値はF890Aを計量器として使用するための基本的な値です。最大秤量値を変更したときには、必ず較正をやり直さなければなりません。
不用意に最大秤量値を変更しないようご注意ください。

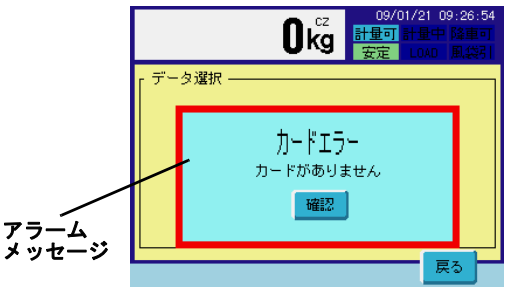
■エラー表示の優先順位

重量表示に関するエラーが同時に複数発生した場合には、次の順位で表示します。

優先順位	エラー・オーバースケール
1	較正エラー
2	-LOAD
3	LOAD
4	OFL2、-OFL2
5	OFL3

■シーケンスエラー表示

計量シーケンス中、あるいは、その他動作シーケンス中に下記表に関する異常を発生した場合、ポップアップ画面にてアラームメッセージを表示します。



エラー内容	アラームメッセージ
LOAD 表示のとき	重量異常のため、計量を中止します
最大積載量を超えているとき	最大積載量を超えています
滞留車データが最大登録件数を超えているとき	滞留車データオーバーです
計量記録が最大登録件数を超えているとき	計量記録オーバーです
プリンタが異常のとき	プリンタ異常
用紙の入れ直しをプリンタが要求	用紙を入れ直してください
プリンタの用紙検知エラー	奥のストッパーにあたるまで用紙を挿入してください
正常にカードアクセスできないとき	カードエラー

11-14.PASSWORD

パスワードの入力により、デジタルゼロクリア、イニシャライズが可能になります。

■デジタルゼロクリア

操作

メニュー → ▶ → ユーザーパスワード-1 入力 → パスワード入力(1111)

出荷時、パスワードは“0000”となっていますので、ユーザーパスワード-1は“9999”になります。

■イニシャライズ

● オールRAMクリア

設定値すべてを工場出荷時の値に書き換えます。較正値（ゼロ較正、スパン較正、リニアライズ較正、スパン補正）はクリアされません。
また、登録データ（車番、項目、補正値）と計量記録を全てクリアします。

操作

メニュー → ▶ → ユーザーパスワード-1 入力 → パスワード入力(2253)

● SRAMクリア

登録データ（車番、項目、補正値）と計量記録を全てクリアします。また、SRAMに登録されている設定値を工場出荷時の値に書き換えます。較正値（ゼロ較正、スパン較正、リニアライズ較正、スパン補正）とNOV.RAMに記録されている設定値はクリアされません。

操作

メニュー → ▶ → ユーザーパスワード-1 入力 → パスワード入力(6842)

ポイント

設定の初期値と設定値の記憶に関しては、P131 「設定値一覧表」を参照してください。
ユーザーパスワードの設定方法についてはP51 「パスワード登録」を参照してください。

12付録

12-1.設定値一覧表

■計量法対応

No	設定項目	初期値	設定範囲	記憶		LOCK SW
				Nov.RAM	SRAM	
1	計量法対応設定	ON	1：OFF 0：ON	◎		◎

■項目設定

No	設定項目		初期値	設定範囲	記憶		LOCK SW
					Nov.RAM	SRAM	
1	名称変更	車番	4バイト（ANK、漢字） 全角2文字		◎		
2		項目1	8バイト（ANK、漢字） 全角4文字		◎		
3		項目2	8バイト（ANK、漢字） 全角4文字		◎		
4		項目3	8バイト（ANK、漢字） 全角4文字		◎		
5		項目4	8バイト（ANK、漢字） 全角4文字		◎		
6	使用条件	項目1	全て許可	4：全て必須 3：登録必須 2：全て許可 1：登録値のみ 0：項目未使用	◎		
7		項目2	全て許可	4：全て必須 3：登録必須 2：全て許可 1：登録値のみ 0：項目未使用	◎		
8		項目3	項目未使用	4：全て必須 3：登録必須 2：全て許可 1：登録値のみ 0：項目未使用	◎		
9		項目4	項目未使用	4：全て必須 3：登録必須 2：全て許可 1：登録値のみ 0：項目未使用	◎		

■補正値設定

● 水分率

No	設定項目		初期値	設定範囲	記憶		LOCK SW
					Nov.RAM	SRAM	
1	使用 / 未使用		未使用	1：使用 0：未使用	◎		
2	テーブル項目 使用 / 未使用	車番	未使用	1：使用 0：未使用	◎		
3		項目 1	未使用	1：使用 0：未使用	◎		
4		項目 2	未使用	1：使用 0：未使用	◎		
5		項目 3	未使用	1：使用 0：未使用	◎		
6		項目 4	未使用	1：使用 0：未使用	◎		
7	自動水分補正		0	0 ～ 99999	◎		
8	演算のまるめ		四捨五入	2：切り上げ 1：切り捨て 0：四捨五入	◎		

● 比重

No	設定項目		初期値	設定範囲	記憶		LOCK SW
					Nov.RAM	SRAM	
1	使用 / 未使用		未使用	1：使用 0：未使用	◎		
2	テーブル項目 使用 / 未使用	車番	未使用	1：使用 0：未使用	◎		
3		項目 1	未使用	1：使用 0：未使用	◎		
4		項目 2	未使用	1：使用 0：未使用	◎		
5		項目 3	未使用	1：使用 0：未使用	◎		
6		項目 4	未使用	1：使用 0：未使用	◎		
7	小数点位置		なし	2：0.00 1：0.0 0：なし	◎		
8	演算まるめ		四捨五入	2：切り上げ 1：切り捨て 0：四捨五入	◎		

● 重量引き

No	設定項目	初期値	設定範囲	記憶		LOCK SW
				Nov.RAM	SRAM	
1	使用 / 未使用	未使用	1：使用 0：未使用	◎		

● 風袋引き

No	設定項目	初期値	設定範囲	記憶		LOCK SW
				Nov.RAM	SRAM	
1	－－－－－　※1	－－－－－	－－－－－	◎		
	使用 / 未使用	未使用	1：使用 0：未使用			

※1： 計量法対応設定の状態により入力範囲が異なります。
上段：計量法対応設定ON時、下段：計量法対応設定OFF時。
－－－－－は設定が無効となり、変更できないことを示します。

● 単価

No	設定項目		初期値	設定範囲	記憶		LOCK SW
					Nov.RAM	SRAM	
1	使用 / 未使用		未使用	2：体積 1：重量 0：未使用	◎		
2	テーブル項目 使用 / 未使用	車番	未使用	1：使用 0：未使用	◎		
3		項目 1	未使用	1：使用 0：未使用	◎		
4		項目 2	未使用	1：使用 0：未使用	◎		
5		項目 3	未使用	1：使用 0：未使用	◎		
6		項目 4	未使用	1：使用 0：未使用	◎		

● 消費税

No	設定項目	初期値	設定範囲	記憶		LOCK SW
				Nov.RAM	SRAM	
1	使用 / 未使用	未使用	1：使用 0：未使用	◎		
2	消費税率	5%	1 ～ 99%	◎		

■印字設定（M891, M893）

No	設定項目	初期値	設定範囲	記憶		LOCK SW
				Nov.RAM	SRAM	
1	用紙排出方向	逆方向	1：逆方向 0：順方向	◎		
2	文字サイズ	等倍	3：縦倍マーク 2：等倍マーク 1：縦倍 0：等倍	◎		
3	伝票余白 (1/60 インチ × 設定値)	47（M891） 61（M893）	0 ～ 255	◎		
4	基本フォーマット読出し	指令				
5	印字位置登録	指令				
6	テスト印字	指令				
7	印字位置	別表参照	別表参照	◎		
8	先印字 / 後印字	別表参照	別表参照	◎		

● 印字設定

No	名称	初期値	設定範囲
1	年月日 20 マーク	無効	1: 有効, 0 : 無効
2	年月日	(0,0)	(0 ～ **, 0 ～ 18)
3	時刻	(0,0)	(0 ～ **, 0 ～ 18)
4	伝票番号 No. マーク	無効	1: 有効, 0 : 無効
5	伝票番号	(0,0)	(0 ～ **, 0 ～ 18)
6	車番	(0,0)	(0 ～ **, 0 ～ 18)
7	項目 1- コード	(0,0)	(0 ～ **, 0 ～ 18)
8	項目 1- 名称	(0,0)	(0 ～ **, 0 ～ 18)
9	項目 2- コード	(0,0)	(0 ～ **, 0 ～ 18)
10	項目 2- 名称	(0,0)	(0 ～ **, 0 ～ 18)
11	項目 3- コード	(0,0)	(0 ～ **, 0 ～ 18)
12	項目 3- 名称	(0,0)	(0 ～ **, 0 ～ 18)
13	項目 4- コード	(0,0)	(0 ～ **, 0 ～ 18)
14	項目 4- 名称	(0,0)	(0 ～ **, 0 ～ 18)
15	総重量計測時刻	(0,0)	(0 ～ **, 0 ～ 18)
16	総重量	(0,0)	(0 ～ **, 0 ～ 18)
17	空車重量計測時刻	(0,0)	(0 ～ **, 0 ～ 18)
18	空車重量	(0,0)	(0 ～ **, 0 ～ 18)
19	正味重量	(0,0)	(0 ～ **, 0 ～ 18)
20	重量引き重量	(0,0)	(0 ～ **, 0 ～ 18)
21	個数	(0,0)	(0 ～ **, 0 ～ 18)
22	重量補正正味重量	(0,0)	(0 ～ **, 0 ～ 18)
23	水分率	(0,0)	(0 ～ **, 0 ～ 18)
24	水分引き補正正味重量	(0,0)	(0 ～ **, 0 ～ 18)
25	比重	(0,0)	(0 ～ **, 0 ～ 18)
26	体積	(0,0)	(0 ～ **, 0 ～ 18)
27	単価	(0,0)	(0 ～ **, 0 ～ 18)
28	金額	(0,0)	(0 ～ **, 0 ～ 18)
29	消費税	(0,0)	(0 ～ **, 0 ～ 18)
30	合計金額	(0,0)	(0 ～ **, 0 ～ 18)
31	開始重量計測時刻	(0,0)	(0 ～ **, 0 ～ 18)
32	開始重量計測時刻マーク	無効	1: 有効, 0 : 無効
33	開始重量	(0,0)	(0 ～ **, 0 ～ 18)
34	開始重量マーク	無効	1: 有効, 0 : 無効

** は使用するプリンタにより異なります。
M891 : 23
M893 : 30

● 先印字/後印字

No	名称	初期値	設定範囲
1	年月日	後印字	1 : 後印字 0 : 先印字
2	伝票番号	後印字	1 : 後印字 0 : 先印字
3	車番	後印字	1 : 後印字 0 : 先印字
4	項目 1	後印字	1 : 後印字 0 : 先印字
5	項目 2	後印字	1 : 後印字 0 : 先印字
6	項目 3	後印字	1 : 後印字 0 : 先印字
7	項目 4	後印字	1 : 後印字 0 : 先印字

■印字設定（M892）

No	名称	初期値	設定範囲	備考
1	用紙の長さ	5.0 インチ	3：5.5 インチ 2：5.0 インチ 1：4.5 インチ 0：4.0 インチ	・用紙幅は 3.5 インチ固定 ・用紙幅 3 インチの紙は使用不可能 ・6 インチの紙は、用紙ホルダに収納不可
2	文字サイズ	等倍	3：縦倍マーク 2：等倍マーク 1：縦倍 0：等倍	等倍：2.78*2.95㎜
3	伝票余白 (1/72 インチ＊設定値)	42	0 ～ 127	約 13㎜ + n/72 インチ
4	基本フォーマット 読出し	指令		基本 1、基本 2、ユーザーから選択
5	印字位置登録	指令		ユーザーに登録
6	テスト印字	指令		
7	印字位置	別表参照	別表参照	・座標範囲は、x：1 ～ 22, y：1 ～ 13

● 印字位置

No	名称	初期値	設定範囲
1	年月日 20 マーク	無効	1: 有効, 0: 無効
2	年月日	(0,0)	(0 ～ 23, 0 ～ **)
3	時刻	(0,0)	(0 ～ 23, 0 ～ **)
4	伝票番号 No. マーク	無効	1: 有効, 0: 無効
5	伝票番号	(0,0)	(0 ～ 23, 0 ～ **)
6	車番	(0,0)	(0 ～ 23, 0 ～ **)
7	項目 1- コード	(0,0)	(0 ～ 23, 0 ～ **)
8	項目 1- 名称	(0,0)	(0 ～ 23, 0 ～ **)
9	項目 2- コード	(0,0)	(0 ～ 23, 0 ～ **)
10	項目 2- 名称	(0,0)	(0 ～ 23, 0 ～ **)
11	項目 3- コード	(0,0)	(0 ～ 23, 0 ～ **)
12	項目 3- 名称	(0,0)	(0 ～ 23, 0 ～ **)
13	項目 4- コード	(0,0)	(0 ～ 23, 0 ～ **)
14	項目 4- 名称	(0,0)	(0 ～ 23, 0 ～ **)
15	総重量計測時刻	(0,0)	(0 ～ 23, 0 ～ **)
16	総重量	(0,0)	(0 ～ 23, 0 ～ **)
17	空車重量計測時刻	(0,0)	(0 ～ 23, 0 ～ **)
18	空車重量	(0,0)	(0 ～ 23, 0 ～ **)
19	正味重量	(0,0)	(0 ～ 23, 0 ～ **)
20	重量引き重量	(0,0)	(0 ～ 23, 0 ～ **)
21	個数	(0,0)	(0 ～ 23, 0 ～ **)
22	重量補正正味重量	(0,0)	(0 ～ 23, 0 ～ **)
23	水分率	(0,0)	(0 ～ 23, 0 ～ **)
24	水分引き補正正味重量	(0,0)	(0 ～ 23, 0 ～ **)
25	比重	(0,0)	(0 ～ 23, 0 ～ **)
26	体積	(0,0)	(0 ～ 23, 0 ～ **)
27	単価	(0,0)	(0 ～ 23, 0 ～ **)
28	金額	(0,0)	(0 ～ 23, 0 ～ **)
29	消費税	(0,0)	(0 ～ 23, 0 ～ **)
30	合計金額	(0,0)	(0 ～ 23, 0 ～ **)

** は、用紙の長さ設定により異なります。

4.0 インチ：0 ～ 10
4.5 インチ：0 ～ 12
5.0 インチ：0 ～ 13
5.5 インチ：0 ～ 14

■オプション

● バーコードリーダー（組込/据置）

No	設定項目	初期値	設定範囲	記憶		LOCK SW
				Nov.RAM	SRAM	
1	ボーレート	19200bps	4：57600bps 3：38400bps 2：19200bps 1：9600bps 0：4800bps	◎		
2	キャラクタ長	8bit	1：7bit 0：8bit	◎		
3	パリティビット	奇数	2：偶数 1：奇数 0：なし	◎		
4	ストップビット	1bit	1：2bit 0：1bit	◎		

● PC接続

No	設定項目	初期値	設定範囲	記憶		LOCK SW
				Nov.RAM	SRAM	
1	ボーレート	38400bps	4：57600bps 3：38400bps 2：19200bps 1：9600bps 0：4800bps	◎		
2	キャラクタ長	8bit	1：7bit 0：8bit	◎		
3	パリティビット	なし	2：偶数 1：奇数 0：なし	◎		
4	ストップビット	1bit	1：2bit 0：1bit	◎		
5	ターミネータ	CR+LF	1：CR 0：CR+LF	◎		
6	通信モード	コマンド	3：連続 3 2：連続 2 1：連続 1 0：コマンド	◎		

● バーコードリーダー（ハンディスキャナ）

No	設定項目	初期値	設定範囲	記憶		LOCK SW
				Nov.RAM	SRAM	
1	ボーレート	19200bps	4：57600bps 3：38400bps 2：19200bps 1：9600bps 0：4800bps	◎		
2	キャラクタ長	8bit	1：7bit 0：8bit	◎		
3	パリティビット	奇数	2：偶数 1：奇数 0：なし	◎		
4	ストップビット	1bit	1：2bit 0：1bit	◎		

● カレントループ

No	設定項目	初期値	設定範囲	記憶		LOCK SW
				Nov.RAM	SRAM	
1	ボーレート	2400bps	2：2400bps 1：1200bps 0：600bps	◎		
2	キャラクタ長	7bit	1：7bit 0：8bit	◎		
3	パリティビット	偶数	2：偶数 1：奇数 0：なし	◎		
4	ストップビット	1bit	1：2bit 0：1bit	◎		
5	データ指定	トラック重量	3：空車重量 2：正味重量 1：総重量 0：トラック重量	◎		

※トラック重量：重量表示部に表示されている重量

■計量設定

No	設定項目	初期値	設定範囲	記憶		LOCK SW
				Nov.RAM	SRAM	
1	表示回数	5回/秒	1：2.5回/秒 0：5回/秒	◎		
2	デジタルフィルタ	16回	5：32回 4：16回 3：8回 2：4回 1：2回 0：OFF	◎		
3	安定時フィルタ	挿入しない	1：挿入しない 0：挿入する	◎		
4	MD時間 ※1	1.5秒	1.0～9.9秒 0.0～9.9秒	◎		
5	MD幅 ※1	1目盛 2目盛	1 0～99	◎		
6	ZT時間 ※1	0.0秒	0.0、1.0～9.9秒 0.0～9.9秒	◎		
7	ZT幅 ※1	0	00～99 ※2 0～9999	◎		
8	ゼロ付近	100kg	0～99999		◎	
9	DZ規制値 ※1	200kg	最大秤量値の2%以内 0～9999	◎		
10	DZ異常時の方式 ※1	－－－－－ 強制処理	－－－－－ 1：未処理 0：強制処理	◎		
11	自動登録認識	2回計量	1：2回計量 0：1回計量	◎		◎
12	パワーオンゼロ	無効	1：有効 0：無効	◎		
13	自動計量	無効	1：有効 0：無効	◎		
14	出力選択	重量異常	3：積載オーバー 2：NZ 1：計量ブザー 0：重量異常	◎		

※1： 計量法対応設定の状態により入力範囲が異なります。
上段：計量法対応設定ON時、下段：計量法対応設定OFF時。
－－－－－は設定が無効となり、変更できないことを示します。

※2： 最大は最小目盛×2までとします。

■較正

No	設定項目	初期値	設定範囲	記憶 Nov.RAM	記憶 SRAM	LOCK SW
1	ゼロ較正	0kg		◎		◎
2	スパン較正	10000kg	0 ～ 99999	◎		◎
3	等価入力較正 ※1	－－－－－－	－－－－－－	◎		◎
		2.0000mV/V	0.5000 ～ 2.0000mV/V			
4	リニアライズ較正 1	0kg	0 ～ 99999	◎		◎
5	リニアライズ較正 2	0kg	0 ～ 99999	◎		◎
6	リニアライズ較正 3	0kg	0 ～ 99999	◎		◎
7	単位	kg	1：t 0：kg	◎		◎
8	小数点位置	なし	3：0.000 2：0.00 1：0.0 0：なし	◎		◎
9	最大秤量値	10000kg	0 ～ 99999	◎		◎
10	分銅重量値	10000kg	0 ～ 99999	◎		◎
11	最小目盛 ※1	1	1、2、5 単位で 2 桁まで	◎		◎
			1 ～ 100			
12	1/4 目盛 ※1	－－－－－－	－－－－－－	◎		◎
		OFF	1：ON 0：OFF			
13	重量加速度補正 ※1	－－－－－－	－－－－－－	◎		◎
		9.7980m/s^2	9.7000 ～ 9.9999m/s^2			
14	総重量オーバー	99999kg	0 ～ 99999	◎		◎
15	スパン補正	10000kg	0 ～ 99999	◎		◎
16	デュアルレンジ ※1	無効	1：制限 0：無効	◎		◎
			2：有効 1：制限 0：無効			
17	デュアルレンジ境界	5000kg	10 ～ 99999 ※3	◎		◎

※1： 計量法対応設定の状態により入力範囲が異なります。
上段：計量法対応設定ON時、下段：計量法対応設定OFF時。
－－－－－は設定が無効となり、変更できないことを示します。

※3： デュアルレンジ境界/第2目盛≧500としてください。

■システム

No	設定項目	初期値	設定範囲	記憶		LOCK SW
				Nov.RAM	SRAM	
1	コントラスト		「明るい」 「暗い」 を押して調整	◎		
2	バックライト ON	無効	1：有効 0：無効	◎		
3	バックライト点灯時間	0 分	00 ～ 99	◎		
4	計量開始ブザー	0 秒	0 ～ 10	◎		
5	計量記録自動保存（時間）	0 時間	0 ～ 24 時間	◎		
6	計量記録自動保存（方式）	保存＆消去	1：保存＆消去 0：保存	◎		
7	メモリー使用量	表示のみ				
8	日付設定	調整	月：1 ～ 12 日：01 ～ 31		◎	
9	時刻設定	調整	時：0 ～ 23 分：0 ～ 59		◎	
10	年号選択	和暦	1：和暦 0：西暦	◎		
11	年号登録	平成	漢字 2 文字	◎		
12	換算	西暦：6 和暦：18	西暦：00 ～ 99 和暦：00 ～ 99	◎		

■システム2

No	設定項目	初期値	設定範囲	記憶		LOCK SW
				Nov.RAM	SRAM	
1	設定値一覧印字	指令				
2	CF 設定値読み出し	指令				
3	CF 設定値書き込み	指令				
4	パスワード登録	0000	0000 ～ 9999	◎		
5	編集印刷選択	禁止	1：許可 0：禁止	◎		◎
6	SI/F データ選択	T 重量, 総重量	2：総重量，正味重量 1：T 重量，正味重量 0：T 重量，総重量	◎		
7	集計　使用 / 未使用	未使用	1：使用 0：未使用	◎		

※T重量（トラック重量）：重量表示部に表示されている重量

■計量法対応

No	設定項目	初期値	設定範囲	記憶		LOCK SW
				Nov.RAM	SRAM	
1	計量法対応設定	ON	1：OFF 0：ON	◎		◎

12-2.保証とアフターサービス

■保証期間について

本器は厳重な社内検査に合格した製品です。製品ご購入日から1年間は、弊社の製造上の問題に起因することが明らかな故障については、無償で修理もしくは製品を交換いたします。

■保証期間経過後の修理について

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご依頼に基づき、有償修理いたします。

■サービスを依頼されるとき

保証期間の内外に関わらず、製品名と製造番号、ならびにできるだけ詳しい故障の症状を、弊社営業部またはお買上げいただきました弊社代理店までお知らせください。

■その他のご相談について

アプリケーションなどに関してお困りのことがございましたら、お気軽に弊社営業部までご相談ください。

ユニパルス株式会社

本社	〒103-0005中央区日本橋久松町9-11
計測営業部	Tel.03-3639-6121　Fax.03-3639-6130
技術センター	〒343-0041埼玉県越谷市千間台西1-3
	Tel.048-977-1111　Fax.048-976-5200
名古屋営業所	〒460-0008名古屋市中区栄1-24-25 CK16伏見ビル
	Tel.052-219-7444　Fax.052-219-7445
大阪営業所	〒532-0003大阪市淀川区宮原4-1-14住友生命新大阪北ビル
	Tel.06-6150-1511　Fax.06-6150-1513
広島営業所	〒732-0824広島市南区的場町1-2-21 広島第一生命OSビル
	Tel.082-536-0771　Fax.082-263-9080